

第七十四回帝國議會 衆議院 米穀配給統制法案委員會會議錄(速記第七回)

付託議案  
米穀配給統制法案(政府提出)

會議

昭和十四年三月十四日(火曜日)午後一時十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 添田敬一郎君

理事長野 綱良君 理事片岡 恒一君

理事古田喜三太君 理事田中 好君

理事三善 信房君 理事馬岡 次郎君

理事窪井 義道君 理事杉山元治郎君

三好榮次郎君 原 玉重君

高田 耕平君 山田 六郎君

今成留之助君 信太儀右衛門君

山本 条吉君 福田關次郎君

勝田 永吉君 小野 寅吉君

河野 一郎君 吉植 庄亮君

小平 重吉君 助川啓四郎君

小山田義孝君 牧野 良三君

西川 貞一君 伊東 岩男君

石坂 繁君 北 勝太郎君

平野 力三君 三宅 正一君

佐竹 晴記君 小山 亮君

小野 謙一君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 櫻内 幸雄君

出席政府委員左ノ如シ

農林政務次官 松村 謙三君

農林省農務局長 小濱 八彌君

農林省米穀局長 周東 英雄君

農工商省商務局長兼 新倉 利廣君

農工商省統制局長 本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀配給統制法案(政府提出)

○添田委員長 ソレデハ會議ヲ開キマ

スー 吉植君

○吉植委員 先ヅ御尋致シタイノハ、第七

條ノ最高最低價格ニ準據シテ定ムル價格ノ

範圍ヲ超エルコトヲ得ナイト云フ、此ノ問

題ハ度々質疑應答ガアリマシタノデスガ、

モウ一點マダ附ニ落チナイ所ガアリマスノ

デ承ツテ置キタイノデアリマス、是ハ屢、

同僚議員カラ低米價政策ニ墮スルト云フ御

意見ガ出テ居リマシタガ、正ニ其ノ通りデ

アリマス、サウシマスト今日ノ實情カラシ

マシテ農民ニハ是ガ非常ナ憂トナリマス、

大臣カラ屢、御説明ガアリマシタ通りニ、

殊ニ今日米穀統制法ニ依リマス 最高米價

ノ引上云々ト云フヤウナコトハ、自然出來

兼ネルコトハ正ニ諒承致シテ居リマスガ、

サリトテ今日ノ實情ニ於テ農民ガ既ニ脅エ

始メテ居リマス、其ノ時ニ低米價政策ガ本

案ニ依ツテ實現セラレル、來ル出來秋ニナ

ツテモヤハリ此ノヤウニ脅カサレルノデハ

堪ラナイ、是ハ今日農民ノ實際ノ心持デゴ

ザイマス、ソコデドウシテモ米價ノ最高最

低價格ト云フモノハ、時局ノ波ガ最高價格

ヲ、先ヅ不當ト云ツテモ宜イ位ニ引下ゲサ

セル傾ニナツテ居リマスガ、サウナリマス

ト愈、本法案ト二ツ絡ミ合ヒマシテ、農民

ノ脅威ノ種ニナツテ参リマス、此ノ點農林

大臣ニ於カレマシテハ、將來ニ於テドウ御

善處下サル御積リデアリマスカ、此ノ點ヲ

御示シ願ヒタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 此ノ問題ハ度々此處デ問

題ニナツタモノデアリマシテ、殊ニ吉植君

ナドハ最モ御心配ニナツテ居ル點ダト思ヒ

マス、統制法ニ依リマスル所ノ最高最低ノ

値段ヲ決メマス標準ハ、一定ノ基準ノアル

コトハ御承知ノ通りデアリマシテ、其ノ中

デ農林大臣ガ參酌スベキ餘地ガ多少アリマ

スノト、ソレカラ又決定以後一年間ニ於ケ

ル所ノ狀態ガ、非常ナ變化ノアリマシタ場

合ニハ、自ラ又ソレニ對スル相當ノ處置法

モアルノデアリマシテ、畢竟スルニ米價ハ

生産者側ニモ消費者側ニモ雙方トモ之ニ依

ツテ適當公正ナリト云フ値段ヲ定メタイト

云フノガ趣旨デアリマスノデ、私ハ其ノ統

制法ノ二條ノ適用ガ、左様ニ農民ヲ刺戟ス

ルヤウナコトハナイト考ヘマス、併シ今申

上ゲマス通り、四圍ノ情勢ガ非常ナル變化

ノアリマシタ場合ニ於テハ、ソレハ當然又

統制法ニ依ツテ別ニ考ヘラレルコトト思ヒ

マスノデ、之ニ依ツテ農民ヲ脅カスト云フ

コトハナイダラウト斯様ニ考ヘマス

○吉植委員 此ノ問題ハ他ノ省ノ政府委員

ガ御見エニナリマシタ時ニ、質問ヲスルコ

トニシテ、一時打切ツテ置キマス、其ノ次ニ

承リタイノハ、第六條ノ所謂先物取引ヲ許

シテ居リマス點デ、昨日モ小平君カラモ質

問ガアリ、私モ關聯質問ヲ試ミタノデアリ

マスガ、其ノ時ニ私ハ未著物取引ノ十五日

間ト云フモノハ、途中デ轉賣ト云フコトヲ

許ス必要ハ何處ニモナイデヤナイカ、斯ウ

云フ質問ヲシテ御意見ヲ承ツタノデアリマ

スガ、ドウモ考ヘテ見マス本法案ハ大臣

ガ屢、言明セラレテ居リマス通りニ、米穀取

引ノ機構ヲ茲デ革新シテ、サウシテ茲ニ投

機ト云フモノヲ取引ノ上カラ姿ヲ消サシム

ルノデアル、斯ウ云フ御話デアリマスガ、是ハ本法案ノ精神ノ主流ヲ成シテ居ルモノト存ジマス、所デ三月先ノ延ニナリマスモ米穀ノ需給圓滿ヲ期スル上カラ左様ナゴトモ必要デアルカモ知レマセヌガ、例ヘバ私ガ北海道ナリ九州ナドカラ假ニ米ヲ買フ場合ニ、向フカラコチラニ來ルマデノ間ニ左様ナ轉賣ヲ許サヌデモ、買付ケタ米ハ必ズ來ル譯デアアル、又投機ヲ根絶スルト云フ精神デ乗出ス以上ハ、出來ルダケ投機ニ類スル取引ヲ防グコトガ宜シイト思ツテ居リマスガ、其ノ點カラ言ヒマス、ドウシテモ此ノ未著物取引アタリニ轉々ト賣買ヲ許スト云フコトハ、甚ダシク本法案ノ精神ヲ汚スモノデアアルヤウニ私共ニ映リマス、ソコデ此ノ法案ガ轉賣ヲ許スト云フヤウナ意味ノ二月限ノ取引ヲ許シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ方ノコトハソチラニ任セ日ノ未著物取引ト云フモノハ、本法ノ精神ニ則ツテ飽クマデモ投機ヲ排撃シテ一本デ行ク、斯ウ云フコトナラ分ル所ガ十五日デモソレヲ認メルト云フコトニナルト、本法案ノ立法ノ精神ガグラ付イテ來ルヤウニ思ヒマス、然ラバ私ハ十五日ヲ延バシテ一箇月トシテ轉賣ヲ許ス、斯ウ云フヤウニ

シテ二箇月ヲ取ツテシマフ、斯ウ云フ一本建ニスルナラバ、ソコニ配給圓滿ヲ期スル上カラ、昨日政務次官ガ御答辯ニナリマシタヤウニ、投機ト云フモノハ絶對根絶スルコトハ出來ナイト云フヤウナ説明モ多少付クト思フノデアリマスガ、當局ニ於テハ此ノ點ニ關シテ飽クマデモ二箇月ト、ソレカラ十五日ノ未著物トヲ拵ヘテ、兩方共ニ轉賣ヲドウシテモ認メナゲレバナラスト云フ御精神デアリマセウカ、又サウダストレバ如何ナル理由ニ依ツテ一箇月ナラ一箇月ニ延バシテヤルノガイケナイカ、其ノ點ヲ一ツ周東局長カラ伺ヒタイ

○周東政府委員 御話ノヤウニ、本制度ニ依ル取引ハ實物取引ヲ本體ト致シテ居ル譯デアリマス、併シナガラ五日以内ノ受渡ノミニ依ル實米取引デハ、實際ノ場合ニ不便デ、配給ノ圓滑ヲ害スル場合ガアリマスノデ、例ヘバ九州或ハ朝鮮ト云フヤウナ所カラ未ダ市場ノ設置ノ場所ヘ到著致シテナイモノニ付キマシテ買付ヲ致シ、ソレヲ必要ニ應ジマシテコチラニ持ツテ參リマシテ、配給スルト云フ場合ガ起リ得ルノデアリマス、ソレニハドウシテモ五日以内ニ其ノ現物ヲ受渡スコトガ困難ナ場合ガアルノデアリマス、隨ヒマシテソコニ十五日以内ニ受

渡ヲスル未著物ノ取引ヲ認メタノデアリマスガ、之ニ關シマシテモ產地等カラ市場地區ヘ持ツテ參ル場合ニ於キマシテ、運賃諸掛等ノコトヲ考ヘマスト、是ハ小量ナ買付ヨリモ或ル程度大量ナ貨物トシテ持ツテ參ル方ガ、運賃諸掛ヲ輕減スル上ニ於テモ非常ニ利益ガ多イノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテ此ノ未著物ニ付テモ多少配給諸費ヲ輕減セシムルト云フ意味ニ於キマシテハ、取纏メテ買付ヲ致ス場合ガ多イカト思フノデアリマス、斯ル場合ニ於キマシテ小資本ノ商人等ハ、ソレ程大キナ數量ノ取纏メ買付ヲ行ヒ得ナイト云フ場合ガアリマシテ、サウ云フ者ハ又同様ノ未著物取引ヲ自行ハナクテモ、其ノ未著物取引ヲシテ買付ケマシタ者カラ、十五日以内ニ於テ更ニ轉賣ヲ求メルコトガアリ得ルノデアリマス、其ノ範圍ニ於テ轉賣ヲ認メテ行ク必要ガアルノデアリマシテ、是ハ私共ノ狙ヒ所ト致シマシテハ、未著物ニ於テ轉賣ハ認メマシガ、是ハ極ク短イ期間ノ事柄デゴザイマス、必要ニ應ジ、必要ナ範圍ニ於テソレガ行ハレルコトヲ認メテ行クト云フ建前デアリマスノデ、之ヲ利用シテ需要ニ對シテソコニ非常ニ投機的ナ行爲ガ起ルトモ考ヘナイノデアリマス、主トシテ實際ノ必要ニ應ジ短

イ期間ノ未著物取引ヲ認メテ、其ノ範圍内ニ於テ一二回位ノ轉賣ヲ認メテ置クコトガ、實際ニ合フノデハナイカ、十五日位ノ間デゴザイマスカラ、其ノ間ニサウ多數ノ轉賣行爲ガ行ハレルトモ實ハ考ヘテ居ラナイノデアリマシテ、高々一回或ハ二回位必要ニ應ジテ轉賣ガ行ハレルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマスノデ、其ノ間ニ之ヲ利用シテノ投機ガ行ハレルコトハ、考ヘラレナイノデアリマス、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○吉植委員 ソレデ今私ガ質問シマシタ二箇月ヲ一箇月ニシテシマツテ、其ノ中ニ未著物取引モ——兎ニ角法文ノ上ニ於テハ自由ニ轉賣出來ル制度ニナツテ居リマスカラヤハリ轉賣ハアルモノト見ネバナリマセヌサウスルト寧ロ之ヲ一本建ニシテ一箇月限リト云フコトニシタラ、簡單明瞭ニナルト思フノデスガ、サウナツタラドノ點ガイケナイコトニナリマセウカ

○周東政府委員 未著物ノ期限ニ付キマシテハ、尙ホ考究致ス餘地ガアルトハ思ヒマスガ、唯之ヲ相當ニ長ク致シマスレバ、是ハ益、其ノ間ニ於ケル轉賣行爲ヲ多ク致シマシテ、吉植サンノ御心配ノヤウナ投機的ナモノニ利用シ得ル部面ガ、殖エテ參ラウ

カト思フノデアリマス、何處マデモ未著物  
取引ハ實物ノ五日ノ取引市場ニ對スル補助  
的作用ト申シマスカ、實際ノ實需ニ應ジテ  
ノ取引ノ圓滑ヲ圖ル爲ニ、認メテ居ルノデ  
アリマス、本體ガ何處マデモ實物取引デア  
リマス、此ノ期間ヲ餘リ延バスコトハ、却  
テ其ノ期間ヲ利用シテ投機行爲ガ餘計行ハ  
レルコトニナリハシナイカ、斯様ニ考ヘテ  
居ルノデアリマス

○吉植委員 サウスルト二月限ノ方ガ轉賣

ノ數ガ多クナリマスガ、其ノ二月限ヲ一月  
限ニ入レテシマフト云フ私ノ質問ナノデス  
ガ、サウスルト其ノ方ガ投機ノ機會ガ少ク  
ナル、片方ハ半月延ビ、片方ハ一月短縮サ  
レルト云フコトニナルカラ、只今ノ御答辯  
デハ、其ノ問題ハハツキリ解決シタコトニ  
ハナラナイヤウニ思ヒマスガ、如何デアリ  
マセウカ

○周東政府委員 大體實物ノ方ヲ本體ト致

シマシタ關係上、未著物ノ關係ニ於テ餘リ  
期間ヲ長クシナイ方ガ宜カラウト考ヘテ居  
リマス、唯今ノ延ニ付キマシテ二月ヲ置イ  
テ居リマスノハ、極ク大量ノ取引ニ付テノ  
需給ノ統合ヲ行ハシメル、ソレカラ最低價  
格ト最高價格ノ間ニ於テ値幅ガ非常ニ狭ク  
ハナツテ居リマスガ、其ノ間ニ於テヤハリ

或ル種ノ價格ノ作用ト云フコトデ、適正ナ  
價格ヲ行ハシメルト云フ意味ニ於テ、或ル  
程度長期ノ期間ヲ認メテ置クコトガ適當デ  
アルト云フ風ニ考ヘマシテ、其ノ方ハ二月  
ニ致シテアリマス、實需ニ最モ關係アル未  
著ノ方ハ出來ルダケ五日以内ノ取引ニ近似  
シタ受渡期間ヲ認メ、ソレカラ實際ニ於テ  
不便ヲ感ジナイ程度ノ期間ヲ定メテ置クコ  
トガ適當デハナイカト考ヘテ、此ノ期間ヲ  
定メタ次第デアリマス

○吉植委員 未著物ノ方ハ投機轉賣ヲ成タ

ケ少クスルト云フ精神カラ、片方ノ二月限  
ノ取引ノ方ハ需給ヲ圓滑ニセシメル爲ニ  
爲スノデアアル、斯ウ云フ御趣旨ノヤウニ承  
リマシタガ、之ヲ兩方引ツ括メテ延取引ト  
未著物ト一月限ニシテシマフト云フコト  
ニナツタラ、延取引二月限ニ比シテ餘程不  
自由ヲ御感ジニナルノデアリマスカ、其ノ  
不自由ハドノ程度デアリマスカ承リタイ

○周東政府委員 從來ノ實績ト新シイ市場

ノ運用ノ問題デゴザイマスガ、全國的ニ生  
產サレタモノニ付テ需給ノ統合ヲ致シ、價  
格ノ適正ナル構成ヲ爲サシメル爲ニハ、ソ  
コニ或ル程度ノ期間ヲ置イタ先物ノ取引ヲ  
モ認メテ置クコトガ適當デアラウ、ソレニ  
ハ從來ノ關係ニ於テハ三箇月デアリマス

ガ、三箇月ハ實際上ノ立場ニ於キマシテ必  
要ナイガ、大體二月位ノ期間ヲ置クコトニ  
依ツテ、ソコニ公正ナル價格ノ平準作用ト  
云フモノガ起ツテ、需給ノ統合モ出來、配  
給ノ圓滑モ期セラレルノデハナイカト云フ  
建前カラシテ、二箇月ニ致シタノデアリマ  
ス、一月ニ致シマス、詰リソコニ從來ト  
違ツテ急速ニ三分ノ一位ナ期間ニナリマシ  
テ、ソコニ相當價格ノ平準作用、或ハ需給  
ノ統合作用上缺ケル所ガアルノデハナイ

カ、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、一應二箇月

ニシテ居ル譯デアリマス、是ハ實際ノ法ノ  
運用ヲ致シマシタ結果、更ニソコニ色々考  
究ノ餘地ハ殘ルカト思ヒマスガ、只今ノ所  
ハ左様ナ趣旨ノ下ニ、二箇月ト致シテ居ル  
次第デアリマス

○吉植委員 第二十二條ノ資本金ノ問題デ

アリマスガ、是ハ先頃同僚ノ伊東君カラ御  
伺シマシテ、或ル程度ノ御答辯ハ承ツタノ  
デアリマスガ、私ハ其ノ御答辯ノモウ少シ  
一段先ノコトヲ承リタイト思フ、三千万圓  
ノ中、千五百万圓ガ政府、残りノ千五百万  
圓ハ取引所ニ優先株ヲ與ヘルコトニナツテ  
居リマス、ソレト臺灣、三井、三菱、加藤、  
杉原ノ方モ割込メ來ルダラウト思ヒマス  
ガ、サウスルト其ノ残りヲ生産者團體ハ消

費者團體ト云フヤウナモノニ、ドノ位ヤツ  
テ居ルカ、先頃ノ質問ニ對シマシテハ此ノ  
點再三要點ニ觸レサウニナツテ、御回避ニ  
ナツテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ相當本  
案審議ニハ重大ナ問題デアリマス、幾ラト  
決ツテ居リマセヌケレバ、大體當局ノ考ト  
シテハ此ノ位ガ適當デアラウト云フ點ヲ、  
承リタイノデアリマス、何故左様ニ執拗ニ  
此ノ點ヲ御尋スルカト申シマス、私ハ本  
會議ノ質問ニ際シマシテモ申シマシタヤウ  
ニ、一ツハ投機取引ヲ絶滅スルコト、一  
ツハ生産者團體ガ米ノ取引ニ公平ニ參畫スル  
コトニナル、取引員ニモナルシ、會社ノ  
株主ニモナル、斯ウ云フコトデアリマスカ  
ラ、只今マデノ生産者團體ガ唯米ヲ作ルノ  
ミニシテ、之ヲ賣却スルニ當ツテハ其ノ

機構カラ除外サレテ居リマシタ、其ノ一角  
ニ生産者團體ガ乘込ムコトニナリマスノ  
デ、是ハ日本農民ニ取リマシテ精神的ニモ  
非常ニ力強イコトニ導キマスノデ、大賛成  
デアルト申上ゲタノデアリマシタガ、此ノ  
點ガハツキリシマセヌ、ドウモ私共ガ賛成  
スル趣旨ガグラツイテ參ル、ト申シマスノ  
ハ、巷間傳フル如ク、取引所並ニ臺灣ノ商  
人アタリノ方ニ、千三百万圓行ツテシマツ  
テ、アトノ二百万圓ガ生産者團體ハ消費

者團體ニ廻ハルト云フヤウナ結果ニナリマスト、是ハ形ニ於テ投機取引ハ廢スルト云フコトニナリマスガ、昨日ノ問答ニ於テモ明ニナリマシタ通りニ、投機ノ片鱗ガ本法ニ殘ツテ居ルノダト云フコトデ、是モ綺麗ニハナラナイノデアリマス、其ノ他ニ此ノ取引ヲ讓渡シタ者ガ其ノ株ノ大部分ヲ持ツテ、サウシテ此ノ機構ノ中心ニ坐ルト云フコトニナリマス、大臣ガ言ハレタ投機取引ノ廢止、本案提出ノ御説明ニ本會議デ述ベラレタ其ノ事ガ、大分歪シデ參ル、又生産者團體ノ方カラ申シマス、取引員ニハナカツタガ、株主ニナラウトシテモ、其ノ株ト云フモノハ左様ナ團體ニ優先セラレテ、自分ノ方ガ引受ケヨウトシテモ引受ケラレナイト云フコトニナリマス、生産者團體ハ片輪ナ參畫ヲシタト云フコトニナリマス、但シ斯ウ申シタカラト申シマシテ、生産者團體ガ、然ラバ吾々モ自由ナ範圍ニ於テ出來得ルダケノコトヲ引受ケルト云フ積リデハナイカモ知レマセヌ、私ハ其ノ實際問題ヨリハ精神問題トシテ承リタイ、實際ハドウナルカ分リマセヌガ、其ノ大體ノ政府ノ御考ト云フモノガ、只今私が申上ゲマシタヤウナ、巷間傳フルヤウナモノデア

消費者團體ニモ、ドウシヨウトシテ居ルノカ、此ノ點ヲ承リタイ、是ハ大臣カラ御答辯ヲ承リタイ

○櫻内國務大臣 本法施行ノ結果、取引所ガ廢止サレルノデアリマシテ、其ノ關係上取引所ノ株主ニ優先的持株ヲ與ヘヨウ、斯ウ云フ趣旨ニナツテ居リマスガ、實際ノ豫定ニ付キマシテハマダ私ハ明瞭致サナイト思ヒマス、何故ナラバ取引所カラ買收致ス金額モ、凡ソ豫定ハ致シテ居リマスケレドモ、其ノ金額ハ所謂審査委員會ニ於テ御決定ヲ願ハナケレバ確定致シマセヌ、隨ヒマシテ其ノ取引所ガ何株持ツカト云フコトニ付キマシテモ任意デアリマシテ、或ハ現金ノ交付ヲ受ケテ、此ノ株券ヲ持タナイモノモアルダラウト思ヒマス、隨ヒマシテ其ノ程度ガドウ位ノ株數ヲ取引所ノ側持ツカト云フコトニ付キマシテハ、實ハ不明瞭デア

アルノデアリマス、凡ソ此ノ位持ツノデハナカラウカト云フコトヲ假定致シマシテモ、ホンノ假定デアリマシテ、實際問題ト致シマシテハ、果シテドウ程度ソレ等ノ人々ガ申込ムノデアルヤラ、是ハ未定デアリマス、又米穀取扱業者ノ方面ニ於キマシテモ、果シテドウ位御申込下サルモノカ、是モ未定デアリマシテ、要スルニ設立委員ガ出來

テ、其ノ内容ヲ明ニシテ、ソレカラ後ニ決マルノデアリマスガ、兎ニモ角ニモ先決問題ハ從來ノ米穀取引所ノ財産ノ中デ、此ノ會社ガ引繼グベキ所ノモノガ幾ラニナルカト云フコトガ決マリ、又之ニ依ツテ從來ノ取引所ガ全然解散スルトカ或ハ存續シテ他ノ仕事デヤツテ行クトカ、斯ウ云フコトガ決リマセヌト、自ラ其ノ財産モ決ラナイノデアリマシテ、只今ノ所ニ對シテ明確ナ數字ヲ舉ゲテ凡ソ何百万圓ハ取引所ガ持ツ、何百万圓ハ生産者側ガ持タル、何百万圓ハ第三者ガ持ツト云フ事柄ニ付キマシテハ、全ク正確ナ豫想ハ付キ兼ネテ居リマス、併シナガラ會社自體ハ少クトモ六、七分ノ配當ハ出來得ルト考ヘマスガ故ニ、此ノ會社ニ對シマシテ相當申込ガアツテ少クトモ滿株ニナルト云フコトハ間違ナカラウ、斯様ナ確信ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

○吉植委員 ヤハリ此ノ前ノ御答辯ト大シテ變ツテ居リマセヌガ、サウシマス、私共ハ斯ウ諒承シテ宜シイノデアリマセウカ、優先株ヲ與ヘルト云フコトハ、若シ此ノ業者ノ方デ千五百万圓ノ株ヲ引受ケタイト云フコトヲ申出ル時ニハ、ドウシテモ政府ノ方デソレダケノモノハ渡サナケレバナラヌコトニナツテ居ル、斯様ニ解釋シテ宜シウ

ゴザイマセウカ

○櫻内國務大臣 ソレハ全部ヤルト云フ意味デアリマセヌ、詰リ拂込金額ノ範圍内ニ於テ、申込權ヲ認メル考デアリマス

○吉植委員 サウシマス、其ノ拂込ト云フノハ若シ取引業者ノ取引所ノ關係者ガ全部拂込シテ來タ時ニハ、一千五百万圓ダケヤルコトニナルノデゴザイマセウカ

○櫻内國務大臣 總テノモノヲ全部合計致シマシテモ、千二百万圓位デアツタと思ヒマス、併シナガラ其ノ中ニハ存續スル會社モアリマセウシ、色々ナ關係ガアリマスカラ、其ノ金額ニナラヌト思ヒマス

○吉植委員 次ニ第一條ノ免許制ノコトヲ御伺シタイノデスガ、是ハ當然配給統制法案デアリマスカラ、此ノ趣旨カライツテ、白米ノ小賣價格ノ統制マデ行クモノト思ヒマスガ、是ハ如何デゴザイマセウカ

○周東政府委員 此ノ點ニ付テハ度々申上ゲデマシタヤウニ、極端ナ場合ガ起ツテ參リマスルナラバ、御話ノヤウナ小賣價格ノ統制ニマデ入ル場合ガアルカト思ヒマス

○吉植委員 サウシマス、只今ノ所デハマア普段ハ白米小賣ノ統制價格ハナイ、斯ウ云フヤウナ御考デアリマスガ、是ハ米穀ノ配給統制ト云フコトニナルト、先ツソコ

マデ行カスト、本當ノ配給統制デヤナイト  
私ハ思フ、所謂配給ト云フモノハ小賣商人  
ノ手マデ配給スレバ宜シイト云フモノデハ  
アリマセヌ、此ノ米ヲ食ベマスル人ニ渡ル  
マデ統制シマセヌト、本當ノ配給統制デハ  
アリマセヌ、是ハサウハ思ハヌト云フ御答  
ニナルト、水掛論ニナリマスカラ、私自身  
ハサウ斷ジテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置  
キマス、然ラバ御伺シタイノデスガ、是ハ  
商工省ノ方カラデモ農林省ノ方カラデモ結  
構デアリマスガ、只今東京ニ於テ賣買セラ  
レテ居リマス米ノ値段ト云フモノハ、例ヘ  
バ今ココ一二箇月ヲ中心トシマセヌ、ドウ  
セアナタ方ノ方カラ御示シ下サルヤウナ時  
ニハ、過去三箇年ノ統計トカ、或ハ何箇月  
ノ統計ト云フコトニナツテ居ル譯デアリマ  
スカラ、現在ハ斯ウダト云フ此ノ現在ト云  
フ頂點ニ立ツテノ話デナク、御答辯ヲ願ヒ  
タイノデス、東京市内ノ白米小賣價格ト云  
フモノハ、適正ト御思ヒデゴザイマセウカ、  
ドウデセウカ

○新倉政府委員 現在東京デ賣ツテ居リマ  
スル白米ノ小賣價格ニ付キマシテハ、全部  
トハ申シマセヌガ、相當ノ部分同業組合デ  
協定價格ヲ作ツテ居リマス、此ノ協定價格  
ニ付キマシテハ非常ナ嚴格ナ監督トマデ

ハ參リマセヌケレドモ、或ル程度ノ監督ハ  
致シテ居リマス、現在ニ於キマシテハ白米  
小賣商ニ於キマシテモ、手數料其ノ他ノ點  
ニ於キマシテ、寧ロ相當苦シイヤウナ狀態  
ニアルノデハナイカト思ヒマス、隨ヒマシ  
テ消費者ノ方面カラ見マスレバ、小賣商ハ  
中間デ非常ニ儲ケテ居ル爲ニ、消費者ガ特  
ニ高イモノヲ買ハナケレバナラスト云フヤ  
ウナ狀況ニハ、現在ハナイモノト考ヘマス  
○吉植委員 私ガ申上ゲマシタヤウニ現在ト云フ  
ノハ、先程申上ゲマシタヤウニ現在ト云フ  
只今吾々ガ立ツテ居ル此ノ頂點デナクシテ、  
過去ヲ織込シタ現在デナイト話ハ付キマセ  
ヌガ、商務局長ノ御答辯ヲ承リマス、  
現在ノ價格ハ適正デアルト斯ウ仰シヤイ  
マスガ、私ノ調査シタ所デハソレ程適正  
デハナイノデアリマス、此ノ數字ガ間違ッ  
テ居リマシタラバ後デ御訂正ヲ願ヒタイ、  
昨年ノ一月カラ十二月マデノ深川正米中等  
米ノ値段ト、東京市内ノ白米三等米ノ値段  
ヲ比ベマス、其ノ間ニドレダケノ値開キ  
ガアルカト云フコトヲ私ハ調べマシタ、サ  
ウシマスト十三年一月ニ於テ六圓三十七錢、  
六圓二十六錢、六圓五十七錢ト云フヤウナ  
數字ガ出テ來テ、其ノ中ニ正米ノ方ガ段々  
値上リニナツテ來テ、白米ノ方ハ——詳シ

ク申スト何月ニ一ギロニ付テ七錢上ツテ何  
月ニ十四錢下ツタト云フヤウナコトガアリ  
マスガ、是ハアナタ方ノ方ガ御承知デアリ  
マスカラソレハ端折ツテ申上ゲマスガ、兎  
ニ角一月ニ六圓三十七錢、七月ニナリマシ  
テカラ、是ハ商工當局ノ御手心ガ加ツテ居  
ルコトト考ヘテ居リマスガ、俄ニ「ギロ」  
十四錢ノ値下ト云フコトニナリマシテ、一  
石ニシマスト一圓九十六錢デゴザイマス、  
此ノ大幅ノ値下ヲ七月ニ斷行致シマシテ、  
ソレドレダケノ値開キガアルカト云フト、  
四圓五錢ノ値開キガアリマス、サウシテ三  
圓幾ラト云フ風ニ今日ナツテ居リマシテ、  
或ハ今日ヲ頂點トシテ考ヘマスルト、二圓  
何十錢ノ値開キガアルト仰ツシヤルカ知レ  
マセヌガ、過去一年間ヲ通算致シマスト三  
圓五十錢位ノ値開キニナツテ居ル、然ラバ  
此ノ値開キハ米穀商ノ方カラ申シマシテ、  
斯ク——ノ店鋪費ガ掛ツテ居ルカラ、是ガ  
當然ダト云フ御返事ガアルカモ知レマセヌ、  
時間節約ノ爲ニ御返事ヲ聞カナイデ先ニ進  
ミマスガ、大阪ノ方ハドウカト調べテ見マ  
スト、大阪ノ方ハ昨年ノ一月アタリハ正米  
ガ深川正米ト大阪ノ堂島正米デ、中米ノ値  
開キガ一圓九十八錢、大阪ノ方ガ正米ガ高  
カッタ、然ラバ白米ハドウカト云フト、白

米ハ大阪ノ方ガ安カッタ、正米ガ高クツテ  
白米ガ安イ、正米ガ高カッタラ白米ガ高イ  
ト云フノガ當然デアリマスガ、サウデヤナ  
イ、茲ニ私ハ問題ガ含マレテ居ルト思ヒマ  
ス、ソコデ只今適正デアアルカドウカト云フ  
コトヲ御尋シタノハ、此處カラ參ツテ居ルノ  
デ、根據ナク徒ニ申上ゲタノデハゴザイマ  
セヌ、併シ適正デアアルト云フ御返事デア  
ルノデスカラ、其ノ適正デアアルハ水掛論  
ニナリマスカラ以上ノ事實ヲ申上ゲマシテ、  
御必要デゴザイマシタラ私ノ取りマシタ統  
計ヲ御覽ニ入レマス、此ノ事實ハ過去ニ遡  
ツテモ分リマス、今日ノミデハアリマセヌ、  
過去十箇年ノ統計ヲ取ツテ見ルト——私ハ  
昨年商工省ノ統計ヲ貰ヒマシテ調べテ見マ  
シタガ、全國各都市ニ於キマシテハ、正米  
ト白米ノ値開キト云フモノハ、大體ニ於テ  
二圓カラ三圓ニナル、東京ガ獨リ斯様ナ大  
幅ノ値開キニナツテ居リマス、併シソレハ  
御配慮ニ依リマシテ七月ニ二圓近イ値下ニ  
ナツテ來テ居リマス、ソレカラ又商務局長  
ハ相當米穀商ガ困難ダ、斯ウ仰シヤイマシ  
タガ、ソレハ現在ヲ頂點トシテ考ヘマス、  
今日ハ大體全國ノ平均位ニハナツテ居リマ  
ス、併シナガラ私共ハ又願ミテ、斯ウ云フ  
コトヲ見ナケレバナラス、是ハ正米ガ高ク

ナツテ來テ、白米ノ値ガ昨年七月ニ釘付ケニサレタ儘ニナツテ居ルカラ、サウナノデアリマス、是ガ逆ニ正米ガ下ツタト假定致シマス、只今申上ゲマシタヤウニ、或ハ五圓六圓ト云フヤウナ値開キニナル筈ダ、ソコデ吾々ハ考ヘナケレバナリマセヌガ、七月ニ大幅ノ約二圓ノ値下ニナツテ、其ノ後今日マデ正米ハドレダケノ値上リカ、七月カラ今日マデ一圓何十錢ト云フ値上リニナツテ居リマス、サウスルト、私ハハツキリシタ數字ヲ今日持ツテ來マセヌデシタガ、慥カ一圓二三十錢位ノ値上リニナツテ居ル、或ハモウ少シ大キクナツテ居ルカモ知レマセヌガ、是ハ十二月末デアリマス、此ノ三月ニナツテ來マス、モウ少シ値上リニナルト思ヒマス、サウスルト三圓以上ノ値幅ガアル、米穀商ハ困ルトハ言ヒナガラ、破産スル者ハアリマセヌ、ヤハリ營業ヲ繼續シテ、苦シイトハ口デハ言フカモ知レマセヌガ、今ノ公定價格ヨリモ安ク賣ツテ居リマス、是ハ局長モ御存ジドラウト思ヒマシマス、今日デモ公定價格ヨリモ安ク賣ツテ居リマス、而モ其ノ三圓幾ラト云フモノガ、半年ノ間ニソレダケ米穀商ガ不利ニナツタノデアリマス、其ノ事ハ過去ニ遡ツテ、少クトモ七月以前ニ於テハ三圓幾ラ

ト云フモノダケハ不當利得ヲシテ居ツタト云フ證據ニナル、是ダケハ申上ゲテ置キマス、是ハ私一人ダケノ觀方デアルト言ハレルナラバ、後デ數字ヲ、戴イテ、モウ少シ突込シテ質問ヲシテ見タイト思ヒマス、ソコデ私ハ適正價格ダト仰シヤルノデ申上ゲテ置キマスガ、適正ト云フヨリ寧ろ苦シイ、今局長ガ言ハレタ苦シイト云フ言ヲ是認スルトスレバ、此ノ苦シイト云フノハ何處カラ來カト申シマス、米屋ノ數ガ多過ギルカラデアリマセウ、米屋ノ數ガ多過ギテ、一日ニ二俵位賄フ米屋ガ、月ニ六十俵ヲ賣ツテ生計ヲ立テ行クト云フコトカラ出發シテ、ソレデ東京ノ白米價格ガ高クナル、サウスレバ此ノ免許制ニ伴ウテ、米穀商ノ何ト申シマス、淘汰ト申シマス、米穀商ガ適正價格ヲ以テ販賣シテ、苦シクナイ程度ノ米穀商一軒ニ對シテ、何百何十軒ノ得意ト云フ所マデ配給統制ノ機構ヲ完備サセル御意思ハナイカドウカ、之ヲ承リタイ

○新倉政府委員 將來ノ目標ト致シマシテハ、只今仰シヤイマシタヤウナコトヲ、念頭ニ置イテ考ヘナケレバナリナイコト思ヒマス、併シナガラ假ニ本案ガ通過致シマシテ、許可制度ヲ實施スルト云フ其ノ際ニ、直チニ今御話ニナリマシタヤウナコトガ、實ハ實現出來ルトモ考ヘテ居リマセヌ、ト言ヒマスノハ、ヤハリ本法施行ノ際ニハ、現ニ營業シテ居リマス者ハ許可ヲ得マシタ者トシテ、其ノ營業ヲ認メルト云フ方針ヲ採ツテ居リマスノデ、隨ヒマシテ、今御話ニナリマシタヤウナ事柄ハ、將來ノ問題トシテ順次考ヘテ行クヨリ外ニ方法ガナイダラウト思ヒマス

○吉植委員 ソレデハモウ一ツ此ノ點ニ付テ御尋シタイノデスガ、實ハ一昨年十一月カト思ヒマスガ、私共ト米ノ研究ヲ共ニシテ居リマス人ガ、神田デ米屋ヲヤツテ居リマスガ、是ガ米ヲ安ク賣リマシテ——只今申上ゲタヤウニ一昨年ノ十一月ニハ東京市内ノ白米ガ如何ニ高カツタカト云フコトハ、是ハ局長モ御認定ニナル筈デアアル、私ガ申上ゲタヤウニ、昨年ノ七月カラサヘ三圓幾ラ値ガ下ツテ、ソレデモ尙ホ商賣ヲ續ケテ居ルノデアリマスカラ、少クトモソレダケハ不當利得ヲシテ居ツタト云フコトハ、數字ガ之ヲ物語ツテ居ル所デアリマス、ソレデ其ノ時ニ丁度私ノ友人ハ、東京市内ニ於ケル白米價格ハ、アナタノ仰シヤツタヤウニ不當ノ高價デアアル、之ヲ適正價格デ賣ルノガ當然デアアル、斯ウ云フノデアリマス、是ハ神田ノ金生ト云フ米屋デアリマスガ、唯賣ツタダケナラ宜シカツタノデアリマスガ、ソレヲ廣告ビラニシテ撒イタ、所ガ同業組合ノ方デハ何等米ハ「キロ」二圓八十錢ナラ二圓八十錢ト決ツテ居ツテ、ソレ以外ニハ賣ツテハナラナイト云フ規約ニナツテ居ルサウデアリマシタガ、此ノ規約破棄ノ故ヲ以テ裁判ニ付セラレタ、ソシテ到處デ排斥サレテ、今控訴院デ係争中ニナツテ居リマスガ、斯様ニ過去ニ遡ツテ見ルト、白米價格ナルモノハ不當ニ高カツタト云フコトガ分ルノデアリマス、其ノ高イ米ヲ安ク賣ラウトスルト、同業組合ガ壓迫ヲ加ヘテ安ク賣ラセナイ、是ハ配給統制ノ完備ヲ期スル上カラハ、此ノ問題ハ容易ナラヌ問題デアルト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ如何ナル方針ヲ持ツテオ居デゴザイマス、承リタイト思ヒマス

○新倉政府委員 同業組合デ協定致シテ居リマス價格ガ、洵ニ適正デアアルカドウカト云フ點ニナリマス、色々立場々々カラ議論ガアルモノト思ヒマス、又從來ニ於テモ其ノ價格自體ガ適正デアアルカドウカト云フコトニ付テノ監督ノ如キモ、左程嚴重ニハ致シテ居リマセヌ、唯併シナガラ同業者ニ於テ大體ソレガ適當デアルト云フ風ニ決メタモノヲ、或ル特定ノ人ガ其ノ

協定ヲ破ツテ、同業者相互ニ於テ決メタ  
モノニ違反スルト云フコトハ、是ハ適當  
デナイヤウニ考ヘテ居リマスノデ、サウ云  
フ場合ニ組合ニ於テ或ル程度ノ制裁ト申シ  
マスカ、要スルニ同業者相互ノ信賴ヲ持ツ  
テ行カウト云フ方針ハ、飽クマデ之ヲ貫イ  
テ行ク必要ガアルト考ヘテ居リマス、併シ  
ナガラ御話ノヤウニ其ノ價格ガ果シテ適正  
デアルカドウカト云フコトニ付テハ、今後  
ニ於テモ餘程慎重ニ檢討スル必要ガアルト  
思ツテ居リマス

○吉植委員 局長ノ答辯ハ、ドウモ私ノ御  
尋スル所ニピツタリ合ツテ居リマセヌ、兎  
ニ角昨年七月ニ於ケル三圓ノ値下リト云フ、  
是ハ人爲的ニ値下ヲサシタ値段ト、其ノ後  
ノ正米ガ上ツテ來テ居ルト云フ點カラ、昨  
年下半期ニ於テモ既ニ三圓米穀商ハ七月以  
前ヨリモ損ヲシテ居ル、併シナガラ三圓ノ  
損ヲシテ居ツテモ潰レルモノハ一人モナイ、  
ソコデ是ハ不當價格デアルト云フコトハ明  
瞭デアル、是ガ若シ明瞭デナイト云フナラ  
バ、ソレハ牽強附會ト云フコトニナリマス  
ガ、私ハ別ニ其ノ點ヲ議論スルノデハア  
リマセヌ、左様ナ米價ニ對シテ、是ハ不當  
ナ高イ値段デアルト云フノデ、所謂人間の  
ニ目覺メタ商人ガ奮然起ツテ安ク配給シヨ

ウトスレバ、同業組合ガ壓迫シテ來ル、左  
様ナ同業組合ヲドウスルカ、斯ウ云フコト  
ヲ御尋シテ居ルノデアリマス、一方ニ於テ  
適正價格デ賣ラセルニハ米屋ガ多過ヅル、  
米屋ハ自然高イ米ヲ賣ラナイト、今日ノヤ  
ウニ得意ガ少イノデハ食ベテ行カレナイ、  
之ヲ政府ガモウ二圓ナリ一圓五十錢ナリ下  
ゲタ方ガ、適當ダト思フカラ下ゲト云ツ  
タラ、米屋ハ片ツ端カラ倒産致シマス、適  
正價格ヲ科學的ニ各種ノ專門ノ調査會ニ於  
テ調べ出シテ、ソレヲ施行スルト米屋ハ潰  
レマス、米屋ガ潰レルノハ得意ガ少ナ過ヅ  
ルカラデアル、之ヲ適正價格ニ賣ラセルニ  
ハ米屋ノ數ヲ少クシテ得意ヲ多クシテ、所  
謂薄利多賣ヲサセル、ソレヨリ外ニ仕方ガ  
ナイ、サウシマス此ノ方ハ免許制ニスル  
ガ、片一方商業組合、同業組合ハ致シ方ナ  
イカラ置クノダト云フコトニナツタラ、何  
ヲ以テ配給統制ノ趣旨ニ副フコトガ出來ル  
カ、之ヲ御尋シテ居ル

○新倉政府委員 前段ノ點ハ多少御意見ノ  
ヤウデアリマスガ、ヤハリ或ル程度値段ノ  
高イ安イニ依ツテ、直グニ仕事ヲ止メナイ  
カラ、ソコニ今マデ暴利ト云フカ、非常ナ  
利益ヲ得テ居ツタノダト云フ點ニ付テハ、  
多少私ハ疑問ヲ持ツテ居リマス、ト申シマ  
スノハ、例ヘバ米ノ値段ハ一石二十五圓シ  
テ居ツタ、ソレガ其ノ當時ヤツテ居ツタ者  
ガ今日三十五圓スルトスレバ、十圓ト云フ  
モノハ今日非常ニ暴利ニ近イ利益ヲ得テ居  
ルノダ、斯ウ云フ御議論ニモナリ兼ネナイ  
御趣旨ニ、實ハ拜承致シマシタ、今日ノ米  
價ヲ以テマシテ米穀商ハ倒産モシナイデヤ  
ツテ居ルカラ、當然適正價格ダト云フ點ニ  
付キマシテハ、先程モ申シマシタヤウニ、  
是ハ餘程檢討致シマセスト議論ノ餘地ガア  
ルダラウ、斯ウ云フ風ニ實ハ考ヘテ居ル次  
第デアリマス、併シナガラ御話ノ今後配給  
統制ヲヤツテ行ク場合ニ、ドウ云フ方針デ  
行クカト云フ問題ニ付キマシテハ、先程モ申  
シマシタヤウニ、全ク吉植サント同ジヤウ  
ナ考デゴザイマシテ、例ヘバ現在ノ米穀商  
ヲ相當數減ジテシマフト云フヤウナコトハ、  
困難トハ思ヒマスケレドモ、將來ノ目標ト  
シマシテハ、相當數ノ人ガ、所謂過剩ナ米  
穀商ガ居ルコトデナシニ、適當ナ數ノ米穀  
商ニ於テ公正ナ價格デ米ヲ配給シテ行クト  
云フ目標ニ向ツテ、進マナケレバナラナイ、  
斯ウ云フ點ニ付テハ全ク御同感デアリマス、  
尙ホ其ノ場合ニヤハリ商業組合、サウ云フ  
ヤウナ組織ヲ以テ行ク必要ガアルト云フ點  
モ、全ク同ジヤウナ考ヲ持ツテ居リマス

○吉植委員 今ノ私ノ前段ニ對スル局長ノ  
御話ト、私ノ意見ハ大分違ツテ居リマスガ  
詰リ私ハ大阪ニ於ケル白米、東京ニ於ケル  
白米、兩方ノ市場ニ於ケル正米、是ノ開キ  
カラシテ東京ノ方ガ一面ニハ高イ、是ハ私  
ノ獨斷デハナイト信ジテ質問シテ居ルノデ  
アリマシテ、此ノ事ダケハ附加ヘテ置キマ  
ス、ドウカ一ツ將來、何ト云ヒマシテモ今  
マデノ機構ト云フモノガ、小賣商ニ於テ相  
當無理ナ所ガ各方面ニアリマスノデ、今日  
此ノ小賣家ノ商業ノ方々ガ大分苦シマレ  
テ居リマス、其ノ點ハ同情ヲ寄セテ居リマ  
スガ、併シ政府ノ方ニ於テモ、其ノ機構ヲ  
改メテ行ケバ此ノ人達ガ立派ニ活キテ行カ  
レルト思ヒマスノデ、ドウカ折角將來此ノ  
人達ノ爲ニ、現狀ニ於テ救フコトガ出來ナ  
カツタナラバ、機構改革ト云フ革新ニ一歩  
乗出シテ救フ、左様ナ點ニ付テ御努力ヲ御  
願致シマス

ソレカラ米穀局長ニ御尋致シマスガ、此  
ノ會社ノ手數料ニ付デアリマス、此ノ手  
數料ニ付テ、此ノ間モ質問ガアツタノデス  
ガ、マダハツキリシテ居リマセヌ、ドウモ  
此ノ點ヲハツキリシテ貫ヒマセヌト困リマ  
スガ、一體ドノ位ノ手數料ニナルノカ、ソ  
レカラ又米穀産地仲介組合ナドト云フヤウ

ナモノモアルガ、是ハ市場員ニモ入レナイ、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、私ハ現在ノ配給機構ノ中デ、米穀ノ產地仲介商業組合ト云フモノガ一番進歩シテ居ルノダト確信シテ居リマス、ト云フノハ、私共ハ産業組合ノ組合長モヤツテ居リマス、産業組合ト云フモノガ今日マデ、マア最モ進歩シタ形態デヤツテ参リマシタ、是ハ先日ノ局長ノ御話ニ、組合カラ縣聯ニ十錢デ、縣聯カラ全販聯ニ十錢デ、ソレカラ今度全販聯ノ手数料ガ七錢五厘——ソコデ來ルマデニ二十七錢五厘掛ル、斯ウ云フヤウナ御發表デアリマシタ、所ガ此ノ產地仲介組合ノハ、私ガ百姓トシテ米ヲ一車賣ル、サウシマストニ俵三錢ヨリ外ニ何モ取リマセヌ、ソレデ賣ツテ其ノ金ヲ送ツテ呉レル、デスカラ是ハ産業組合ヨリモ、モウ少シ簡單明瞭デアリマス、但シ是ハ産業組合ガアルカラデア

ル、産業組合ト云フモノガナクシテ、產地仲介組合ダケデアツタラ、ソナコトハ出來マセヌ、ト云フノハ價格決定ガ、産業組合ノ方ヘ委託シタ時ニ全販聯ノ方ニ於テドレダケノ相場ニナツテ居ルカ、少クトモコチラデ賣ル時ニハ、其ノ相場ト同ジ値カ、或ハ上ノ値デ賣ツテ呉レト云フノデ言ツテヤリマス、其ノ値デ賣ツテ、一俵三錢取

ツテ金ヲ送ツテ呉レル、斯ウ云フ簡單ナモノデアル、其ノ物指ガナイト、賣買ハシテヤツタガ、ドウモ場ノ値段ガ悪イカラヤハリ五十錢低ク賣ツタト言ハレテモ仕方ガナイ、所ガ産業組合ノ値ガアリマスカラ宜イノデアツテ、斯様ナ簡單明瞭ナ、タツター俵三錢アレバ、手数料ガ要ラナイ、之ヲ全然止シテシマツテ、ソレハ市場員ニモ入レテヤラナイ、サウシテソレヨリモ高イ手数料デ會社ヲ拵ヘテ賣ルノダト云フコトニナルコトハ、私ハ相當問題ダト思フ、マサカ此ノ三錢ヨリ安ク行ク筈ハナカラウト思マスガ、三錢ヨリ安ク出來マセウカ

○周東政府委員 御話ノ點ハ市場ニ於ケル委託手数料ノ問題ダト思ヒマス、之ニ付キマシテハ、現在ニ於キマシテノ委託手数料ハ、市場毎ニ色々違ツテ居リマス、之ヲ例ヘバ東京ノ深川ニ例ヲ取ツテ見マシテモ、大體販賣價格ノ千分ノ十二ト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、斯ウ云フヤウナ額ハ、是ハ直グ新シイ市場ニ於キマシテハ餘程考慮シテ、此ノ額ニ付テ出來ルダケ低ク、サウシテ配給諸費ノ高マラナイヤウニシテ行ク考デ居リマスガ、只今直グニ如何ナル市場ニ於テハ幾ラ、ドノ市場ニ於テハ幾ラト云フ風ニ、具體的ノ數字ハ申上ゲル

マデニ至ツテ居リマセヌ、之ニ付キマシテハ出來ルダケ御趣旨ニ副フヤウニ、市場ノ委託手数料ハ安ク決メタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○新倉政府委員 產地仲介ヲヤリマス者ヲ市場員ニ入レルカドウカト云フ問題ニ付キマシテハ、實際ノ實情ヲ能ク考慮シマシテ、或ハ中ニハ入レタ方ガ宜イヤウナモノモアルノデヤナイカト云フ風ニモ考ヘテ居リマスノデ、仲介ハ一切市場員ニシナイノダト云フ風デナシニ、實情ニ合セテモウ少シ考ヘタイ、斯ウ云フ風ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○吉植委員 商務局長ハ產地仲介組合ノ方ヲ、大分此ノ機構ガ最モ進歩シタ機構デアルト云フ點カラ、御力添ヲシテ居ラレルヤウニ——商務局長トシテデナク商工省トシテデアリマスカ——承ツテ居リマスガ、何デモ此ノ資本金ハ一萬圓ソコ——シカナイ、ソレニ對シテ商工省ノ肝入リデ借リテ居ルノデセウガ、儲カ二百万圓ノ限度デ金ヲ融通スルト云フコトニナツテ、昨年マデハ五十萬圓マデ政府米ヲ買フ時ニ、商工省ノ方ノ中央金庫カデ貸シテ居ルト云フコトヲ承ツテ居リマス、サウシマスト相當信頼スベキ人達デアツテ、信頼シテ居ルカラコ

ソ政府ガ左様ナ取扱ヲシテ居ル、其ノ爲シテ居ルコトガ此ノ米ノ配給機構ニ於テ成程消費者モ非常ニ利益ヲシテ居ル、斯ウ云フコトデサウ云フ方針ヲ採ラレタモノト解釋致シテ居リマス、又今日此ノ業者ガ東京市內デ取扱ツテ居リマス米ガ、全量ノ六割ヲ占メテ居ル、サウ云フ點カラ言ツテ實ニ是ハ重大ナル使命ヲ果シテ居ル人達デアアル、是ハ是レ以上申上ゲマセヌガ、社會ノ相剋摩擦ヲ避ケ、社會的正義ニ則ツテ仕事ヲスルト云フ上カラ言ヒマス、斯ウ云フモノヲ見落シテ——今日マデハ助ケテ大イニ社會大衆ノ爲ニ働カセタガ、皆テ今度會社ガ出來ルコトニナルト、ソレハ昨日マデノ話デ、今日カラハ俺ナシカガ會社ヲ拵ヘルノダカラ、オ前ナシカハ構ハナイゾト云フヤウナコトニナツタラ、是ハ重大問題ト思ヒマス、ドウカ其ノ點々モ過チナキヤウニ御願致シマス、ソレカラ市場ニ於ケル手数料ガ區々マチ——ト云フ御話デアリマシタガ、是ハ如何ナル市場ガアリマセウトモ、配給統制ノ完備ヲ期スル上カラハ、此ノ手数料ハ統一セネバナライモノト思ヒマスガ、之ニ對シテ御答辯ヲ願ヒマス

○周東政府委員 御話ノ通り市場委託手数料ノ關係ニ於キマシテモ、出來ルダケはハ

各市場ノ手数料ノ關係ヲ統一シテ行キタイ  
ト云フヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ市  
場ノ手数料ノ方ハ、先日モ申上ゲマシタヤ  
ウニ、是ハ統一のニ決ツテ居リマス

○吉植委員 ドウシテモ市場並ニ市場員ノ  
手数料ト云フヤウナモノモ、今申上ゲマシ  
タヤウニ、吾々農民ノ手カラ何ノ心配モ要  
ラズニ、産業組合ニ依ツテ全販聯ノ建値ト  
云フモノヲ目標ニシテ賣リマス、一俵三  
錢ヨリ掛ラナイノデアリマス、左様ナ機構  
ガアルノニ、之ヲ排撃シテ新ナル機構ニ  
移ラウト云フノデゴザイマスカラ、諄クハ  
申上ゲマセヌガ、ドウカ此ノ目的ニ背反シ  
マセヌヤウニ、此ノ點十分ニ御考慮願フヤ  
ウニ、米穀局長ニ釘ヲ刺シテ置キマス——  
御要求ノ政府委員ハ……

○添田委員長 今陸軍ノ方ノ政府委員ガ見  
エルサウデス、海軍ノ政府委員ハ今外出中  
デ居ナイト云フコトデス、企畫院ノ政府委  
員ハ今捜シテ居リマス

○吉植委員 ソレデハモウ一ツ御尋致シマ  
スガ、先ニ大臣ガ大體ノ數字ヲ御示下サイ  
マシタヤウニ、今ドレダケト云フコトハ分  
ラナイニシテモ、少クトモ大體此ノ位ニナル  
ノデハナイカト云フ腰ダメデモ結構デアリ  
マスカラ、今ノ點ヲ御答辯願ヒマス

○櫻内國務大臣 今ノハ市場員ノ委託手數  
料ノ問題デアリマスカ……

○吉植委員 左様デゴザイマス

○櫻内國務大臣 ソレハ勿論出來ルダケ安  
ク致ス考デ、現在ヨリモ安ク決定スルコト  
ダケハ嚴重ニ行ハセタイと思ツテ居リマス

○吉植委員 國營検査ハシナケレバナラナ  
イガ、但シ今日實行スルト云フコトハ出來  
ナイ、近キ將來ニ於テ善處スルト云フ大臣

ノ御答辯ヲ先頃本會議デ承ツタノデアリマ  
スガ、之ヲ一體何時頃カラ實行セラレル御  
意思デアアルカラ承リタイノデアリマス、其  
ノ節ニモ申上ゲマシタヤウニ、ドウシテモ  
配給統制ト云フコトハ、唯米ヲ配給スルダ  
ケノ統制デナク、品質ノ統制マデモ行ツテ  
戴カナケレバ本當ノ配給統制ニナラスト思  
ヒマス、諄クハ申上ゲマセヌガ、兎ニ角今  
日ノ各地方ノ米ハ、各府縣別ノ検査員ニ依  
ツテ行ハレマス關係上、區々マチノニナ  
ツテ居リマス、此ノ區々マチノニナツテ  
居リマスモノヲ統一シテ、配給シヨウト云  
フコトニナリマス、ソコニ多大ノ困難ヲ  
伴ツテ參リマスガ、是モ本配給統制機構ノ  
完成ト共ニ、ドウシテモソコマデ行カナケレ  
バ、佛作ツテ魂入レズト云フコトニナリマス、  
デアリマスカラハハ萬難ヲ排シテ一刻モ早

クヤラナケレバナラスト思ヒマス、是ハ尤  
モ二三代前ノ内閣ニ於キマシテ、検査國營ト  
云フコトヲ農林省トシテ提出サレタガ、時  
ノ豫算關係カラ其ノ儘ニナツテ居ルト云フ  
歴史モアリマスノデ、此ノ事ハ吾々農民  
トシテモ切望スルモノデアリマスガ、大體  
何時頃カラ、實施ナサル御積リデアリマス  
カ、大臣ノ大體ノ御肚ヲ承リタイノデアリ  
マス

○櫻内國務大臣 國營検査ノ必要ナコトハ  
私共モ認メテ居ル所デアリマス、隨ヒマシ  
テ農林省ニ於テモ、御話ノ如ク既ニ一遍豫  
算ニ計上シテ公表サレタコトガアルヤウニ  
聞イテ居リマスガ、私ト致シマシテハ、本  
問題ハ出來得ルダケ速ニ其ノ實現ヲ期スル  
ヤウニ努力致シタイト考ヘテ居リマスケレ  
ドモ、本議會ニ於キマシテソレヲ決定スル  
コトガ出來ナイノハ、甚ダ遺憾ト思ツテ居  
ルヤウナ譯デアリマス

○吉植委員 是ハ先頃モ承ツテ居ツタノデ  
アリマスガ、私ハ大臣ノ御答辯ノ終ヒノ方  
ガハツキリシナイデ、御答辯ヲ違ツタ意味  
ニ解釋シテ、其ノ儘御質問申上ゲナカツタ  
ノデアリマスガ、中央市場ノ取引價格ガ最  
高價格ニナツタ時ニ、ドウシテモ地方ノ  
大半ニ闇取引ガ行ハレルト吾々考ヘテ居リ

マス、所ガ其ノ當時此ノ事ヲ御尋シマシタ  
所ガ、大臣ハ其ノ心配ハアルマイト云フ御  
答辯デアリタマタガ、先頃私ガ申上ゲマシ  
タ數字ト云フモノハ、是ハ地方ニ於キマシ  
テモ運送賃其ノ他ガ掛ラナイ所ヲ標準トシ  
マシタノデス、是ガ山村邊リニナリマス、  
停車場ニ二里モ山ヲ超エテ出テ來ナケレバ  
ナラスト云ツタヤウナ所ナリ、或ハ市場カ  
ラ三十里モ離レテ居ルヤウナ所ニナリマス  
ト、一俵ニ付テ二十錢ヤ三十錢デヤゴザイマ  
セヌ、一石少クトモ二圓ヤソコヲ運賃ヤ諸  
掛ガ掛ルノデアリマス、サウシマスドドウ  
シテモ地方ノ實情ニ依ツテハ、闇取引ガ自  
然ト行ハレテ來ルノデアリマス、東京ニ持  
出シテ公定價格デ賣ル、最高價格マデ行キ  
マシタ時ハ、米ノ需要ガドウシテモ旺盛ニ  
ナツテ居リマシテ、供給ノ方ガ之ニ伴ハナイ  
場合ガ豫想セラレマス、其ノ時中央ニ於キマ  
シテハ、例ヘバ三十五圓四十錢ガ最高價格  
デアルト、其ノ價格デ賣買サレル、地方ニ  
於キマシテ特殊ノ事情カラ東京カラ米ヲ買  
ツテ來レバ、運賃ガ二圓モ掛ル、二圓モ掛  
ツテ三十七圓四十錢デナイト、東京ノ米ハ  
買ツテ食ベラレマセヌ、ソコデ其ノ近所カ  
ラ俺ノ方デハ三十六圓ニ賣ツテヤル、俺ノ  
方デハ三十六圓五十錢デ賣ツテヤラウト云

フ者が出テ來ル、サウスルトソレヲ買ツテ食フ、斯様ヲ取引ト云フモノハ現在在各地地方ニ、丁度小サナ旋風ガ春先ニ起リマスヤウニ、到ル所ノ全國ノ農村或ハ小サナ市場ニ行ハレテ居ルノデアリマス、サウナリマスト中央ニ來ル米ガ少クナツテ、ドウシテモ市場取引ガ米ガスレニナル心配ガアルノデスガ、今一應此ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 今吉植サンノ御話ニナリマシタヤウナ事柄ハ、米ノ缺乏シタ時代ニ於テハ起リ得ルト思ヒマス、即チ東京デ三十五圓四十錢デ、二十里山奥ニ於テハ、ソレニ運賃ヲ加ヘタ價格、即チ運賃ガ五十錢掛レバ五十錢高クナリ、一圓掛レバ一圓高クナル、或ハ三十五圓四十錢ノモノヲ運賃ガ一圓掛ルト云フ場合ニ、ソレヨリモ五錢安イトカ十錢安イトカ云フ料金デ、三十六圓三十錢ナリ四十錢ナリニ買フ、斯ウ云フ事柄ハ起リ得ル事態ト思ヒマス、ソレカラ

又農村カラ東京ヘ賣出ス場合ニ、東京ガ三十五圓四十錢デアツテ、運賃ガ假ニ一圓デアルト云フ場合ニ、其ノ附近ノ人ガ東京ヘ行ツテ其ノ市場カラ取ルヨリモ、ソレヲ直カニ買ツタ方ガ宜イト云フノデ、詰リ市場ノ値段ヨリ安ク配給サレル場合モアルデア

リマセウ、是ハドウモ已ムヲ得ナイ現象デアリマシテ、闇取引ト申スヨリハ、是ハ自然ノ結果ト云フヨリ仕方ガナイト思ヒマス、併シナガラ其ノ事柄ノ爲ニ、所謂米ノ偏在ヲ致ストカ、需給ニ極端ナル影響ヲ及ボストカ云フ場合ニハ、自カラ他ノ方法ヲ講ジナケレバナラスノデアリマスガ、普通一般ノ自分ノ食フ食糧ニ付キマシテノ取引ト云フモノハ、東京ノ市場ノ値段ガ標準ニハサレテ居ルノデアリマスケレドモ、ソレニ對スル運賃諸掛ト云フモノニ付キマシテハ、上ニナツタリ下ニナツタリスル場合ハ起リ得ルト斯ウ思フノデアリマス

○吉植委員 企畫院ノ方ハマダ分リマセヌカ

○添田委員長 企畫院ノ次長ハ、モウ暫ク經ツタラ出席スルト云フコトデアリマス、ソレカラ陸海軍ノ經理局ノ局長代理ノ人ハ、今日ハ決算ノ分科デ一寸コツチヘ出ラレナイト云フコトデアリマス

○吉植委員 是カラハドウシテモ陸海軍ニ聽イテ貰ハナケレバナラスノデスガ、致シ方ガアリマセヌガ、他ニ誰カ……

○添田委員長 陸海軍ニ對シテノ御質問ハアトニ殘シテ他ノ方面ノコトダケヲ……

○吉植委員 デハアトノ質問者ニ御譲リシ

テモ宜シウゴザイマス

○添田委員長 デハ次ノ古田君

○古田委員 本法案ハ數日ニ亙ツテ熱心ナル質疑應答ガ行ハレテ居リマスノデ、中ニハ重複ノ事項モ多少アラウカト思フノデアリマスガ、私ハ極メテ簡單ニ、端的ニ御質問致シタイト存ジマス、本法案ガ議會ニ提出サレマスルヤ、全國ノ米穀業者ガ一齊ニ立ツテ、各地ニ於テ商權擁護ノ大會等ヲ開カレマシテ、吾々ノ机上ニハ電報、陳情書、書面等ガ山積サレテ居ルヤウナ狀態デアリマシテ、中ニハ洵ニ悲痛ナル叫ビ、熱淚ヲ催スヤウナモノモアリマス、私ハ兄ガ出征シテ老イタル兩親ヲ抱ヘ、弟妹ヲ養ヒ、一家ヲ支ヘテ行ク小サナ米屋デアリマスト書イデアリマスノデ、之ヲ見テ私共實ニ泣カサレタノデアリマスガ、是等ノ小賣商人ハ餘リニモ取越苦勞デアツタノデハナカラ、カト信ズルノデアリマス、昨日同僚ノ片岡議員ノ御質問ニ對シテ、米穀局長ハ小賣商組合ハ會社ノ市場員ニナレルトノコトデアリマシタノデ、全國ノ小賣商人ハ從來ニ變ラヌ營業ガ出來ルコトダケハ、ハツキリ致シタノデアリマス、此ノ點ダケハ諒承致シマシタ、茲ニ實例ヲ申上ゲテ御尋シタイコトハ、廣島縣ノ如キハ大臣ノ御承知ノ如ク、縣

聯ガ縣下ノ米ヲ殆ト全部統制ヲシテ、電話一本デ自由ニ米穀業者ヘ販賣致シマシテ、兩者共ニ洵ニ圓滿ナ協調ガ行ハレテ居リマスルガ、此ノ行爲ハ此ノ儘デ宜シイト思ヒマスガ、其ノ通りデアリマセウカ、此ノ一點ヲ御伺致シマス

○櫻内國務大臣 從來行ハレテ居リマス所ノ地方ノ米穀ノ流レ方、即チ取引ノ機構ニ付キマシテハ、何等之ヲ改變致ス考ハゴザイマセヌ

○吉田委員 次ニ市場問題デアリマス、全國三十箇所ト云フコトデアリマスガ、一縣ニ付テ一ツノ割合ニモ行カヌノデアリマ

ガ、是デ果シテ立派ナル統制ガ行ハレマスカドウカ、又三十箇所ノ市場ノ場所ガ昨日ハ分ラヌヤウデアリマシタガ、或ハ知ツテ居テモ知ラサヌノカモ知レマセヌガ、若シ分ツテ居レバ承リタイト思ヒマス、又市場ノ地域ナドハ昨日ノ御答辯ヲ承リマス

ト、市内及市外ト云フコトデアリマスガ、モツト之ヲ擴大サレタ方ガ統制上便宜デハナイカト存ズルノデアリマス、御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 三十箇所ト限定ヲ致ス譯デハナイノデアリマシテ、現在市場ガアル所ハ其ノ儘繼承シテヤラウ、ソレ以外ニ於

キマシテモ米ノ集散ノ狀況其ノ他ヲ調査致シマシテ、必要ナル所ニハソレヲ設ケタイト云フ考デ居ルノデアリマス

○古田委員 次ニ生産團體ノ取扱米ニ付テハ、將來市場ヲ通サレル御計畫デアリマスカ

○周東政府委員 生産者團體ノ取扱ヒマス米ハ、大體市場員ノ手ヲ經由シテ參ルト云フコトニナルト思ヒマス

○古田委員 市場取引ノ範圍ハ一體最小、最大ハドノ程度デアリマスカ

○周東政府委員 是ハ各市場ニ依ツテ異ナルト思ヒマスガ、先日申上ゲマシタヤウニ、大體大キナ市場ニ於キマシテハ、二十五俵位正米市場ニ於テ取引致シタイト思ヒマス

○古田委員 次ニ先ヅ會社ノ目論見書ニ付テ御伺致シマスガ、大部分ハ吉植サシノ御答辯デ諒承致シマシタ、何ノ會社デモ設立スル時ニ當リマシテハ、中々目論見書ハ立派ニ出來ルノデアリマスガ、實行ニ當リマスト兎角ソレガ喰違ヒヲ生ズルノデアリマス、殊ニ本會社ノ如キハ赤字會社ヲ引受ケルト云フ一ツノ難點ガアリマスノデ、政府ハ餘程ノ決心ヲ以テ臨マナケレバナラスト思フノデアリマス、先程ノ資本金ニ付テノ御話ハ省略致シマス、政府ハ第一回ニ三百

七十五万円、之ヲ株ヲ以テ出資スルト云フコトデアリマスガ、其ノ株ハ何ノ株デアリマスカ

○周東政府委員 現金出資ヲ考ヘテ居リマス

○古田委員 サウスレバ次ノ殘額ノ千百二十五万円ト云フモノハ、拂込ヲナサル積リデアリマスガ、ナサラス積リデアリマスカ

○周東政府委員 是ハ會社ノ事業ノ進展ノ狀況ニ依リマシテ、必要ガアル場合ニ於キマシテハ、其ノ都度考慮致シタイト考ヘテ居リマス

○古田委員 次ニ事業使途ノ方デアリマスガ、八百五十万円ハ全國ノ取引所、市場所有土地、建物等ヲ買入レルコトニナツテ居リマスガ、見積單價等ガ分ツテ居レバ、御發表願ヒタイト存ズルノデアリマス、次ニ二百萬圓ノ新市場及倉庫ノ増築費ガ出テ居リマスガ、目下材料不足ノ爲ニ、民間ノ大キナ建築ハ、政府ノ中止命令ニ依ツテ、殆ド中止サレテ居ルヤウナ狀況デアリマサルガ、此ノ狀態ノ時ニ増築等ヲ成ベク避ケタ方ガ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、又倉庫ノ如キハ何レノ地ニ參リマシテモ、現在使用シテ居ル所ノ倉庫ヲ使用シテモ、事ハ足リルノデハナイカト思フノデア

リマスガ、此ノ點ハドウ云フ御所見デアリマスカ

○周東政府委員 第一點ノ八百五十万円ノ内容デアリマスガ、是ハ只今御話ノアリマシタヤウニ、米穀取引所、正米市場所有ノ土地建物等ノ買収ヲ致シマスル金額モ入ツテ居リマスガ、ソレダケデナクテ、是ハ其ノ他ノ新年度ニ必要ナ諸施設費モ含メテ考ヘテ居ルノデアリマスカ、其ノ點ハ御諒承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ其ノ中ノ買収ノ見積價格ガドノ位カト云フ御話デアリマスガ、是ハ此ノ法文ニアリマスヤウニ、大體委員會ニ於キマシテ其ノ價格ヲ評價致シマスカ、具體的ニハマダ決ツテ居ラヌ譯デアリマス、ソレカラ第二番目ノ二百萬圓ノ問題デアリマスガ、是ハ私共ノ方ト致シマシテハ、勿論出來ルダケノ既設ノ倉庫等ノ利用ニ付テハ努メル積リデゴザイマスガ、必要ニ應ジマシテ徐々ニ新シイ市場ヲ設ケル必要モアルカト考ヘマス、左様ナ場合ニ於キマシテ、其處ノ既設ノ設備或ハ其ノ必要ノ限度ニ於テ倉庫ノ新設ト云フコトモ起ルカト思ヒマスガ、其ノ場合ヲ豫定致シマシテ見積ツテ居ル譯デアリマス、併シ只今ノ御話ノヤウニ、出來ルダケ既設ノ建築物等ヲ利用シテ參ル考デ

ハ居リマス

○古田委員 序ニ倉庫ノコトニ付テ御伺致シテ置キマスガ、倉庫事業ヲ將來オヤリニナル御計畫デゴザイマスカ

○周東政府委員 此ノ會社ハ倉庫事業ト云フヤウナモノヲ主トシテ行フモノデアリマセヌ、何處マデモ市場ニ於テ賣買取引セラルモノニ付キマシテ、便宜ヲ與ヘル範圍ニ限ラレルノデアリマシテ、主トシテ倉庫業ヲ營ム意思ハアリマセヌ

○古田委員 次ニ收支豫算書ノ方デアリマスガ、米穀市場業務收入百四十六萬一千二百圓、米穀取引取扱業務收入百七十六萬五千七百圓トアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ度々御答辯ガアツタノデアリマスガ、總括的ニ米穀取扱高及手数料等ヲ詳細ニ書イタモノデモ宜イカラ、御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ニ利益處分案ニ付テ御伺致シマスガ、株主配當金ノ問題、是ハ六分ノ配當デ九十萬圓見積ツテアルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ先般松村政務次官ノ御答ガアツタノデアリマス、六分ハ政府ガ保證シタノデハナイ、或ハ五分、四分ニナツテモ政府ハ致シ方ガナイト云フ如キ御答辯デアリマスガ、サウナレバ損ヲシタ場合ニハ、株主ノ損害ニナルト云フコトニ承知シ

テ宜シウゴザイマスカ

○周東政府委員 御話ノ通りデアリマス

○古田委員 ソレト反對ニ會社ガ非常ニ利益ヲ得テ、二割三割配當スルヤウナ場合ガ起キタ時ノ處置ニ付テハ、政府ハドウ御考ニナリマスカ

○周東政府委員 左様ナ利益ガ若シモ出テ參リマシタ場合ニ於キマシテハ、法律ニ規定シテ置キマシタヤウニ、先ヅ八分ニ至リマスマデハ政府ト民間ノ間ニ於キマシテ配當ノ割合ヲ決メテ、民間ニ配當ヲ致シマス、又ソレ以上ニ出マスレバ其ノ以後ニ於テハ同ジ割合ヲ以テ、配當サレルコトニナルト思ヒマス、併シ此ノ場合ニ於テ非常ナル高率ニナツタ時ニハ、配當制限ノ法律ニ依リマシテ制限ヲ受ケルコトハ、御承知ノ通りデアリマス

○古田委員 サウシマスト損ヲシタ時ニハ政府ハ知ラス、儲ケタ時ニハ制限ヲ加ヘルト云フコトデハ、少シ不公平ノヤウニ思ヒマスガ、モウ少シ政府ハ思ヒ切ツテ、六分以下ニ下ル場合ハ政府ガ六分配當ノ出來ルヤウニ、保證シテヤツタ方ガ普通株主或ハ世間一般ノ信用ヲ得ルト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ農林大臣ノ御答辯ヲ願ヒタイ

○櫻内國務大臣 此ノ會社ハ御承知ノ通り

國策會社デモアリマスシ、殊ニ一般ノ配當

六分ニ至ルマデハ、政府ハ一厘ノ配當モ受ケナイノデアリマス、殊ニ況ヤ政府ガ年々買替ヘマス米モ、此ノ會社ノ取扱デアリマスシ、又臺灣ノ移出米ガ管理サレルヤウナ場合ガアリマスレバ、是亦此ノ會社ニ於テ取扱ヒマス、更ニ朝鮮ノ移出米ヲ管理サレルヤウナコトガアルト致シマスレバ、ヤハリ此ノ會社ニ自然取扱ハスコトニ相成ルト考ヘマス、故ニ種々ナル點カラ考ヘマシテモ、此ノ會社ノ配當ガ六分以下ニ下ルト云フガ如キコトハナイノミナラズ、此ノ會社ニ於キマシテ若シ株式ヲ募集致シマスレバ、滿株ニナルコトダケハ間違ヒナイト考ヘマス、ソレカラ儲カツタ場合ニ於ケル利益ガ非常ニ多クナツテ、今ノ御話ノ通り一割以上ニ割ニナルト云フヤウナコトハ、容易ニ想像シ得ナイ所デアリマシテ、若シ是ガ一割以上モ儲カルヤウナ場合ニ於テハ、手數料ヲ下ゲルトカ何トカシテ、兎ニ角一般ノ利益ヲ圖ルコトヲ主眼ト致サナケレバナラスト心得テ居ル次第デアリマス

○古田委員 只今大臣ノ御答辯ノ如ク、政府ガ名刀ヲ以テ指揮スル以上ハ、此ノ會社ハ損ヲセヌモノト私ハ解釋致シマス、ソレナレバコソ六分以下ニ下ツタ時ニ尙更政府

ガ保證スルト云フコトヲ言明スベキモノト

思ヒマスガ、是ハ議論ニナルカラ申上ゲマセヌ、ソレト申シマスノハ實例ヲ申シマスト最近出來マシタ家畜飼料ノ統制會社、是ハ元農林次官ノ方ガ社長ヲヤツテ居リマシガ、全國三四箇所ノ港ヲ基準トシテ全國的ニヤル統制會社ノヤウニ承ツテ居リマス、此ノ會社ハヤハリ六分以上ハ特別配當ハセヌト云フコトニナツテ居リマスガ、最近上海

青島方面カラ穀等ノ飼料ガ入リマスガ、元三國内外ノモノガ農家ノ手ニ入ル場合ニハ六七割ト云フヤウニ、非常ナ高價ニナツテ居リマス、ソレガ爲ニ損害ヲ被ムル者ハ農家ノ利用者、或ハ養鶏業者デ、今日悲鳴ヲ擧ゲテ居ルノデアリマス、所ガ統制會社ノ方ヲ見マスト非常ナル利益ガ出テ居ルハ、是ハ勿論名目ハ資金調整法ニ對スル平衡資金トカ云フノデアリマスガ、大シタ金ガ玆ニ集マルト云フ時ニ際シテハ、政府ハ餘程御關心ヲ持タレネバナラスト思ヒマス、殊ニ此ノ會社ト關聯セル輸入業者ノ如キハ、船カラ陸揚スル運賃ノ如キモ、倍額ノ計算ヲ致シテ居ルヤウニモ見受ケル點ガアリマスノデ、是ハ別ニ答辯ハ要リマセヌガ、斯ノ如ク直ニ農家ノ方面ニ影響スルヤウナ、而モ獨占事業ノ會社ニ付テハ、モウ少シ熱

心ナル御監督ヲナサレンコトヲ此ノ機會ニ希望致シマス

○櫻内國務大臣 只今古田君ノ御希望ノ點ハ十分諒承致シマシタ、飼料會社ノ問題ニ對シテ、平衡資金ノ制度ガ設ケラレテ居ルコトハ承知致シテ居リマス、是ハ要スルニ越ト玉蜀黍ノ取扱ノ關係上、輸入シタモノヲ時價デ賣ツテ、其ノ利益ヲ平均シテ賣捌ク爲ニ、平衡資金ト云フモノヲ置イテ居ルヤウデアリマス、是ハ一般農家ニ歸スベキモノデアアルコトハ言フマデモナイコトデアマシテ、之ニ對シマシテハ政府トシテ適當ニ指示致シタイト考ヘテ居リマス、今ノ御話ノ仲仕等ガ倍額ノ料金ヲ取ツテ居ルヤウナコトハナイト思ヒマスガ、若シ假ニアルト致シマスナラバ、此ノ點ハ篤ト調査ヲ致シマシテ、十分ナル取締ヲ致シタイト思ヒマス

○古田委員 最後ニ一點御尋シテ置キタイトハ、先程申上ゲマシタヤウニ當會社ガ政府ノ援助ニ依リ是レ程最高組織デアルナラバ、相當ノ利益ハアラウト思ヒマス、初メ豫算ヲ作ラレタ時ハ勿論運賃、手數料等ハ極メテ輕減サレテ、豫算ヲ組マレタモノト思ヒマスガ、ソレデモ尙且ツ一割二割ノ配當ヲ爲スガ如キ場合ニハ、當會社ト取

引ヲスル各種團體ニ拂戻シヲ爲サルヤウナ  
コトヲ、御計畫或ハ御指示ナサル御積リハ  
アリマセヌカドウカ御伺致シマス

○周東政府委員 此ノ點ニ付キマシテハ只  
今ノ所考ヘテ居リマセヌ、併シ先程大臣カ  
ラモ申上デマシタヤウニ、此ノ會社ノ國策  
的使命ニ鑑ミマシテ、利益ガ上ガルヤウデ  
ゴザイマスレバ、出來ルダケ手數料其ノ他  
ノ方面ニ於キマシテ引下ゲフスルコトニ依  
リマシテ、實質的ニ此ノ取引ニ關係スル者、  
生産者消費者ニ對シテ此ノ利益ガ還元サレ  
ルヤウニ致シタイト斯様ニ考ヘマス

○古田委員 私ノ質問ハ是デ打切りマス

○小山田委員 私ハ成ベク重複ヲ避ケル意  
味ニ於キマシテ、極メテ簡單ニ要點ノミヲ  
御尋致シタイト思フノデアリマス、當委員  
會ニ於キマシテ屢、論議サレタ問題デアリマ  
スガ、米ノ増產計畫遂行ニ關スル件デゴザ  
イマス、此ノ米ノ増產計畫ヲ遂行致シマス  
爲ニハ、此ノ際積極的ニ政府ニ於カレマシ  
テ開墾ヲ助成スルコトガ、一番效果的デハ  
ナイカト考ヘルノデアリマス、此ノ問題ニ  
付キマシテハ或ハ他ノ委員カラ御質問ガア  
ツタト思ハレマスガ、政府ノ方カラ御提出  
ニナリマシタ資料ニ依ツテ見マス、我國  
ノ耕地面積ハ逐年減少ノ傾向ヲ辿ツテ居ル

コトニナツテ居ルノデアリマス、最近五箇  
年間ニ於ケル耕地面積ノ減ツテ居リマス反  
別ガ、二千六町歩ト云フ數字ヲ示シテ居ル  
ノデアリマス、平均約四百町歩以上ガ年々  
歳々田地ガ減ツテ居ルト云フヤウナコトニ  
ナツテ居ルノデアリマシテ、是ハ單ニ米ノ  
増產計畫ノ上カラバカリデナク、我國ノ農  
政上ノ問題トシテモ極メテ私ハ重要ナ事柄  
デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ勿  
論工業都市ノ膨脹、其ノ他色々事情ニ因  
リマシテ、斯ル結果ヲ來シテ居ルコトハ  
考ヘルノデアリマス、併シ政府ニ於キマシ  
テハ此ノ耕地漸減ノ現象ニ對シマシテ、今  
ニ於テ何等カノ對策ヲ講ズルコトガナケレ  
バ、今後ニ於ケル工業ノ地方分布ト云フヤ  
ウナ問題カラ考ヘテ見マス、日本ノ耕地  
面積ト云フモノハ益、減少シテ行クヤウナ  
傾向ヲ馴致スルノデハナイカト考ヘテ居ル  
ノデアリマス、他方改善ノ事業費ノ金額ヲ拜  
見シマス、昭和九年度ノ限度トシテ漸次  
其ノ金額ガ減ツテ參ツテ居ルノデアリマス、  
耕地ガ段々減ツテ參リマス反面ニ於キマシ  
テ、改善ノ方ハサツパリ進ンデ居ラナイ、斯  
ウ云フコトニナリマス、内地ニ於ケル米  
ノ増產ト云フモノハ、將來到底望マレナイ  
コトニナルノデアリマス、ノミナラズ耕地面

積ノ減少ハ、必然的ニ益、減產ノ傾向ヲ來  
スコトニナルノハ、是ハ當然ノコトデア  
ルト私ハ考ヘテ居ル、然ルニ我國ニ於キマス  
ル耕地ノ開墾ヲ見込ミ居ル所ノ面積ヲ調ベ  
テ見マスルニ、現在全國ヲ通ジテ田地バカ  
リデモ約四十七万三千町歩ト云フ龐大ナ面  
積ガ殘サレテ居ル、此ノ未墾地ヲ此ノ儘ニ  
シテ置イテ、毎年耕地ノ減ツテ居ルコトニ  
大變冷淡ナ態度ヲ取ルト云フコトハ、甚ダ  
私ハ諒解シ得ナイコトデアルト考ヘテ居ル  
ノデアリマス、一體政府ノ増產計畫ト云フ  
モノハ、單ニ其ノ場限りノ、一時、間ニ合セ  
ノ政策デアツテハナラナイノデアリマス、  
少クトモ此ノ食糧政策問題ノ根本ノ解決ヲ  
促ス所ノ、一ツノ基礎的ナ調査ニ基イタ對  
策デナケレバ、吾々ハ安心シテ日本ノ食糧  
問題ニ對スル政府ノ御計畫ヲ、此ノ儘認メ  
ル譯ニハ行カヌノデアリマス、是等ノ點ニ  
付キマシテノ政府ノ御所見ハ如何デアリマ  
スカ、此ノ點ヲ御伺致シマス

○周東政府委員 御話ノ點御尤デゴザイマ  
ス、政府ニ於キマシテモ開墾ニ對シマシテ  
ハ、常ニ關心ヲ持ツテ居ルノデアリマス、  
十四年度豫算ニ於キマシテモ今御話ノヤウ  
ナ潰地ニ對シマスル對策ト致シマシテ、約  
五千町歩ノ開墾ニ關スル助成金ヲ計上致シ  
マシテ、既ニ一般豫算デ御協賛ヲ御願シタ  
コトト思ツテ居リマス、ソレカラ別ニ國營  
開墾等モ二箇所豫算デ御願ヲシテ、御協賛  
ヲ得タト思ツテ居リマス、其ノ他増產計畫  
ニ關スルモノトシマシテハ、用排水改良事  
業、暗渠排水事業、ソレカラ床締、堤塘事  
業ト云フヤウナ、土地ノ改良事業ニ對シマ  
シテモ、別ニ年々一定計畫ノ下ニ要求ヲ致  
サレテ居リマス、是等ニ關スル豫算モ既ニ  
御協賛ヲ經タモノト存ジテ居リマス、唯是  
等ノ事柄ハ直チニ十四曆年ニ於ケル作ニ付  
キマシテハ、間ニ合ハヌ部分ガアラウト思ヒ  
マス、ソレ等ト並行致シマシテ、今度新ニ  
御要求ヲ致シテ計畫ヲ致シテ居リマスノハ、  
昨日申上デマシタヤウニ、或ハ耕地ノ耕作基  
準ノ設定、或ハ病虫害ノ驅除豫防、或ハ是等  
ノ仕事ニ對シマスル指導ト云フヤウナ、段  
當收入増加ニ關スル施設ヲ致シマシテ、兎  
モ角モ十四曆年ニ於ケル作ニ付テ、一粒デ  
モ餘計生産出來ルヤウニト云フ方面ノ計畫  
ヲ致シタ譯デアリマス、御話ノヤウナ根本  
ノ開墾計畫、或ハ農業、土地、水利ノ改良  
計畫ト云フモノハ、是ト別ニ並行シテ居ル  
ヤウナ次第デアリマス、御諒承ヲ願ヒマス  
○小山田委員 只今申上デマシタヤウニ、  
日本ノ耕地面積ハ漸減ノ傾向ニアルト云フ

コトハ、此ノ政府カラ示サレマシタ資料ニ  
依ツテ明ニナツテ居ルノデアリマス、之ニ  
對シテ現在色々ナ施設ヲ講ジテ居ラレルト  
云フヤウナ意味ノ御話デアリマスガ、只今  
申上ゲデマシタヤウニ今後我國ノ工業ノ異  
常ナル發達ニ依ツテ起ルベキ、所謂工業ノ地  
方分布ト云フヤウナ點カラ考ヘテ見マスト、

必ズシモ都市ノ工業地帯ノミナラズ、地方  
ニ於ケル所ノ耕地面積モ急速度ニ減少スル  
傾向ガアルト云フコトハ、大體ノ見透シト  
シテハ私ハ間違ヒノナイコトデアラウト考  
ヘテ居リマス、色々ノ御計畫ハアルノデア  
リマセウガ、斯ウシタ急速度ニ減少シテ參  
リマス耕地ノ潰地等ニ對シテハ、此ノ潰レ  
マス面積ト、政府デ開墾助成シテ行キマス  
面積トノ比較關係ガ、今後ドウ云フ風ニナ  
ツテ居ルノデアリマスカ、其ノ點ヲ一ツ伺  
ヒマス

○周東政府委員 御話ノヤウナ將來ニ向ッ  
テノ耕地ノ減少ト云フコトト、之ニ對應致  
シマシテドウ云フ程度ニ年々開墾計畫ヲ立  
テ、將來ノ食糧關係ニ對應シテ行クカト云  
フコトニ付キマシテハ、目下農務局アタリ  
ニ於キマシテ慎重ニ研究致シテ居リマス、  
恐ラクハ來年度以降ニ於キマシテハ、是等  
ノ潰地ト云フヤウナモノニ對應シタ開墾計

畫ト云フモノニ對シマシテハ、其ノ調査ノ  
結果ニ基キマシテ、ソレニ對應スルヤウナ  
計畫ガ立テラレルトコトダト考ヘテ居リマス、  
只今私ノ手許ニ其ノ材料ガアリマセヌカラ、  
ソレダケ申上ゲテ置キマス

○小山田委員 此ノ點ハ日本ノ食糧問題解  
決ノ爲ニモ、亦農政上カラモ極メテ重大ナ  
ル根本ノ問題デアルト思ヒマスカラ、政府ニ  
於キマシテハ十分ナル對策ヲ立テラレマシ  
テ、萬遺憾ナキヲ期セラレタイト私ハ御願  
スル次第デアリマス、次ニ御伺シタイノハ  
本法ノ第四條ノ強制命令ノコトデアリマス、

是ハ過日ノ御答辯ニ依リマシテ、生産者デ  
アル所ノ農家ノ持米ニ對シテモ、發動スル  
コトガ出來ルト云フヤウナ御話ガアツタノ  
デゴザイマス、併シ是ハ無論減少ニ適用ス  
ルコトノナイ、所謂傳家ノ寶刀デアルト云  
フヤウニ言ハレテ居ルノデアリマス、勿論  
斯ルコトハ特別非常ノ場合デナケレバ起リ  
得ナイコトハ思フノデアリマス、生産者デア  
ル所ノ農家ノ持米ニ對シテ政府ガ強制買上  
ヲ爲スト云フヤウナコトハ、是ハ食糧缺乏ノ非  
常ナ場合ニ於ケル所ノ一ツノ政府ノ徵發行爲  
デアル、私ハ敢テ徵發ト云フ言葉ヲ用ヒテ御伺  
スルノデアリマス、此ノ個人ノ私有物ヲ徵  
發スルト云フコトハ、戰時又ハ事變デナケ

レバ是ハ私ハ不可能ナ事柄デアルト、斯様  
ニ考ヘテ居リマス、私ノ知ツテ居リマス範  
圍内デハ、是ハ總動員法ノ發動ニ依ツテ初  
メテ行ヒ得ルコトデアリマシテ、斯ル米穀  
配給統制法ト云フヤウナモノニ依ツテ——徵  
發ニ類スルト申シマシタガ、事實上徵發  
ト私ハ同ジ意味ダラウト思ヒマスガ、斯ウ  
云フ事柄ガ此ノ法律ニ依ツテ發動シ得ラレ  
ルト云フコトニ對シテハ、私ハ根本的ノ疑  
義ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、之ニ對ス  
ル當局ノ御考ヲ伺ヒマス

○周東政府委員 第四條ノ直接生産者等ニ  
參ル場合ノ御話デアリマスガ、是ハ今御話  
ノヤウナ徵發マデ是デヤルト云フヤウナコ  
トヲ考ヘテ居ルノデハゴザイマセヌガ、需給  
ガ極端ニ窮屈ニナツタ場合ニ於キマシテハ、  
恐ラクハ其ノ際ニ於キマシテ一般ノ取引價  
格ガ公定サレルコトニナツテ參ル場合デア  
ラウト思ヒマス、隨テ斯様ナ場合ニ公定セ  
ラレマシタ價格ニ依リマシテ、農家ノ自家  
用米ヲ除キマシテ、販賣シマス米ニ付テ出  
荷スルヤウニト云フ命令ヲ出スト云フヤウ  
ナコトニナラウト、斯様ニ考ヘテ居リマス、  
御話ノヤウナ積極的ニ、意思如何ニ拘ラズ  
之ヲ徵發シシマフト云フヤウナ問題ニナ  
リマス、是ハ自ラ御話ノヤウニ、此ノ裏

ニモウ一步總動員法ト云フモノノ發動ト云  
フコトガ考ヘラレルト思ヒマス

○小山田委員 ドウモ只今ノ御答辯デハ、  
シツクリ肚ニ落著キマセヌガ、事實上ニ於  
テハヤハリ一ツノ強制買上デアリマス、強  
制買上デアリマスカラ、内容的ニ申シマス  
ト所謂徵發ト同ジ效果ヲ得ルヤウニナルノ  
デハナイカト思フ、戰時或ハ事變ノ際ニ於  
テ馬ヲ徵用スル、或ハ馬糧ヲ徵發スルト云  
フヤウナコトト、同ジ意味デハナイカト思  
フノデアリマス、サウシタコトハ所謂戰時  
又ハ事變ノ場合ニ於テ行ハレルコトデアツ  
テ、平時ニ於テ行ハレルモノデハナイガ、  
此ノ法律ノ適用ヲ受クルコトニ依ツテノミ  
強制買上ガ可能ナノデハナイカト云フコト  
ヲ、御問ヒシテ居ルノデアリマス、モツト  
ハツキリ御答辯ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 此ノ法律モ御話ノヤウニ  
極端ナ場合ヲ想像シテ居リマスガ、其ノ場  
合ニ於キマシテモ先ヅ配給ノ業務ニ携ツテ  
居リマス機關ヲ押ヘマシテ、之ニ對シマシ  
テ必要ノ出荷命令等ヲ致シ、更ニソレニ關  
聯致シマシテ價格ノ公定ヲシ、ソレニ依  
ツテ取引ヲサセルト云フヤウナコトニ至リ、  
更ニソレニ依ツテ尙ホ足ラヌ場合ニ於キマ  
シテハ、御話ノヤウニ農家ニ對シマシテモ

此ノ價格デ出荷スルヤウニト云フ命令ヲ出スコトヲ考ヘテ居リマスガ、其ノ場合ニ於キマシテモ絶對ニ——結果的ニハ御話ノヤウニナルカト思ヒマスガ、此ノ法ノ狙ッテ居リマス所ハ、其ノ場合ノ強制收用ト云フヤウナコトニ到ル前ニ、出荷命令ヲ出スト云フコトノ程度ニ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、御話ノヤウニサアソレデモイカスト云フ場合ニハ、總動員法ヲ併セ發動致シマシテ、徵發ト云フヤウナコトニナルヤウナ場合モアルカト考ヘテ居リマス

○小山田委員 其ノ總動員法ノ發動ト、此ノ法律ノ關係ノ問題ハ、私ハ極メテ曖昧ナヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、サウシタ場合ニ於キマシテ、生産者デアル所ノ農家ガ政府ノ出荷命令ニ對シテ應ジナカツタト云フヤウナ場合ニ對シテハ、ドウ云フコトニナルノデアリマスカ

○周東政府委員 ソレハ第四十一條ノ規定ノ發動ヲ致ス場合モアルカト思ヒマス、即チ罰則ノ規定ガ茲ニアル譯デアリマス

○小山田委員 マア此ノ問題ハ大體其ノ程度ニ致シテ置キマス、ソレカラ現在ノ取引所ヲ廢止シマシテ正米市場ヲ各地ニ開設サルコトニナルノデアリマスガ、ソレガ爲ニハ正米市場ノ機能ヲ十分ニ發揮セシメル

コトガ必要ノコトデアルト考ヘマス、現在ニ於ケル實米ノ取引狀況ヲ見マスルニ、中間配給業者ノ取扱數量ヨリモ各販賣組合ノ取扱數量ガ段々ト多クナツテ行ク傾向ニアルコトハ、是ハ御承知ノ通りデゴザイマスガ、所謂生産者ノ團體ハ市場員トシテ各地ノ正米市場ニ參加スル建前ニハナツテ居リマスケレドモ、此ノ生産者ノ團體、即チ販賣組合ノ取扱米ハ、市場ガ出來マシテモ、私ハ現在ノ取引狀況カラ見マシテ、市場ヲ素通りシテ生産地カラ直チニ消費地ノ方ヘ流レテ行クコトニナル虞ハナイカ、サウシテ市場ニ於ケル取扱米ヨリモ販賣組合ノ賣リ一方ノ取扱米ノ方ガ、多イト云フコトニナリマスレバ、正米市場ハ十分ナル機能ヲ發揮スルコトガ不可能ニ陥ルヤウナ狀態ヲ馴致スルデハナイカ、隨ヒマシテ正米市場ノ手數料ト云フヤウナ問題ニ付キマシテモ、會社ノ目論見書ニアリマス

所ノ政府ノ豫定シタヤウナモノトハ、餘程違ツタ結果ガ茲ニ生レテ來ルヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、斯様ナ場合ヲ豫想スル時ハ、政府ハ之ニ對シテドウ云フ御方針デ、又ドウ云フ見透シノ下ニオヤリニナルノデアリマスカ

○周東政府委員 是ハ生産者團體ガ市場員

ニナリマシタ場合ニ於キマシテハ、其ノ市場員ハ市場ニ依ル取引ヲ爲スヤウニ、法律ニ規定ニナツテ居リマス、若シモ之ニ違反シタ場合ニ於キマシテハ、之ニ對シテノ制裁ガアル譯デアリマス、專ラ斯ウ云フ方法ニ依リマシテ、市場ヘノ集中ト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスカラ、御話ノヤウナ産業組合ノ取扱フモノダケガ、市場外デ賣ラレテ行クダラウト云フヤウナ、御話ニハナラヌカト考ヘテ居リマス

○小山田委員 サウ致シマス、産業組合ノ取扱米ト云フモノガ、假ニ市場地區外ニ於テ取引ヲサレマシテモ、市場ノ取扱米ト同様ニ見做シテ宜シイノデアリマスカ、市場ヲ通ツタモノト斯様ニ見做シテ宜シウゴザイマスカ

○周東政府委員 是ハ市場員トナリマシタモノガ、其ノ地區内ニ於ケル取引ニ付キマシテ市場ヲ通ス、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、地區外ノ者トノ取引ニ付キマシテハ、勅令ニ依リマシテ市場外ノ者ニ付キマシテモ届出ヲサセルトカ云フ特殊ナ例外ハ設ケテ居リマスガ、大體市場ノ地區内ニ於ケル取引ハ市場ニ依ラシメ、市場地區外ノ取引ハソレハ差支ナイト云フ風ニ扱ツテ行ク積リデ居リマス

○小山田委員 第一條ノ詰リ許可制度ノ問題デアリマスガ、此ノ許可制度ノ主管ハ農林省デアリマスカ、商工省デアリマスカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○周東政府委員 第一條ノ許可官廳ト致シマシテハ、地方長官ガナル譯デアリマス、之ニ對シマス監督關係ニ於キマシテハ、是ハ農林、商工ガ連絡ヲ取ツテ監督ヲシテ行クノデゴザイマス

○小山田委員 第一條ノ勅令ノ内容ニ關スルコトデアリマスガ、此ノ許可ノ地域ヲ決定スル標準ハドウ云フコトニナツテ居リマスカ、詰リ「米ノ買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ノ業務ヲ行ハントスル者」ニ對スル許可ノ地域關係ハ、ドウ云フコトニナツテ居リマスカ

○周東政府委員 是ハ本法ノ目的ニ副ヒマシテ此ノ第一條ノ施行地域ハ決メテ行キタイト思ヒマス、是ハ全國的ニト云フ御議論モアルカト思ヒマスガ、是ハ山村僻地ト云フヤウナ方面マデ、實ハ此ノ許可制度ヲ及ボス必要ハナカラウカト思ヒマス、大體ハ此ノ法律ノ目的達成ニ必要ナ範圍ニ於キマシテ、或ハ市場ノ設置サレヤウナ都市ト云フ風ナモノガ先ヅ目當ナラウカト考ヘテ居リマス

○小山田委員 許可制度ヲ設定シ建前カラ考ヘルナラバ、新規ノ營業ハ今後絶對ニ許可シナイ御方針ノヤウニ承知サレルノデアリマスガ、左様デゴザイマスカ

○周東政府委員 是ハ必ズシモサウデハゴザイマセヌノデ、其ノ新シイモノニ付キマシテモ許可申請ガアリマシタ時ニハ、能ク其ノ地方ニ於ケル米穀配給業者等ノ實情ヲ見、又ハ其ノ地方ニ入リマスル米ノ數量等ヲ見マシテ、許可ガ決定サレルモノデアリマスカラ、一概ニ新規ノモノハ絶對ニ許サヌト云フ趣旨デハゴザイマセヌ

○小山田委員 市場ノ地區ハ初メノ御方針ニ依リマスルト、各市ノ附近ヲ中心トスル區域トナツタヤウニ承知シタノデアリマスガ、是ハ成ベク闇取引ヲ防止スル上カラシテモ、市場外ノ取引ヲ成ベク少クスルト云フ上カラシマシテモ、此ノ市場ノ地區ヲ相當範圍ニ定メルコトガ必要デアルト考ヘマスガ、其ノ邊ノ大體ノ御見當ハ如何デゴザイマスカ

○周東政府委員 先日申上ゲマシタノハ、一ツノ標準トシテ、勿論市及ビ其ノ近傍ヲ含メタモノガ考ヘラレマスガ、是等ハ總テ實際ニ市場ヲ設ケマスル場合ニ於キマシテ、其ノ地方ニ於ケル實情等ヲ能ク考慮ニ入レ

マシテ、考ヘテ行クト云フ計畫ニナツテ居リマス、相當ニ廣イ區域ヲモ市ノ地區ニ入レタ方ガ適當デアルト云フ場所ニ於キマシテハ、御話ノヤウニシテ行キタイト考ヘテ居リマス

○小山田委員 第十九條ノ規定カラ考ヘテ見マスルト、地方ニ於ケル所ノ集荷配給業者ニ對シテ米ノ配給數量ヲ割當テルコトガ、アリ得ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、斯様ナ場合ヲ豫想シテ配給數量ヲ割當テスルト云フヤウナコトガアルノデゴザイマスカ

○周東政府委員 御話ノ通りデゴザイマシテ、市場員ニ付キマシテサウ云フ風ナ必要ガ起リマスレバ、出荷數量ノ制限ヲシタリ或ハ出荷ヲ御願スルト云フヤウナコトガ、此ノ規定デ起リ得ルト思ヒマス

○小山田委員 サウシタ場合ニ於ケル割當數量ノ標準如何ト云フコトハ、極メテ重大ナ問題ニナツテ來ルノデアリマスガ、ソレハ過去何年間ノ取引數量ヲ標準ニスルト云フヤウナ一ツノ基準ヲ設ケルヤウナコトニナルガラウト思ヒマスガ、何カソレニ對スル政府ノ基準ハゴザイマセウカ

○周東政府委員 御尤ナ仰セデゴザイマス、是ナドハマダ確定シテ居リマセヌガ、サウ

云フ風ナ場合ガ若シアリト致シマスル場合ニ於キマシテハ、先ヅ東京市ナラ東京市ニ入リマスル米ノ數量、而シテ其ノ數量ガ如何ナル方面カラ主ニ入ツテ居ルカト云フヤウナ事柄、而シテサウ云フモノガ先ヅ決マリ、而シテソレヲ取扱ツテ居ル者ニ付キマシテ、御話ノヤウナ點ガ或ル一ツノ要素トシテ考ヘラレテ、此ノ出荷ノ命令ヲ發スルト云フコトニナルカト考ヘマス、是ハ確定シテ居ル譯デハアリマセヌ、一應ノ考ヘ方ヲ申上ゲテ置キマス

○小山田委員 次ハ取引所ノ善後措置ノ問題デゴザイマスガ、取引所ノ買取價額ハ時價、建設價額及ビ利用價值ヲ參酌シテ決定スルト云フコトニナツテ居リマスルガ、利用價值ト云フヤウナコトハ一體ドウ云フコトデアリマスカ、私マダハツキリ此ノ點ヲ吞込メマセヌノデ、更ニ御同致スノデアリマスガ、結果ニ於キマシテ政府ガ廢業手當ヲ支給スルト云フコトノ代リニ、會社ガ廢業手當ヲ支給スルト云フコトニナル、ソレハ詰リ利用價值ト云フ一ツノ文字ニ依ツテ、斯ウ云フ同ジ内容ヲ備ヘタ結果ヲ見ルノデハナイカト云フコトヲ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ對シテ利用價值云云ノ問題ニ對シテ、ハツキリシタ御答辯ヲ

得タイト思ヒマス

○周東政府委員 此ノ點ハハツキリ申上ゲテ置キマスガ、何處マデモ營業權トカ廢業手當ト云フモノニ代ハル意味ニ於テ、利用價值ヲ認メル、斯ウ云フ意味デハゴザイマセヌカラ、此ノ點ハ御承知ヲ願ツテ置キマス、然ラバ利用價值トハドウ云フ風ニ定メルカト云フ問題デアリマスガ、是ハ要スルニ新シイ會社ガ市場ヲ設ケマス場合ニ於キマシテ、其ノ設備ナリ其ノ土地ナリヲ將來市場トシテ利用致シマスル上カラ見マシテノ價值ヲ考ヘテ、ソレヲ考慮ニ入レテ價額ヲ決定スル、斯ウ云フコトデゴザイマス、相當價額サレテ居ルカラ建設價額カラ見ルト、是ガ相當ニ低クナツテ居ルガラウガ、サウ云フ風ナモノダケニモ依ラナイ、又其ノ當時ノ時價ト云フモノノミニモ依ラナイ、是等ノ各種ノ價額ヲ綜合致シマシテ、其處ニ一ツノ買取價額ヲ決メテ行キタイ、斯ウ云フ氣持デゴザイマス、併シ是等ハ總テ特別委員會ニ於テ決定セラレルモノデアリマスルノデ、其ノ場合ニ各方面ノ關係者ガ入リマシテ慎重ニ決定ヲ致シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○小山田委員 各取引所ノ株式ノ相場、詰リ株價ト云フコトニ對シテ、或ハ又取引所

ノ營業成績ト云フヤウナコトニ對シテ、ドウ云フ風ニ參酌サレルノデアリマス、其ノ點ヲ御伺致シマス

○周東政府委員 其ノ點ハ大體參酌セズニ行キタイト思ツテ居リマス

○小山田委員 各取引所ハ、現在茲ニ資料トシテ御提出ニナツテ居リマスモノヲ見マシテモ、營業成績ノ上ニ於キマシテ或ハ五分ノ配當、四分ノ配當、六分ノ配當ト云フヤウニ色々ナ營業狀態ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、サウ云フコトハ利用價值ト云フ方面ヲ參酌スルト云フコトニハ、全然關係ヲ持タナイト云フ御解釋ノヤウニ只今承ツタノデアリマスガ、是ハ利用價值ヲ參酌スルト云フコトニ付キマシテハ、最モ關係ノ深い點デアルヤウニ私ハ考ヘルノデアリマスガ、敢テサウ云フ點ヲ御考慮ニナラナイト云フコトハ、營業成績ノ良イ會社モ惡イ會社モ全部一律平等ニ認メナイト云フヤウナ建前ニ於テ、何處マデモ評價致スノデゴザイマスルカ、其處ヲハツキリシテ置キタイト思ヒマス

○周東政府委員 只今申上ガマシタヤウニ、其ノ市場ノ場所トカ、土地、建物ト云フモノヲ新シイ會社ガ將來使用シテ行キマス上ニ於キマシテノ價額ヲ考ヘテ、利用價

値ト申上ゲテ居ル譯デアリマス、過去ノ營業成績ト云フヤウナモノハ、其ノモノガ直チニ利用價值ヲ決メルモノデハナイノデアリマス

○小山田委員 私ハ他ニモマダ色々質問シタイト思フコトガアリマスガ、大體前ノ委員ノ方々カラ御質問ノアツタコトト牴觸スル點ガ多いノデアリマシテ、私ハ此ノ程度ニシテ止メテ置キタイト思フノデアリマス

○添田委員長 三宅君

○三宅委員 農林大臣ハ御出席ニナツテ居リマスガ、農林大臣ノ外ニ、モウ十分位經ツテカラ結構デゴザイマスカラ、大藏省ノ政府委員ノ方ヲ一ツ御呼び願ヒタイト思ヒマス——私モ本會議ニ於キマシテモ質問ヲ致シマシタシ、前ニ同僚ノ諸君ニ依ツテ始終質疑モサレテ居リマスノデ、出來ルダケ簡單ニ要點ダケ御伺シタイト考ヘルノデゴザイマス、第一ニ戰時食糧政策ト云フモノハ、増産政策ト配給政策ト消費節約政策トガ三位一體ノ立場ニ立ツモノダト私ハ考ヘルノデゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテ、政府ハ増産政策ハ兎ニ角御計畫ニナツテ、御熱心ニオヤリニナツテ居ル、ソレニ付キマシテ私ハ非常ニ危惧ヲ抱イテ居ルノデゴザイマスガ、兎モ角内容ハ別問題トシテ、増

産政策ニ付テハ一ツノ案ヲ立テテ居ラレル、配給統制政策ニ付テハ此ノ法律ヲ御提出ニナツテ居ラレル、然ルニ三位一體ノ見地ニ立チマスル消費節約ノ點ニ付テハ殆ド何等ノ御用意ヲ持ツテ居ラレナイト云フ點ニ付キマシテハ、吉植君カラモ本會議ニ於テモ御注意申上ゲタノデゴザイマスシ、私モ其ノ點ニ付テ御注意ヲ申上ゲタノデゴザイマスルガ、私ハドウシテモ各國ノ戰時ニ於ケル食糧政策ノ見地カラ見マシテ、是ハ如何ニ努力シテモ増産政策ト云フモノハ色々ノ障礙ニブツツカルコトハ當然デアリマスノデ、消費節約政策ヲ伴ハナイト云フコトハ、非常ナ片手落ナ政策ダト思フノデゴザイマスガ、此ノ點ニ付テ先ヅ第一ニ大臣ノ御所見ヲ承ツテ置キタイト思フノデゴザイマス

○櫻内國務大臣 増産配給消費ノ此ノ三方法ニ依ツテ行カケレバイカヌデハナイカト云フ御説ハ洵ニ御尤デアリマス、ソレデ政府ハ増産ニ努力シ、配給ニ對シテハ本法案ヲ出シテ居ルガ、消費ノ問題ニ對シマシテハ力ヲ入レテ居ナイデハナイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ生活必需品デゴザイマセスケレバ、消費ヲ節約致スコトニ對シテ全力ヲ盡シ得ルノデアリマスガ、御承知ノ通り米穀ハ生活上一日モ缺クコトノ出來ナイ品物デアリマシテ、此ノ消費ノ、所謂米ノ食ヒ方ヲ節約スルト云フコトハ、是ハ相當考慮致サナケレバナラヌコト思ヒマス、全般的ニ色々ナモノニ向ツテノ消費節約ハ、國民精神總動員運動等ニ於テモ之ヲ唱ヘテ居ルノデアリマスガ、若シ米ノ以外ニ麥デアルトカ小麥デアルトカ、サウ云フ生産物ガ茲ニ多數ノ剩餘ガアリマスナラバ、之ニ取換ヘルト云フ事柄ハ、是ハ爲シ得ルト思フノデアリマス、併シナガラ今日日本内地ノ米ノ收穫ハ他ノ品物ト異リマシテ、兎ニ角自給自足ガ出來得テ居ルノデアリマスカラ、無駄ニ食ヒ物ヲ食ツテハイカヌト云フコトハ言ヒ得ルカモ知レマセスケレドモ、食ヒ物ヲ節約シテ少クスルト云フ程ノ、今日サウ云フコトヲ國民運動ニ訴ヘルト云フマデニハ至ツテ居ナイト思フノデアリマス、唯米穀ヲ無駄ニシナイヤウニ、又米穀ノ流レガ他ノ方面ニ出テ行ツテ國內ニ足ラヌヤウニシテハイカヌト云フ事柄ハ、注意シナクテハナラヌト思ヒマスケレドモ、今食量ヲ減ラス、三杯ノ飯ヲ二杯ニシロト云フ程ノ切迫シタル事情ニハ兎ニ角迫ツテ居ナイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○三宅委員 消費節約ノ問題ガ國民ノ體位デアルトカ、或ハ元氣ニ影響ヲ及ボスヤウ

ナ方法ニ於テオヤリニナルコトニ付テハ、勿論慎重ナ御注意ヲサレナケレバナリマセヌケレドモ、今年ノ米ノ收穫ハ統計ニ依リマズ、配給統制政策ヲ法律トシテ出サナケレバナラナイト云フ事情ガ來テ居リマスル根本ハ、何ト云ヒマシテモ消費ノ増加デゴザイマス、ソレカラ生産減ノ危惧デアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテ、ドウシテモ私共ハ消費節約ノ問題ニ付テ、或ハ玄米食ヲサセルトカ七分搗米ヲ食ハセルトカ云フヤウナ、榮養ダトカ、元氣ニ何等ノ影響ナクシテ、ソレデヤリ得ル方法ニ於テ考ヘラレル必要ガアルノデアリマシテ、之ヲ放置サレテ、三本ノ足ノ中二本ダケオヤリニナルト云フ行キ方デスト、一年位經テマシタ後ニ失敗シタト云フ、非常ナ危險ナ狀態ヲ來スコトガアリハシナイカト、私共ハ惧レテ居ルノデゴザイマシテ、消費節約ノ問題ハ何モ法律デ強行サレル必要ノナイ問題デアリマスカラ、一ツ其ノ點ノ御注意ヲ喚起シテ置キタイト思フノデアリマス、ソレデ私共ガ心配致シマス點ハ、政府ガ消費節約ヲ考慮シテ居ラレナイノハ、増産政策ノ結果ニ付テ樂觀シ過ギテ居ルノデハナイカト云フコトガ第一デゴザイマス、第二ハ需給推算ヲ甘ク

見過ギテハ居ナイカト云フコトデゴザイマス、ソコデ需給推算ノ問題ニ付テ御伺シタインデゴザイマスガ、政府ノ需給推算ノ推定ト實績ヲ調ベテ見マスルト、此ノ數年來毎年度相當ナ喰ヒ違ヒヲ來シテ居ルノデアリマス、是ハ「エコノミスト」ガ調ベテ居ルノデアリマスガ、昭和九年ハ推定ト實績ニ於キマシテ二百萬石喰違ツテ居ルノデゴザイマス、即チ持越高ガ千八百萬石アルト考ヘテ居ツタノガ千六百萬石シカナイ、ソレカラ昭和十年ノ時ハ割合ニ少イノデスガ、ソレデモ持越高ニ於キマシテハ推定ヨリモ三十五萬六千石減ツテ居ルノデアリマス、昭和十一年ニナリマスト九百五十四萬石ノ持越高ヲ豫定シテ居ラレタニ拘ラズ、八百萬石シカナクテヤハリ百五十三萬石喰違ヒヲ來シテ居ルノデゴザイマス、昭和十二年ニナリマスト、事變ガ始ツタ年デアリマスガ、此ノ年ハ千二百九十萬石殘ル積リデ居ラレタノガ、七百萬石シカ殘ラヌ、即チ五百五十萬石ト云フ大キナ喰違ヒヲ來シテ居ル、更ニ昭和十三年ニ於キマシテ、ヤハリ千三百萬石殘ル豫定デ居リマシタノガ、八百四十九萬石シカ持越米ガ殘ラヌコトニナリマシテ、五百萬石ノ喰違ヒヲ來シテ居ルノデアリマス、五百萬石トカ五百五十萬石トカ云フ大キナ喰違ヒデ

ハ、是ハ推算デモ何デモナイ、全クノ出放題ヲヤツテ居ラレタト云フ結果ニナルノデアリマス、ソレデモ今年マデハマダ宜カッタノデアリマス、兎モ角持越米ガ丸ツ切り無クナツタ譯デモナイカラ宜カッタノデアリマスガ、昭和十四年度ノ持越米ニ付キマシテモ、九百二十二萬石ノ持越ヲ豫定シテ居ラレルノデアリマスガ、私ハ其ノ點ニ付テ、此ノ需給推算ト云フモノハ非常ナ危險性ガアルノデハナカラウカト云フコトヲ虞レルノデアリマス、ノミナラズ更ニ昭和十四年度ニ於ケル實際ノ米ノ收穫ガ政府ノ増産計畫ヲ裏切リマシテ、非常ナ減收デモ來シタト云フコトニナリマシタナラバ、是ハ到底抑ヘ切レナイ所ノ狀態ニナルノデゴザイマスカラ、本年度ノ繰越見込高ガ九百一十二萬石ト云フノハ、私ハ其ノ點カラ言ツテ非常ニ樂觀ニ過ギルト思フノデアリマス、昨年度ノ如ク五百萬石違ツタトスレバ、本年ノ持越高ハ四百萬石シカ殘ツテ居リマセヌ、政府ノ手持デ五百萬石端境期ニ持ツテ居ラナケレバナラヌノニ、政府ト民間ヲ合セマシテ四百萬石シカ殘ラナイト云フヤウナ、去年ノ見込ト實績デ行クト五百萬石違ツテ居リマスカラ、假ニサウ云フ事情ニナツタト致シマスレバ、是ハ非常ナ問題ナノ

デアリマス、此ノ點カラ昭和十四年度ニ付テモ相當警戒シナケレバナラナイト思フ、ソレデ昭和十四年度ノ見込ニ付テモ、私共ガ危惧ヲ懷イテ居リマスノハ、朝鮮カラ持ツテ來ラレマス豫定額ガ、少シ多過ぎハシナイカト云フ點デゴザイマス、ソレダケ持ツテ來レバ結構デスケレドモ、向フニ於ケル人口増加モアリ、消費増モアルノデアリマスシ、滿洲ノ方ヘモ出テ居ルノデゴザイマスカラ持ツテ來レナイノデハナイカ、ソレ是レ内地ニ於ケル消費増ト朝鮮カラ持ツテ來ル額ガ減ルト云フヤウナコトヲ計算ニ入レマスト、九百二十二萬石ト云フ其ノ繰越見込額ト云フモノハ、非常ニ過大ニ失スルノデハナイカ、一年經ツト直グソレガ出テ來ルノデアリマスカラ、政府ノ見方ガ良カツタカ、吾々ガ心配スルノガ良カツタカト云フコトハ、一年經テバソレガ出テ來ルノデアリマス、去年ノ如ク、一昨年ノ如ク、五百萬石ツツ違フト云フコトガ事實ニナリマシタ時ニハ、是ハトシデモナイコトニナルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ需給見込推算ノ基礎ヲ、モウ少シ私共ハ明白ニシテ戴キタイト共ニ、假ニ相當ナ數字ガ出テ居リマシテモ、今マデノ實例ニ於テ多キハ五百萬石、五百五十萬石ツツ喰違ツ

テ來テ居ル、而モ其ノ喰違ヒハ、減ツテ喰

違ツタト云フコトハアリマスケレドモ、殖

エテ喰違ツタト云フコトハ一遍モナイノデ

アリマス、ダカラ九百万石ト云フ繰越米ノ

豫定ガ假ニ五百万石違ツタラ、是ハ大問題

デアリマシテ、米騒動ノ起ル危險性ガアル

ノデアリマス、此ノ點ニ付テノモウ少シ明

確ナ見透シヲ考ヘテ戴キタイト共ニ、大臣モ

報告ダケヲ取ツテ居ラズニ、昨年ト一昨

年ガ五百万石、五百五十万石違ツテ居

ルノデスカラ、是ハ繰越高ノ半分以上ガ違

ツテ居ルノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テ

ハ今年ノ需給推測ニ付キマシテモ、十分ニ

慎重ヲ期セラレナケレバイカスト思フノデ

アリマス、私共ハサウ云フ意味デ何等カ消

費節約ヲヤツテ行カナケレバナラヌノデア

ナイカ、斯ウ云フ感ジガスルノデアリマス、

増産計畫ニ付テハ後ニ御聽致シマスガ、此

ノ需給ノ見込ニ付テ御答辯ヲ願ヒタイト思

ヒマス

○櫻内國務大臣 所謂消費節約トシテ七分

搗米ヲ用ヒル、或ハ半搗米ヲ用ヒル、斯ウ

云フ事柄ニ付キマシテハ相當考慮モ致シテ

居ルノデアリマスガ、只今ノ所ノ需給ノ關

係ニ付キマシテハ、數字ニ互リマスカラ、

私カラ申上ゲルヨリモ、政府委員ノ方カラ

申上ゲタ方ガイカト思ヒマス

○周東政府委員 私カラ需給推算ノ問題ニ

付キマシテ御話ヲ申上ゲタイト思ヒマス、

其ノ前ニ今ノ三宅サンノ御話ノ數字ハ、私

共少シ違ツテ居リハセヌカト思フノデアリ

マス、是ハ後デ又能ク御話申上ゲマス、殊

ニソレハ從來内地ニ於ケル需給推算ハ一般

ニ發表シテ居リマセヌ、内外地ヲ通ズル需

給推算ト致シマシテ、其ノ持越ヲ示シテ居

リマス、併シ今度ハ内地ダケノ持越ト比べ

マスト少シソコニ差ガ起ツテ來ルト云フヤ

ウナ問題モアリマスシ、モウ一ツハ消費ノ

問題ニ付テ成程十三年度ニ於キマシテハ差

ハゴザイマシタ、此ノ點ニ付テ簡單ニ申上

ゲマス、私共ノ方デハ此ノ需給推算ヲ立テ

マス場合ニ於キマシテ、生産ニ付キマシテ

ハ餘程堅實ナ方法ヲ執リマシテ、大體過去

十八年間ノ生産高ノ直線趨勢値ニ依ル數字、

ソレカラ生産ト消費トノ相關關係カラ起ル

一定ノ歩合ガゴザイマス、サウ云フモノニ

依リマシテ將來ヲ推算シタ生産高ト云フヤ

ウナモノカラ、何ト申シマスカ自然的傾向

ニ於テノ將來ノ收穫高ト云フモノヲ出シテ

居ルノデアリマス、同様ニ朝鮮ニ付キマシ

テハ同ジ方法デゴザイマスガ、唯取り方ノ

年限ニ於キマシテハ多少年度ガ短クナツテ

居リマスガ、同様ナ意味合ニ於キマシテ將

來ノ趨勢ヲ出シテ居ル譯デアリマス、之ニ

對シマシテ消費ニ付キマシテモ同様ニ過去

ノ十八箇年ノ趨勢ニ基キマシテ、此ノ生産

ト消費トノ相關關係ニ於テノ見込ト、又ハ

消費ダケノ直線趨勢値ニ依ル趨勢トカラ

眺メマシタ一ツノ將來ノ數字ヲ出シ、ソレ

ト見合ヒマシテ生産ト消費トノ需給ノ

「バランス」ヲ立テル譯デアリマス、然ルニ

十三年度ニ於キマシテハ此ノ報告ニ依ツテ

出シマシタ消費ガ、實際トノ間ニ於テ内地

ニ於キマシテハ約二百數十万石、朝鮮ニ於

キマシテハ實際ト其ノ推算トノ間ニ約百万

石程ノ差ガ出マシタ、ソコデ此ノ違ヒハ事

變ニ因ル特殊ナ事情ニ依ル増加デアアル、斯

ウ云フ風ニ考ヘマシタノデ、十四年度ノ推

算ヲ出シマス場合ニ於キマシテハ、先程申

上ゲマシタヤウナ過去ノ推算ヲ基礎ニシタ

十四年度ノ消費額ニ加ヘルニ、事變ニ因ツ

テ増加シタデアラウト思ハレル十三年度ノ

實績ト推算トノ差額ヲ加ヘマシテ、即チ内

地ニ於キマシテハ二百万石、朝鮮ニ於キマ

シテハ百万石ヲ加ヘタ數字ヲ消費ニ當テマ

シテ、供給ノ方ト需要ノ方トノ「バランス」

ヲ立テタ譯デアリマス、其ノ數字ガ此ノ間

申上ゲマシタヤウニ内外地ヲ通ジテノ供給

高ト需要高トノ見比べニナリマシテ、其ノ

差即チ九百二十二万石ガ十四年度ノ持越、

斯ウ云フ風ニ見タ譯デアリマシテ、此ノ度

ノ推算ニ於キマシテハ可ナリ堅實ニ見テ居

ル積リデゴザイマス、併シナガラ勿論斯ウ

云フヤウナ時勢デゴザイマスカラ、一應見

込ミマシタ以前ノ年ノ消費高ノ増ノ見込ト

云フモノガ、更ニ今後殖エル場合ガナイト

ハ限リマセヌガ、併シナガラ此ノ點ニ付キ

マシテハ從來ノ見込ノ立テ方ト違ヒマシテ、

餘程堅實ニ見テ居ルヤウナ次第デゴザイマ

スノデ、此ノ度ハサウエライ違ヒハ生ジナ

イノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○三宅委員 サウ致シマス、是ハモウ一

遍念ヲ押シテ置キマスガ、私ガ今引用致シ

マシタ喰違ヒハ三月十一日號ノ「エコノミ

スト」カラ引張ツテ居ルノデアリマスガ、

ソレハ間違ツテ居ルノデスネ

○周東政府委員 其ノ點私共ノ方デモウ一

度調べマシテ、御話ヲ申上ゲタイト思ヒマ

ス

○三宅委員 ソレニ依リマス、昭和十三年

度ニ於テノ間違ヒハ二百何十万石デスカ、

朝鮮デ百万石、内地デ二百万石、約三百万

石ノ喰違ヒガアルト言ハレテ居リマスガ、

此ノ數字ニ依レバ五百万石違ツテ居ル、昭

和十二年ハ五百五十万石違ツテ居ルノデア  
リマスガ、ソレデハ昭和十二年ハ内地ニ於  
テ幾ラ喰違ヒガアリ、朝鮮ニ於テ幾ラ喰違  
ヒガアツタカ、其ノ點ヲ一ツ御話願ヒタイ  
ト思ヒマス

○周東政府委員 十二年ノ方ハ只今此處ニ  
數字ヲ持チマセヌノデ、後程又御答致シマ  
ス

○三宅委員 其ノ點ハヤハリ問題ガ非常ニ  
重大デアリマスノデ、假ニ五百万石違ハズ  
ニ三百万石違ツタトシテモ、非常ニ重大デ  
アリマスカラ、只今ノ件ハ一ツ明日ニデモ  
的確ナ材料ヲ以テ、御示シテ願ヒタイと思  
ヒマス、ソレデハ昭和十四年度ニ付テハ、  
ヤハリ朝鮮内地共ニ相當ナ消費増ヲ見込ミ  
マシテ、今申サレマスヤウナ計算ヲサレテ  
居ルト云フ譯デアリマスガ、軍需ノ米ハ除  
キマシテ、民需デ使ヒマスルモノニ付テハ、  
一人當リ消費額ヲ幾ラト換算サレマシテ、  
御計算ニナツテ居ルカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ  
○周東政府委員 此ノ推算ノ見込ヲ立テマ  
シタ時ノヤリ方ハ、一人當リノ消費額ヲ人  
口ニ掛ケテ行キ方デハナイノデアリマ  
ス、其ノ點ハ御諒承願ツテ置キタイ、唯併  
シ別箇ノ見方ト致シマシテ、最近ニ於ケル  
關係ニ於キマシテハ一石餘デゴザイマス

○三宅委員 是モ「エコノミスト」ニ依ルノ  
デアリマスガ、内閣統計局ノ昭和十一年十  
月現在内地人口、ソレニ自然増加ヲ加ヘマ  
スト、昨年度ノ一人當リノ消費高ハ一石八  
升ニナツテ居ル、日露戰爭ノ時ハ御承知ノ  
通り明治三十八年ニ一石二斗一升九合ト云  
フ消費高ガ舉ツテ居リマス、是ハ軍ニ供給  
シマシタモノヲ入レマシタ勘定ガラウト想  
像致シマスガ、今ノハ軍ニ供給スルモノヲ  
除キマシテ一石餘ト云フ勘定デゴザイマス  
カ、其ノ點ハ如何デゴザイマスカ

○周東政府委員 是ハ全體ノモノヲ突込  
ンデ、サウ云フ關係ニナツテ居リマス

○三宅委員 全體ヲ突込ンデ一石餘ト云フ  
勘定デアリマス、ドウモ勘定ノ仕方ガ非  
常ニ少イノデヤナイカト心配スルノデアリ  
マス、兎ニ角日露戰爭當時ニ於ケル民度ト、  
日露戰爭當時ニ於ケル出兵致シマシタ兵隊  
ノ數トヲ勘定致シマシテ、三十八年ニ一石  
二斗一升九合ヲ食ツテ居リマスノヲ、現在  
一石餘ト云フ勘定デオヤリニナルト云フ計  
算ハ、計算ノ基礎ソレ自體ニ於テ一ツハ非  
常ナ危険性ガアルノデハナイカト思フノデ  
ゴザイマス、日露戰爭當時ハ麥飯ナドモ盛  
ニ食ヒマシタシ、粟、稗ナドモ食ツテ居ツ  
タ民度デアリマスガ、現在ハ其ノ民度ガ進

ミマシテ、麥飯ヲ食フ者モ色々ノ事情デ少  
クナツテ來タ、其ノ事情ノ下ニ——ソレヲ  
基礎ニサレタトハ申サレマセヌガ、サウ云  
フ計算ノ下ニ九百万石ノ繰越ガアルト云フ  
勘定ヲサレマシテ、九百万石アルカラ心配  
ハナイ、十五年度ノ需給推算ニ付テハ米ハ  
四百万石殖ヤスノダカラ心配ハナイト云フ  
「ベーパー・プラン」デ以テ御考ニナリマス  
ト、是ハハトンデモナイコトダと思フノデゴ  
ザイマス、ダカラ私共ガ消費節約ノ點ヲ考  
慮サレヌト危イト言フノハソレデゴザイマ  
シテ、是ハ議論デ、ドツチガ立ツテ居ルト  
カ居ナイトガ云フコトデハ濟マナイノデア  
リマシテ、見込違ヒヲ致シマシテハ配給ガ  
窮屈ニナツテ、米騒動ガ起ツタト云フヤウ  
ナコトニナリマスレバ、局ニ當ラレマシ  
タ大臣以下ノ責任ハ實ニ重大デアリマス  
シ、吾々モ其ノ責任ノ一半ヲ負ハナケレバ  
ナラスノデ聽クノデゴザイマスガ、其ノ需  
給推算ニ付テ、ドウモ少シ樂觀シ過ギテ居  
ラレヤウニ考ヘルノデゴザイマスガ、モ  
ウ一度御所見ヲ伺ツテ置キマス

○周東政府委員 此ノ點ハ先程モ申上ゲマ  
シタヤウニ、農林省ニ於テ立テテ居リマス  
ル需給推算ハ、寧ロ一人々々ノ消費高ト云  
フモノモ織込マレテ居ル一ツノ過去ノ實

績、即チ過去ノ十七八箇年間ノ長イ間ノ年  
年ノ消費ノ實績ヲ捉ヘマシテ、消費ト生産  
トノ相關關係カラ生ズル一ツノ率ガアリマ  
ス、其ノ率ヲ以テ將來ニ向ツテ推算ヲ加ヘ  
ルノデアリマス、此ノ方ガ寧ロ正確デハナ  
イカト思フノデアリマス、即チ人口ガ年々  
百万人増加スルトカ、或ハ經濟事情ノ變化  
トカ、景氣ノ好シ惡シトカ云フヤウナ各種  
ノ事柄ガ織込マレテ居ツテ、過去ノ年々ノ  
消費ノ趨勢ト云フモノガ現ハレテ居ル譯デア  
リマス、サウ云フモノガ織込マレテ、總體  
トシテ消費ガドウ云フ趨勢ニ動イテ行クカ  
ト云フヤウナ見方ニ根據ヲ置キマシテ、將  
來ヲ推算致シテ居リマス、左様ニ御承知ヲ  
願ヒマス、ソレカラ最近ニ於キマスル過去  
五箇年間一人當リノ消費高ハ、斯ウ云フ風  
ナ狀況デゴザイマス、即チ十四年ハ一石九  
升、十三年ガ一石一斗一升、十二年ハ一石  
一斗、十一年ハ一石四斗ト云フヤウナ狀況  
デアリマス、之ヲ平均致シマス、約一石  
九斗ト云フヤウナ狀況デ一人當リノ消費ハ  
出テ居ル譯デアリマス、是等ノ事柄ハ只今  
申上ゲマシタヤウニ總テ消費ノ趨勢ノ中ニ  
織込マレテ居ルコトト考ヘテ居リマス

○三宅委員 需給推算ニ付キマシテハ、水  
掛論ニナリマスシ、御苦心ノ在ル所モ段々

拜聽致シマシタノデ、此ノ程度デ議論ヲ止メタイト思フノデアリマスガ、要スルニ私共ハ需給推算ニ付テハ非常ニ不安ヲ感ジテ居ル、是ハ取引市場ナント云フモノガ一番サウ云フ點ニ付テ敏感デアリマシテ、現ニ是ダケノ政府持越米ガ豫定サレテ居ルニモ拘ラズ、最高價格ヲ突破シツツアルト云フ事實ガ之ヲ證據立テテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テハ相當慎重ニ御考ニナツタ上デ、對策ヲ立テラレナイトイカスト思ヒマスルノデ、其ノ點又消費節約ノコトヲ申上ガマスガ、増産政策ト關聯致シテ、消費節約ニ付テモ御考ヲ願ヒタイ、同時ニサウ云フ需給ノ狀態ニ於テ本年萬一、吉植君モ指摘サレマシタ通り、凶作ノ來マスル條件ガ色々具ツテ居ルノデゴザイマスルノデ、本年豫定サレマシタ四百萬石ハ固ヨリ、平年作モ獲レナカッタト云フヤウナ狀態ニナリマシタ時ニ、此ノ法律デ以テ價格暴騰ガ抑ヘ得ルカドウカ、此ノ法律ヲ以テ飯米ノ供給ガ確實ニ出來ルカドウカ、スウ云フ點ヲ——今度ハ此ノ法律ニ於テデアリマスガ、非常ナ不安ヲ感ズルノデアリマス、要スルニ今日日本ニ於ケル價格操作ニ致シマシテモ、或ハ飯米ノ需給ノ操作ニ致シマシテモ、米穀統制法、米穀自治管理法其ノ他ノ一連

ノ米穀統制法規ヲ以テマシテ、大體需給サヘ旨ク行ツテ居レバ、供給ガ確保サレテ居レバ、旨ク行クヤウニ出來テ居ルノデアリマス、申スマデモナク高クナリマスレバ政府ノ持米ヲ賣ニ出動致シマシテ下ゲル、最低價格ヨリ下レバ買ニ出動シテ上ゲル、斯ウ云フ譯デアリマスルカラ、持越高ニ付テ心配サヘナケレバ、特ニ此ノ法律ヲ御作リニナラナクテモ、米ノ需給ニ付テノ調節ハ出來ルノデアリマス、特ニ此ノ法律ヲ作ル理由如何ト云フコトニナリマスレバ、何ト言ツテモモット窮屈ニナツタ時ニドウスルカト云フ問題ダラウト考ヘルノデゴザイマス、モット窮屈ニナツタ時ニ此ノ法律ヲ以テ一體何處マデ米價ヲ抑ヘ、價格ノ調整ヲヤリ得ルカ、其ノ限度ニ付テ一ツ私ハ御伺シタイト思フノデアリマス、本法律ニ依ツテ、米價暴騰ヲ阻止シ得ル限度如何ト云フコトニ付キマシテ、一ツ御見込ヲ承リタイト思フノデゴザイマス

○周東政府委員 此ノ法律ニ於キマシテ、先ヅ國策會社ノ市場ガ出來、其ノ市場ニ於キマシテ最高最低ノ價格ノ範圍内ニ於テ定メラレル價格ニ依ツテ取引ヲセシメルト云フノガ、第一段ノ行キ方デアリマスガ、極端ニ米穀ノ需給ガ窮屈ニナリマシテ、事實

上數量ガ非常ニ不足シテ參ル、隨テ是等ノ定メラレタ價格ニ於テハ事實上中々暴騰ヲ抑ヘニクナルト云フヤウナ場合ニ於テ、如何ナル處置ヲ執ルカト云フ御質問ハ解シマシテ御答致シマスガ、斯様ナ場合ニ於キマシテハ、恐ラクハ第四條等ノ發動ニ依リマシテ、米ノ流れニ付キマシテ必要ナ仕向ケ地等ノ制限ヲ致シ、又其ノ場合ニ於ケル最モ適當ト認メラレル價格ノ公定ト云フコトガ、更ニ行ハレマシテ、ソレ等ノ數量ノ配給統制ト價格ノ統制ニ依リマシテ、米穀ノ對策ヲ講ジテ行クト云フコトニナラウカト考ヘテ居リマス

○三宅委員 今申サレマシタ通り、サウ云フ際ニ於テハ第四條ノ統制命令ガ出テ來ル、ソレカラ第十九條ノ統制命令ガ出テ來ル、ソレカラ第三十三條ノ統制命令ガ出テ來ル、此ノ三ツノ統制命令ニ依ツテオヤリニナルノデアリマスケレドモ統制命令ト云フモノヲ出シマシタ所ガ、本當ニ不足ヲ致シマシタ時ニ、價格ノ暴騰ヲ——闇相場ヲ抑ヘルト云フコトハ此ノ儘ノ機構デハ私ハ無理ダト思フノデアリマス、ソコデ私ハ御伺スルノデアリマスガ、此ノ儘ノ機構デヤレルト云ハレルナラバ、モット一ツ細カク御伺ヲシマスシ、ソコマデノ狀態ニナツタノデ

ハモウ一ツ別ナ法律ガ要ルノダ、米穀統制法ダケデハ足ラスノデ、過剩米ノ處分ノ爲米穀自治管理法ガ出來タヤウニ、此ノ法律モ或ル限度マデハ配給統制ニ依ツテ暴騰ヲ抑ヘルケレドモ、ソコマデ來タラバ、モウ一ツ別ノ應急法ガ要ルノダ、斯ウ云フ點ヲ御話デアルナラバ、私ハソレデ了承致シマス、サウデナイトスレバ、モウ少シ詳シク承リタイト考ヘマス

○周東政府委員 御話ノヤウナ場合ニ於キマシテハ、色々ナ形デ現ハレマスノデ、一概ニ申上ゲラレナイト思ヒマスガ、是ハ勿論此ノ法律ニ關スル範圍内ニ於キマシテ出來ルダケノコトハヤツテ行キタイト思ヒマスガ、是ト並行致シマシテ或ハサウ云フ風ナ場合ニ於キマシテ、更ニ總動員法等ノ助ケヲ借り、又ハ別ナ緊急ナ法令ヲ出ス必要ガ起ツテ來ナイトハ斷言出來ナイト思ヒマス

○三宅委員 了承致シマシタ、更ニソレ等ノ法律ノ助ケヲ借りテ初メテ、本當ニ切符制度等ヤラナケレバナラヌ時ニ於テモ、萬全ヲ期スルノダ、此ノ法律ニソレマデノコトヲ要求シテ居ラスノダ、斯ウ云フ御説明ヲ拜承致シマスレバ、此ノ法律ガ非常ニ微溫的デアリマス點ニ付テモ尤ダト了承ガ

出來ルノデアリマシテ、サウ云フ御答辯ガアリマスレバ、私ハ氣付キマシタ缺陷ニ付テハソレ以上御問ヒシナイデ置キタイト思フノデアリマス、唯此ノ際私ハ非常ニ不審ニ堪ヘナイ點ハ、何故此ノ法律ノミヲ御出シニナリマシテ、ソレノ前提デアリマシタ所ノ米穀統制法及ビ米穀自治管理法、其ノ他一聯ノ之ヲ出スニ至リマス間ノ米穀統制諸法ノ改正ヲ、同時ニオヤリニナラナカツタカト云フコトニ付テ、非常ニ聯關性ニ缺如シテ居ル點ニ付テ残念ニ感ズルノデアリマス、平沼内閣ガ出來マシタノガ最近デアリマスカラ、ソレハ櫻内農林大臣ノ代ニナツテ議會ハ切迫シテ居リマスカラ、ソコデ細カニコトハ考ヘラレナカツタト思フノデアリマスガ、其ノ前ニ有馬案ガアリ、其ノ前ニ山崎案ガアル、段々形ハ變ツテ居リマスガ、ソレ等ノ發展トシテ來テ居ルノデアリマスカラ、當然此ノ法律ガ出ルト致シマスレバ、此ノ法律ニ關聯ヲ致シマシテ、前ノ米穀統制法ヤ自治管理法ノ如キモノノ改正ガ伴ツテ來ナケレバナラナイト思フノデアリマス、私ハ特ニ米穀自治管理法ニ付テ申上ゲマスカラバ、米穀管理自治法ト云フ法律ハ第一條ニ於テ「過剩米穀ヲ統制スル爲」ト云フコトガ書イテアルノデアリマス、即

チ過剩米ガ米ノ値段ヲ引下ゲテ敵ハナイ、無制限ニ政府ガ買上ゲタノデハ國庫ノ負擔ガ多クテ敵ハナイ、ソコデ内外地ニ互ツテ自治管理法ヲサセヨウト云フノデ、過剩米穀ノ處理ノ爲ニ自治管理法ト云フモノガ出テ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、今回ノ問題ハ過剩米穀ノ問題デハナクシテ、米ガ足ラナクテ價格ノ暴騰シタ場合ニドウヤツテ、防グカト云フコトニナルノデアリマシテ、偶、過剩米穀ヲ統制スル爲ニ出來マシタ自治管理法ト云フモノヲ、其ノ儘持ツテ來テ、一ツ今度ハ米ノ足ラナイ場合ニ於テモ、配給ニ付テノ自治管理法トサセルト云フ風ニ、第一條ヲ御改正ニナツテ、ソレニ必要ナ改正ヲ伴ハシメマシテ、愈、ト云フ場合ニハソレガ出ルノダ、併シナガラソコマデ行カヌ時ニハ、此ノ配給統制法デアルノダト云フ御準備ヲナサイマスコトガ、私ハ法律ノ一貫性ノ上カラ見マシテ、及ビ發展性ノ上カラ行キマシテ、當然ノ處置デアラウト考ヘルノデゴザイマスガ、此ノ點ニ付テ政府ノ内部ニ於キマシテ、何等カ議論ヲナサツタコトガアリ、御研究ナサツタコトガアツタノカ、或ハサウ云フ點ハ到頭氣付カズニ觸レズニシマツタノダ、斯ウ云フノデアリマスカ、其ノ點ニ付テ一ツ御伺シタイ

ト思フノデアリマス  
○周東政府委員 御話ノ點デアリマスガ、固ヨリサウ云フ點ニ付テハ考究ヲ致シタノデアリマス、但シ其ノ場合ニ於テ、先程御話モアリマシタガ、固ヨリ本法ノ第四條等ノ配給統制命令ト云フモノノ大要ガ、色々アル譯デアリマス、御話ノヤウナ自治管理法ノ第一條ノヤウナ、統制組合ヲ通ジテ配給ヲ行ハシムルコトヲ考ヘナカツタカト云フ御質問ダト思ヒマスガ、是ハ極端ナ場合ニ於キマシテ必要ガアリマスレバ、第四條等ノ發動ニ依リマシテ——米ノ大體ノ市場等ニ於テノ流レト云フモノハ現在分ツテ居リマスシ、各市場ニ於ケル消費米ノ數ト云フモノモ大體分ツテ居リマス、隨ヒマシテサウ云フ風ナ事柄等ヲ基礎ト致シマシテ、各地方ニ於ケル米ノ配給ニ携ツテ居ル者ニ對シマシテ、必要ナル配給ニ關スル命令ヲ出シテ行クト云フコトデ、御話ノヤウナ點ガ實行出來ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘマシテ第四條等ノ配給統制命令ニ關スル規定ヲ置イタ次第デアリマス、其ノ點ハ御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ先程、大體初メカラ少シ是デハ足ラヌノダガ、應急法ノ助けヲ俟ツテヤツテ行ク積リダ、斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜シイカト云フ御話ガアリ

マシタガ、此ノ點ハ誤解ノナイヤウニ申上ゲマスカ、私共ノ方デハ先程申シマシタヤウニ、本法ノ運用ニ依リマシテ相當突込シタ配給統制ノ實ヲ、極端ナル場合ニ於キマシテモ舉ゲ得ルト考ヘテ居ルノデアリマス、唯先程ドナタカノ御質問ガアリマシタヤウニ、個々ノ個人ノ所有米ノ徵發ト云フヤウナ程度マデ是デ行クカト云フ御話デアリマシタノデ、ソレニ對シマシテハ更ニ或ハ總動員法等ノ發動ト云フヤウナコトニ依リマシテ、サウ云フ極端ナル場合ニ於ケル關係ハ處理シ得ル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマスノデ御諒承願ツテ置キマス  
○三宅委員 サウ致シマス米穀統制法乃至米穀自治管理法等ノ本案トノ關聯ニ於テ私ハ相當ナ改正ヲシテ出ラレコトガ適當ダト考ヘテ居ツタノデアリマスガ、今ノ御答辯デハ第四條其ノ他ノ規定デ以テヤレルカラ觸レナカツタ、斯ウ云フ御話デアリマスアレドモ、私ハ此ノ次ノ議會ニ於キマシテハ、サウ云フ點モ考慮サレマシテ、米穀ノ生産ト配給ト消費ト一貫致シマシテ、本當ニ合理的ナ改正、平時戰時ヲ通ジテ如何ナル場合ニモヤリ得ル方途ニ付テ御考ヲ願ツテ置キタイト思フノデアリマス  
○添田委員長 三宅君、今本會議ニ於テ豫

算ノ決議ニ入ル一寸前ノヤウデスカラ暫時  
休憩シテ、本會議ノ豫算ノ決議ガ濟シダラ  
直グ又開會シテ引續キヤツテ戴キタイ、サ  
ウ云フコトニシタイト思ヒマス——ソレデ  
ハ休憩致シマス

午後四時十二分休憩

午後四時二十九分開議

○添田委員長 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開  
キマス

○三宅委員 私ノ理解スル所ニ依リマスレ  
バ、先程御質問致シマシヤウニ配給政策、  
消費政策、増産政策ト云フモノハ三位一體

デアルト考ヘルノデゴザイマス、其ノ點ニ  
付テ農林大臣ノ増産政策ニ付テ御所見ヲ承  
リタイト思フノデアリマスガ、農林省ノ考  
ヘラレテ居リマス増産計畫ニ付キマシテハ、  
非常ニ熱心ナル御意圖ニ拘ラズ、色々ノ點  
デ私ハ難カシイト思ツテ居ルノデアリマス、  
一番最初ニ御伺シタイ點ハ、増産政策ト價  
格政策ト云フモノヲ、如何ニ聯關サセルカ  
ト云フコトデアリマス、是ハ一ツ大臣カラ  
御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、  
昨年ノ最高米價ヲ有馬農林大臣ハ据置カレ  
タノデゴザイマス、今度全體ノ價格ニ  
付キマシテモ池田前藏相ガ會長ニナラ  
レマシテ、價格引下政策ヲヤツテ居ル

ノデアリマス、隨テ日本ノ農業政策ノ  
上ニ於キマシテモ低價格政策、價格引下政  
策ト云フコトヲヤラナケレバナナイ段  
階ニ入ツテ居ツテ、此ノ低價格政策ト増産  
政策ト如何ニ組合セルカト云フコトガ非  
常ナ問題デアリマシテ、茲ニ今回ノ増産計  
畫ノ特殊ナ、困難ナル事情ガアルト思フノ  
デアリマス、此ノ増産政策ト價格政策ト  
如何ニ結び付ケテ、ドウ云フ風ニシテ價格  
引下ト同時ニ、増産ヲ實現スルカト云フコ  
トニ付テノ當局ノ工夫ニ付テ、御答辯ヲ得  
タイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 御承知ノ通り物價ハ非常

ニ暴騰スル傾向ガアリマスガ、此ノ物價ヲ  
下ゲテ行クト云フ事柄ハ生活上必要ナコト  
デアリマスノデ、出來得ル限り物價ノ暴騰  
ヲ抑制スルコト云フ政策ヲ執ツテ居ルコトハ  
御承知ノ通りデアリマス、而シテ此ノ物價  
政策ト米ノ増産計畫トガ、ドウ云フ風ナ關  
係ヲ持ツカト云フ事柄ニ付テ、只今三宅君  
ノ御心配ニナル點ハ極メテ御尤ダト思ヒマ  
ス、若シ米價ガ非常ニ高ケレバ、農村ノ人  
ハ進ンデデモ米ヲ作ルダラウガ、米價ガ安  
ケレバ如何ニ増産計畫ヲシテモ、實際増産  
ハ出來ナイノデアラウ、斯ウ云フ風ナ御考  
ノヤウデアリマス、大體ニ於テ經濟上ノ原

則トシテサウナルベキ筈ダト思ヒマス、併  
シナガラ今日現在ノ總テノ物價政策カラ見  
マシテ、米ノ價格ガ若シ極端ニ暴騰ヲ致ス  
ガ如キコトガアリマシタラバ、ソレハ經  
濟界ニ容易ナラザル影響ヲ與ヘルノデアリ  
マシテ、米價ガ適正ナル所ニ据置カレルト  
云フ事柄ガ一番必要ナコトト思フノデアリ  
マス、今日ノ米價ガ、昨年ノ米穀統制委員  
會ニ於キマシテ最高價格ガ据置カレタ、即  
チ四圍ノ事情ガ非常ニ生産費ヲ増シ、物價  
モ騰貴シタノニ拘ラズ据置カレタト云フ事  
柄ハ、低物價ノ政策ヲ現ハシタモノデアッ  
テ、増産ガ出來ナイデハナイカ、斯ウ云フ  
御考デアラウト思フノデアリマス、米穀統  
制法ニ於ケル所ノ此ノ原則ハ、他ノ物價指  
數ガ總テ上リマシタ場合、是ハ勿論其ノ考  
慮ノ中ニ入ラレルノデアリマス、又生産  
費ノ騰貴即チ肥料其ノ他ガ騰貴致シマシタ  
場合ニ於キマシテモ、是亦其ノ米價ヲ決メ  
ル場合ニ於テ、一ツノ要素ヲ成スコトハ御  
承知ノ通りデアリマス、隨ヒマシテ種々ナ  
ル環境ガ米價ヲ騰貴セシメナケレバ、農村  
ガ生産シ能ハザルヤウナ狀況ニナリマシタ  
時ニ於テハ、自ラソコニ適正ナル新ナル價  
格モ起ツテ來ルト思ヒマス、併シナガラ今  
日現在ノ米價ガ果シテ農村ノ生産費ヲ償ハ

ナイカ、斯ウ云フコトニ付キマシテハ、現在  
ノ時價其ノモノガ絶對的ニ農家ノ生産費ヲ  
償ハナイトハ私共考ヘテ居リマセヌ、隨テ  
今後周圍ノ環境ニ非常ナル變化ノナイ限リ  
ハ、今直チニ之ヲ變改スルノ意思ハ持ツテ  
居ナイノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ物價  
ヲ離レテ、出來得ル限リノ増産ノ方法ヲ講  
ジナケレバナラヌト考ヘマシテ、苦心致シ  
テ居ルヤウナ譯デアリマシテ、其ノ増産ノ  
計畫ニ對シマシテハ度々申上ゲテ居リマス  
如ク、色々ナル施設ヲ致シテ居ルノデアリ  
マス、政府委員カラ度々ハ申上ゲテ居ル  
コトデアリマスカラ、私ハ之ヲ省略致シマ  
スケレドモ、之ト同時ニ農村ノ所謂農民精  
神ヲ發揮シテ、此ノ國難打開ノ爲ニ貢獻ス  
ルト云フ其ノ意氣ヲ更ニ發揚シテ戴イテ、  
其ノ増産ノ目的ヲ達シタイ、斯様ニ考ヘテ  
居ル譯デアリマス

○三宅委員 只今ノ農林大臣ノ御答辯  
ハ——御疲レニナツテ居ル所ヲ追究致シマス  
ノハ如何ニモ忍ビナイノデアリマスケレド  
モ、私ノ質問ヲ全ク取違ヘテ居ラレルノデ  
アリマシテ、其ノ點ヲ私ハ大臣ニ十分ニ吞  
込ンデ戴クカ、然ラザレバ事務官僚ニ於テ、  
氣魄ヲ以テ大臣ヲ督勵シテヤル意氣ガナイ  
限リニ於キマシテハ、駄目ダト思フノデア

リマス、何デアルカト申シマスルト、私ハ外ノ人ノ御質問ト違ヒマシテ米ハモツト下ガルベシト云フ意見デアリマス、日本ノ輸出政策、「インフレ」防止、色々ナ點カラ致シマシテ、モツト下ゲテ宜シイ、有馬農林大臣ノ執ラレマシタ態度ハ結構デアアル、斯ウ云フ建前ナノデアリマス、ソコデ問題ハ、引合ハナイヤウニシタノデハ駄目ダカラ、農業内外ニ互ル生産費ノ引下ヲ伴ツタ所ノ政策ヲヤラナケレバイカス、此ノ點ニ觸レズニ、單ニ技術ノ指導ダケノ増産計畫ヲヤラレマシタツテ、ソレハ行キハシナイ、今日ノ政治情勢ノ下ニ於キマシテ、例ヘバ私ハ本會議デモ質問致シマシタガ、農民ガ買ヒマス必需品ガ五百十七ニ暴騰致シテ居リマス時ニ、食糧農産物ハ百六十ニシカ上ツテ居ラナイ、然ラバ其ノ「シェーレ」ヲ塞グダケノ米ノ値段ヲ上ダタラドウカト云フト、五割七分米ノ値段ヲ上ダタナラバ、現在ノ最高價格ヲ五十圓ニシナケレバナラス、五十圓ニ米ノ値段ヲ上ダレバ、今ノヤウナ行キ方デハ、農民ハ引合ハナイノデアリマス、日本ノ米ノ價格ヲ五十圓ニ上ダマシタラ「インフレ」ガ滔々トシテ來ルコトハ明白デアアル、隨テ農民ノ買ヒマスモノハ五十七上ツテモ、農民ノ作ツ

タモノハ六デ止メラレテ居ル、此ノ傾向ハ益々シクナル、一方ニ於キマシテ「シェーレ」ヲ塞グマス政治の方策ハ考ヘナケレバナラナイケレドモ、今マデ農業内部ニ持ツテ居リマシタ不合理カラ來ル所ノ、農業生産費ガ高ク付クモノニ付テ、徹底的ノ切下政策ヲヤルト云フコトヲ御考ニナラナケレバ、低價格ト農民ガ引合フト云フ政策ハヤツテ行ケナイ、此ノ點ニ付テノ意氣込ヲ御持チニナリ、認識ヲ御持チニナラナイト、漫然ト物ガ上ツテ來レバ米モ其ノ中ニ上ル、今ナラ引合フ、ソレハ其ノ通りデアリマスガ、今マデノ米價ノ決メ方ト云フモノハ、資料トシテ戴キマシタ物ニモアリマス通り、物價指數ヨリハ米價ノ方ガ高クナツテ居ル、ソレデ高米價政策ニ依ツテ日本ノ農村ヲ保護シテ來タ、所ガ高米價政策ヲ執ラズニ低米價政策デ農村ガ立ツテ行ク方策ハドウデアルカ、斯ウ云フ所ニ今度ノ農業政策ノ難カシイ點ガアルノデアリマシテ、私ハ其ノ點ニ付テノ大臣ノ御見解ヲモウ一遍承リタイト思ヒマス

ケレバ到底其ノ目的ヲ達シ得ナイと思ツテ居リマス、即チ一部々々ノモノヲ低物價政策デ値段ヲ抑ヘテ見テモ、結局色々ナル凹凸ガ起ツテ、其ノ眞ノ目的ハ達シ得ラレナイノデハナイカ、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス、就中此ノ低物價政策ヲ何處マデモ低物價政策ト云フコトデアリマス云フコトニナリマスレバ、先ヅ一番大キナ問題ハ勞銀ノ問題ニモ觸レテ行カナケレバナラスト思ヒマス、併シナガラ今日ノ經濟事情ニ於テ澤山ノ問題ニ對シテ徹底的ニ統制ヲ致スコトガ善イカ惡イカト云フコトニ付キマシテハ、マダ多少ノ研究ノ餘地ガアリ得ルノデハナカラウカト思ツテ居リマス、若シ米價ノ如キガドウシテモ所謂生産ニ對スル所ノ費用ガ低下サレズシテ、次第々々ニ昂騰ヲ致スコト云フコトニナリマスレバ、是ハ生活必需品デアリマスガ故ニ、ドウシテモ生産ヲシナケレバナラスシ、其ノ場合ニ於テハヤハリ米價モ自然ニ上ツテ行クト云フコトモ、是モ免レナイコトデアリマス、今三宅君ノ言ハレル如ク此ノ米價ヲ低キニ置カウトスルナラバ、所謂生産ニ要スル所ノ總テノ資材、總テノ勞力ノ費用ガ低下サレルニアラザレバ、其ノ眞ノ目的ハ達セラレナイト思ヒマス、是等ノ點ニ付キマシテハ政

府トシテハ各方面ニ互ツテ、即チ低物價政策ニ依ツテ、其ノ方ニ向ツテ進行致シツツアリマスケレドモ、マダ不徹底ノ點ガナイトハ考ヘマセヌ、隨テ斯ウ云フ點ニ付キマシテハ十分研究致シマシテ、出來得ル限り生活ノ必需品ハ暴騰ヲ致サナイヤウニ努メタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○三宅委員 非常ニ御熱心ナ答辯ヲ戴イテ居リマスケレドモ、質問ト答辯ガ喰違ツテ居リマシテ、私ハ非常ニ不滿デアリマス、政務次官ガ來ラレマシタガ、率直ニ申上ゲマス、農林大臣ガ其ノ邊ノ農村問題ニ付テノ御認識ガ足ラナイ點ニ付テハ、農民ハ非常ニ心配シテ居ルノデアリマス、私共ハサウ云フ憎マレロヲ叩キタクハアリマセヌケレドモ、申上ゲマスルナラバ、今日ノ商工行政ト農林行政ト、ソレカラ大藏省ノ行政ニ付キマシテハ「エキスパート」ガ來ナケレバ、危篤ノ重病入ヲ扱フガ如キ考ヲ以テヤラナケレバ、是ハ間違ヒデアアル、ソコニ「エキスパート」デナイ者ガ入ツテ參リマシテ——大臣ノ如キハ新進ノ御方デアリマスカラ、二箇月カ三箇月經テバ吞込シマハレルと思フノデアリマスガ、其ノ間ノ手遅レガ重大ナ問題デアリマス、波靜カナル時デアリマスレバ櫻内氏ガ農相ノ椅子ニ坐ラレマシテ、半年

カ一年デ吞込シマハレマシテ、ソレカラ積極的ニ經綸ヲ揮ハレルト云フコトモ結構デアリマス、櫻内氏ガ商工大臣ニ坐ラレバ、ソレハ得意ノ所デアリマスカラ、直グ乗切ツテ行カレルト思フ、所ガ農林大臣ニ坐ラレタ、此ノ法案ガ遅レタノモ一ツハソレガ爲メデアル、吞込ムノニ時間ヲ取リマスカラ、吞込シテソレカラ持ツテ來ナケレバナラスト云フコトニナリマス、松村政務次官ガ附イテ居ラレマスカラ、此ノ方ハ農村問題ニ付テハ「エキスパート」デアリマスカラ、吾々ト流儀ガ合ツテ居ルカ合ツテ居ラヌカハ別問題ト致シマシテ、「エキスパート」デアリマスカラ私ハ信頼シマス、併シ一言私ガ農民ノ聲トシテ申上ゲテ置キタイ點ハ、サウ云フ譯デアリマスシ、而モ農林省ノ事務官僚ガ會テ新官僚ト言ハレタ時代デアリマスレバソレデ宜シイ、オトナシクナツテ居ラレル時機ニ於キマシテハソレデ宜シイガ、今日ハソレデハ停滯シテシマフ、春肥ノ配給割當ガ遅レタト云フコトハ本年ノ増産計畫ニハ重大ナ影響ヲ及ボスト思フノデアリマス、事變ノ關係モアリマシタケレドモ、サウデハナイノデス、農村出ノ人ガ大臣ニデモナツ居リマスレバ、一番大事ナコトハ何カト云フコトガ直グ分ルデアリ

マセウガ、ヤハリ素人ノ人ガヤラレタ結果遅レタノデハナイカ、サウ云フ點ヲ私ハ實ハ心配シテ居ルノデアリマス、サウ云フ意味デ私共ハ良イ政策ヲヤツテ戴キマスレバ、今日黨派の考ナドト云フモノハアリマセヌカラ、ソレハ御協力ヲ致シマスガ、「ピント」ガ外レテ居ツテハ是ハ問題ニナラナイノデアリマス、私ハ今日ハ配給政策ヨリモモット大切ナモノハ増産計畫ダと思フ、ヤハリ米ノ値ヲ上げズニ、及ビ外ノ農産物ノ値ヲ上げズニ之ヲヤルニハドウシタラ宜イカ、サウスルニハ一ツハ農業内部ニ於テ生産費ヲ切下ゲルコトデアル、モウ一ツハ農業外部ニ於ケル「シェーレ」ヲ切捨テルコトデアル、此ノ二ツノ農業ノ内外ニ互ル政策ヲ斷平トシテ行ツテ行カレナケレバ増産計畫ハ駄目ダと思フデアリマス、其ノ點ニ付テノ農林省ノ政策ガ非常ニ缺ケテ居リマスルコトヲ私共ハ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、以下其ノ點ニ付テ一ツ御答辯ヲ得タイと思フデアリマスガ、農林省デハ只今四百万石ノ米ノ増産ヲ致サレマスル態度ト致シマシテ、是ハ肥料其ノ他ノ生産資材ノ配給ト努力移動ノ調整等ノ施設ト相俟ツテ、技術的指導ニ依ツテ反當リ收量ノ増加ヲ圖ルト云フコトヲ目標ニシテ居ラレマ

ス、日本ノ農村ハ零細農デ構成サレテ居ルノデアリマシテ、一人々々ノ農民ガ迎ミ新シイ肥料ノ知識、新シイ品種ノ知識ヲ吸収スルコトハ出來マセヌカラ、技術的指導ト云フコトガ日本ノ農村ニ取ツテハ非常ニ重要デアルト云フコトヲ認ムルノデアリマスケレドモ、單ナル技術的指導ダケデ以テ此ノ惡條件ノ下ニ於キマシテ増産ヲヤラウト云フコトハ非常ニ無理ダと思フ、而モ其ノ技術的指導ニ付テハ——私ハ委員長ニ御願シテ置キマスガ、吉植君ガ企畫院ノ總裁ト陸海軍大臣ノ出席ヲ要求シテ居ラレルノデアリマスガ、私モ其ノ御出席ヲ俟ツテ一ツ其ノ點ニ付テ企畫院及ビ陸海軍、商工大臣ニ問ハナケレバナラスト思フデアリマス、技術的指導ノ中心ハ何デアルカト申シマス、稻ノ地域別耕種ノ改善、是ガ第一、第二ハ東北其ノ他ノ冷溫地帯ニ對シマシテ溫床苗代ヲ設備スルト云フコトガ第二、第三ハ病蟲害ノ防除ヲ獎勵スル、是ダケデ四百万石ヲ殖ヤサウト云フノハ實ニ結構デスガ、私共ハ非常ニ心配スル、而モ其ノ病蟲害ヲ豫防スルト言ヒマシテモ必要ナ「ボルドー」液ノ供給ガ確保サレテ居ルカドウカ、必要ナ「ボルドー」液其ノ他ノ原料藥品ガ確保サレテ居ルカドウカ、明日私ハ詳シク吉植君等

ト共ニ商工大臣其ノ他ニ聴キタイと思フノデアリマスガ、ソレモマダ手當ガ付イテ居ラス、螟蟲ノ卵ノ驅除ヲ致シマス爲ノ硫酸「ニコチン」ト云フモノガ殆ドナイ、病蟲害ノ防除ニ依ツテ増産シヨウト云フノニ、其ノ藥ガナイ、誘蛾燈ヲヤリマスニハ石油ガ必要デアリマスガ、石油聯合會ニ石油ノ販賣ヲ任セテ居リマスル結果、事變前ニ四圓ノモノガ八圓ニナツタ、内地ニハ缺乏シテ居ル、北支ニヤレバ儲カルカラト云フノデ、北支ニ輸出シテ居ル、肥料ニ付キマシテモ御承知ノ通り昨日ノ質問ニモ出テ居リマスル通り、肥料ヲ北支ニ持ツテ行ツテ、是ダケ内地ガ足ラナイ時ニ營利主義ノ本能カラ致シマシテ、北支ハ持ツテ行ツテ賣ラウト云フ、之ヲ農林省ガ憤慨シテ居ラレルト云フ御話デアリマシタガ、技術的指導ト云フ點ニ付キマシテモ、斯ウ云フ農具ノ外ニ資材ガ缺乏シテ居ルノデアリマス、其ノ缺乏シテ居ル物ニ付テノ確保ノ方法ガ、マダ講ゼラレテ居ラナイノデアリマス、此ノ點ヲ申上ゲテ、御伺シタイと思フデアリマス

○櫻内國務大臣 私ガ農林行政ニ素人デアツテ「ピント」ガ外レテ居ルト云フ御話デアリマスガ、三宅君トハ自ラ見方モ違ヒマスシ、行キ方モ違ヒマス、殊ニ御話ノ通りニ

私ハ専門的知識ヲ持ツテ居リマセス、併シナガラ現在ノ難局ニ處シテ、此ノ農業政策ヲ遂行スルニ付テハ、相當ノ覺悟ト熱心ヲ以テ立ツテ居ルノデアリマス、デアルカラ若シ責任ガ執レスト云フ場合モ於キマシテハ、私自分デソレハ考ヘマス、唯御話ノ色ナ點、所謂増産計畫ガ斯ウ云フコトデ果シテ出來ルカドウカ、又此ノ計畫ノ中ニ藥品其ノ他ガ確保サレテ居ルカドウカト云フ御意見ニ付テハ、事務當局ニ於テ相當各方面ニ手分ケヲシテ調査ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、之ニ對スル準備ハドウシテモ致サナケレバナラスノデ、今日全力ヲ舉ゲテ居ル譯デアリマス、私ト致シマシテハ此ノ問題ニ付キマシテ、ドウシテモ此ノ目的ヲ達スル爲ニ、是ダケノ仕事ハ致シタイト考ヘテ居ル譯デアリマス、勿論斯ウ云フ難局デアリマスガ故ニ、單ニ農林當局ダケガヤキモキ致シマシテモ、容易ニ其ノ目的ハ達シ得ナイノデアリマスカラ、農業上ニ於ケル知識ヲ持タル有力ナル各位ノ御協力ニ俟ツコト固ヨリデアリマス、又今御話ノ中ニ色々ナ意味モ含マレテ居ルト思ヒマシマス、農村自體ノ人々ガ、是ナラバ増産ヲヤリ得ルト云フ大凡ノ見透シノ附クダケノ事柄ヲシナケレバナラスト思ツテ居ルノデア

リマス、隨ヒマシテ私就任以來、此ノ増産計畫ニ付キマシテハ、實ハ夜ヲ日ニ繼イデ、是ノ研究ヲ致シテ參ツタノデアリマス、而モ尙ホソレダケデハ容易ニ安心ガ出來ナイノデアリマスノデ、從來例ガアリマセヌケレドモ、此ノ議會中ニ拘ラズ、全國ノ經濟部長ヲ招集シテ、一昨日、昨日ニ互ツテ、農林省ノ計畫ニ付テノ實行ガ出來ルカ否カ、又ドウシテモ此ノ線ニ沿ウテヤツテ貫ヒタイト云フコトヲ述ベテ、第一線ニ活動シテ居ル人々ノ意見ヲ徵シタ譯デアリマス、固ヨリ農務局ニ於キマシテモ、其ノ以前カラ實際第一線ニ在ツテ、活動シテ居ル人々ノ意見ヲ參酌致シ、此ノ立案ヲ致シタノデアリマスガ故ニ、私ハ若シ天候不順ト云フガ如キ事柄ガナイ限りハ、此ノタビ新ニ提案ヲ致サウト考ヘテ居リマス豫算ニ付テ、御協賛ヲ得ルコトガ出來マスレバ、所期ノ目的ヲ達シ得ルトス様ニ信ジテ居ルノデアリマス、三宅君ハ洵ニ農業方面ニハ蘊蓄ノ深い御方デアリマスカラ、特別ニ一ツ御盡力ヲ煩シタイト思ツテ居ルノデアリマス（笑聲）

ニナツテ居ルコトニ付テハ、拜承シテ感激シテ居ルノデアリマス、之ニ付テハ何ト言ツテモ非常ナ危篤ナ病人ヲ扱フガ如キ心ヲ以テヤラナケレバ、ヤレナイ情勢ニアルノデアリマスカラ、苦言モ申上ゲテ御勉強ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、今申上ゲマシタ通り、豫算ガ通レバ四百万石ノ増産ガ出來ルト云フ見込ハ結構デアリマス、併シ天候ト云フ條件ガ前ニ附イテ居ルノデアリマス、稻熱病ナドモ天候ノ關係デ生ズルノデアリマス、ソレヲ豫防スル方法ガ先ニ附イテ居レバ、或ル程度マデ天候ハ克服出來ルノデアリマス、然ルニ稻熱病ヲ豫防シ、螟蟲ヲ豫防スル「ボルドー」液ノ原料モナイ、硫酸「ニコチン」モ殆ドナイ、石油ハ高イ、斯ウ云フコトデハ天候ニ負ケルノデアリマス、天候ヲ段々克服シツツアルノガ現代ノ農業ノ本體デアリマシテ、技術的指導ノ中ニハ、天候克服ト云フコトガ入ツテ居ルノデアリマスカラ、ソレハ容易デナイノデゴザイマス、ソコデハ大臣ニ御同致シマスコトハ恐縮デアリマスノデ、寧ロ農務局長デモ御出席ニナツテ居レバ承リタイノデスカ、「ボルドー」液ナドアルノデゴザイマスカ、サウ云フ藥品ハアルノデゴザイマスカ、又アルノミナラスソレガ季節ニ間ニ

合フヤウニ一體供給ガ出來ルノデゴザイマスカ  
○櫻内國務大臣 ソレハ私ガ申上ゲルヨリハ、農務局長ガ答ヘタ方ガ適當ト思ヒマシテ、殊ニ輸入スベキ必要ガアレバ是非トモ輸入シナケレバナラスノデアリマスカ、輸入シナケレバナラス物ニ對シテハ、輸入ヲ致スダケノ考ヲ以テ進ミタイト考ヘマス  
○三宅委員 要スルニ増産計畫ト價格政策トノ關聯ニ付キマシテハ、相當喰違ツテ居リマシテ、一致點ニ達シナイノデアリマスカ、私ノ考ヘ方デハドウシタツテ今日ヨリ以上ニ米價ヲ上ゲル譯ニハ國策トシテモ行カナイシ、國策トシテモソレハ不得策ダト思フ、隨テ農業外部ニ於ケル「シエール」ヲ除ク途ヲ積極的ニ講ゼラレル必要ガアリ、之ニ應ズル用意如何ト云フコトガ第一ノ質問デアリマス、第二ハ農業内部ニ於ケル生産費切下ニ對スル方途如何ト云フコトヲ質問致シマス  
○櫻内國務大臣 今ノ御話ハ二通りノヤウデアリマシタ、第一ハ所謂生産資材即チ生産品ノ價格ニ影響スル生産ニ要スル資材ノ價格ヲ引下ゲル方途ハドウデアルカト云フ

御意見デアリマス、第二點ハ内部ニ於テソ  
レヲ下ゲル途ガナイカ、斯ウ云フコトデハ  
ナイカト思ヒマス、第一ノ肥料ヲ下ゲルト

カ、或ハ農具ヲ下ゲルトカ云フコトニ付キ  
マシテハ、御承知ノ通り無機物肥料ニ付キ

マシテハ既ニ統制ヲ致シテ、騰貴ヲ抑制シ  
テ居リマス、有機物ノ肥料モ非常ニ騰貴シ

ツアルノデアリマシテ、是ガ引下ニ對シ  
テハ今非常ニ苦心ヲ致シテ居ル際デアリマ

ス、其ノ他ノ資材ニ付キマシテモ出來ルダ  
ケ低下ヲ致スヤウニ、最大ノ努力ヲ致サウ

ト考ヘテ居リマス、内部ニ關スル問題ニ付  
キマシテモ色々考ヘラレマセウ、或ハ三宅

君ナドノ御主張カラ言フト小作料デアルト  
カ、或ハ地價ノ騰貴ノ抑制ダトカ、或ハ不

在地主ノドウトカ云フ問題ガ澤山オアリデ  
セウ、是モ重要ナル問題デアリマス、重要

ナル問題デアリマスケレドモ、今日ノ此ノ  
場合ニ於テ直チニ其ノ成果ヲ擧ゲルコトモ

容易デハアリマセヌシ、又可ナリ是ハ考究  
ヲ要スルコトデアツテ、單純ニハ行カナイ

ノデアリマス、是ハ又オ叱リヲ蒙ルカモ知  
レマセヌケレドモ、篤ト考慮ヲ拂ヒタイト

思ツテ居リマス  
○三宅委員 農務局長ヲ一ツ御呼び下サイ  
マセヌト話ガ喰違ヒマス

○添田委員長 今呼ビニヤツテ居リマス、  
外ノ問題ハアリマセヌカ、米穀局長ニ對ス  
ル問題ハ……

○三宅委員 ソレデハソレマデ待タシテ戴  
キマス

○信太委員 關聯事項デ一寸——先程ノ三  
宅君ノ御質問ノ米作ノ豫想デゴザイマスガ、

是ハ私等モ地方ニ居リマシテ、其ノ經驗ハ  
十分致シテ居リマス、御承知ノ通り是ハ各

道府縣ノ技術者方面カラ材料ヲ取ルノデア  
リマスガ、ドウモソレハ人情デ已ムヲ得ナ

イダラウト思ヒマスケレドモ、技術者ハド  
ウシテモヤハリ自分ガ指導シタ、育テ親

ト云ツタヤウナ氣持カラシテ、豫想ヲ少シ  
増シテ報告サレルヤウナ傾向ガ多分ニアリ

マス、私ハ正直ニ申シマスルガ、ソレハ五  
分位餘計ニ報告ラシテ居ルト考ヘテ居リマ

ス、是ハ別ニ惡意デモナイダラウト思ヒマ  
スケレドモ、唯幾ラカ自分ノ功名ニ資セン

トシテノコトデアリマセウ、是ハ惡質デハ  
アリマセヌガ、斯ウ云フヤウナコトモ農林

省ニ於キマシテハ慎重ニ御調査ナサツテ、  
中々重大ナコトデアリマスカラ、再三再四

報告ヲ取ラレタイ、又是ト反對ニ、地方ノ  
地主ナドハ、ドウシテモ自分ノ收穫ヲ少ク  
見ル、賃賃價格ヤ何カノ基本調査デモ皆申

告ヲ少クスル、其處ニ喰違ヒガ出來ルカト  
私ハ考ヘテ居リマス、サウ云フコトナドモ

參考資料ニ致サレマシテ、十分檢討致サレ  
マシテ、喰違ヒノナイヤウニ私ハ望ンデ已

マナイノデアリマス、之ニ對スル政府ノ御  
所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 御指示ノ點ニ付キマシテ  
ハ、十分誤リノナイヤウニ部下ニ對シテモ

督勵致シタイト考ヘマス  
○添田委員長 御質問ガアリマスレバ、此

ノ機會ニ原君ニ御願シマス  
○原委員 現在問屋ヲシテ居ル人ガ相當ニ

小賣ヲ兼業シテ居ルト思フノデス、斯ウ云  
フモノハ問屋ト云フ資格デ當然市場員ニナ

ルコトガ出來ル、且ツ白米ノ小賣業ハ小賣  
業デ許スト云フヤウニナツテ、ヤハリ從來

通りノ兼業ガヤツテ行ケルモノデアリマス  
カ  
○周東政府委員 其ノ點ハ今申上ゲマシタ

ヤウニ、許可ハ問屋、小賣ト云フヤウニ業態  
別ニ別々ニ許可ヲ致シマスカラ、其ノ點ニ

於テハ兼業ハ許サレマス  
○原委員 現在ノ問屋ト稱スル者ガ、取引

所ノ中デ事業ヲヤル上ニ於テ、其ノ取引所  
カラ相當ノ場所ヲ借受ケテ、賃料ヲ拂ツテ

テ居ル譯デス、此ノ會社ノ設立ニ當ツテ、  
取引所ノ所有スル土地、家屋ハ相當ナ値段

デ賠償スルノデスガ、斯ウ云フヤウナ場所  
的權利ヲ持ツテ居ル者ニ付テハ、ヤハリ何

カ相當ナ方法ガアリマスカ、ソレトモ現在  
ノ市場デヤツテ居ル通り、場所ヲ借りテ居

ル者ニハ貸シテ使ハセルト云フ風ニナルノ  
デアリマセウカ  
○周東政府委員 此ノ度ノ市場ニ於キマシ

テモ、ヤハリ市場員ハ其處ニ店ヲ持ツコト  
ニナリマス、今ノ正米市場ニ店ヲ持ツテ營業

シテ居リマス者ハ、市場員トシテ營業ヲシ  
テ參リマス上ニ於テ、必要ナラバソレハ借

リテ使ヘルト思ヒマス  
○原委員 現物取引ハ市場員デナクテモ出

來ルヤウナ勅令ガ出ルヤウデアリマスガ、  
此ノ點ハ大口、小口ニ拘ラズ、取引市場ニ

行ツテ其ノ市場ノ驛賣ニ關係ガ出來ルト云  
フ意味デスカ、其ノ驛賣ニ依ツテ得タ問屋

カラ卸ラ受ケテ來ルト云フ意味ニナルノデ  
スカ  
○周東政府委員 其ノ點ハ現物市場ニ於キ

マシテ、米ヲ買ヒタイ人ハ現物市場ノ市場  
員カラ米ヲ買ヒマス、ソレカラ現物市場ニ

米ヲ賣リタイ人ハ其ノ市場員ニ賣リ得ル、  
隨テ現物市場ニ於テハ賣買ノ何レカ一方ガ

市場員デアレバ宜シイノデ、其處デ買ヒ、其處デ賣ル人ハ市場員デナクテモ宜シイ、斯ウ云フコトデアリマス

○原委員 サウスルト、消費組合トカ、大口ノ買主ト云フモノハ自由ニ其ノ市場ニ行ツテ、現在ノ取引員ガヤツテ居ルヤウナ意味デ其ノ市場ノ正式ノ賣買ニ關係ガ出來ルト云フコトニナルノデアリマスカ

○周東政府委員 其ノ點ハ現在ノ正米市場ニ於ケルト同様デアリマス、御話ノ通りニナルト思ヒマス、併シ自ラ茲ニ市場ニ於ケル取引ノ單位ガ決ルノデアリマスカラ、其ノ單位ガ纏ラナイト困ルト思ヒマス

○原委員 次ニ白米小賣商ニ付テ二三御伺シタイト思ヒマスガ、此ノ白米小賣ノ認可ニ付テ、同業組合トカ或ハ商業組合ト云フモノニ、一應白米小賣ノ認可トカ、或ハ取消トカ或ハ支店出張所ノ増設ト云フヤウナ際ノ行政處分ヲナサル際ニ、同業組合ナドニ與書デモサセテ新ニ處分ヲ受ケル者ノ資産狀態デアルトカ、營業狀態デアルトカ、或ハ今マデハドウ云フ風ノ人物デアツタカト云フ風ナ點ヲ保證セシメルト云フヤウナ意味デ、此ノ組合ヲ御使ヒニナルヤウナ御考ハアリマセヌカ

○周東政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ、

此ノ法ノ運用ノ上ニ於キマシテ、實際ニ付テ能ク考慮致シテ見タイト思ツテ居リマス

○原委員 現在ノ白米小賣商ト致シマシテハ、許可制ニナツテ將來中々政府カラ許可ガ下リナイ、一面ニ於テハ小賣商ト云フモノガ相當多過ギルト云フコトモアリマスカラ、心配シテ居リマスノハ、現在デモ相當徒弟ト言ヒマスカ、丁稚小僧ニナツテ昔ノヤウナ工合ニ働イテ呉レル希望者ガナクナツテ居ル、サウ云フ工合ニナルト尙更米ヲヤルノハ難カシクナツテ、米屋ヘ小僧ニ入ツタ所ガ、成人シテモ許可ガ下リルカドウカ分ラナイ、獨立ノ商人ニナレルカドウカ分ラナイト云フ意味デ、小僧ニナル者ガナクナルノデハナイカト云フコトヲ心配シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、同ジ店ニ何年カ永ク續イテ働イテ白米ニ對シテ經驗ヲ持ツテ居ル者トカ、或ハ同業組合カラ表彰サレタ者デアルトカ云フ風ナ、特ニ此ノ方面ニ子供時代カラ育ツタ經驗ノアル者ニ付テハ、何カ優先的ニ許可デモ與ヘルト云フヤウナ方針ハゴザイマセヌデセウカ

○周東政府委員 御話ノヤウナ點ハ、新ニ許可ヲ致シマス場合ニ於テ有利ナ一ツノ條件トシテ考ヘテ行キタイト思ツテ居リマス

併シ今御話ノヤウニ必ズ徒弟關係ニナツテ居ツタ人ヲ優先サセルト云フコトニ決メマスコトハ、徒弟制度ト云フモノガ又一面ニハ色々弊害モゴザイマスカラ、餘程考慮致サナケレバナラヌ問題デアルト思ヒマス、併シ新シク認可致シマス場合ニハ、米ノ賣買ニ經驗アツタ者ト云フヤウナコトヲ、許可ノ場合ニ於ケル有利ナ條件トシテ考ヘタイトハ思ツテ居リマス

○原委員 尙ホ心配シテ居ルノハ、今ノト同ジヤウナ意味デ、自分ノ一代ハ宜イケレドモ、相續ノ場合ニハドウデアラウカ、又長男デアラナラバソコニ相續トカ何トカ云フヤウナ意味デモ認可ガ下リルカモ知レヌガ、必ズ長男トハ限ラナイデ、次男ナリ三男ナリニ自分ノ家業ヲ繼ガセタイト云フヤウナ場合ニ、中々許可ガ下リナイト困ルト云フコトヲ心配シテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ意味ノ家族ニ相續的ニ繼承セシメルト云フヤウナ場合ニ於テ、特ニ御考ニナツテ居ルコトハアリマセヌカ

○周東政府委員 此ノ點ニ付キマシテモ同様ニ許可ヲ致ス場合ニ於キマシテ、有利ナ條件トシテ考慮スル一ツノ點ニナラウカト存ジテ居リマス

○原委員 尙ホ米穀ノ値段ニ付テハ、最低

米價トカ最高米價ト云フ工合ニ大體ハ押ヘラレテ居ルヤウデアリマスガ、小賣ノ點ニ付テ現在東京邊リニ於キマシテハ、商工省或ハ東京府ノ役人ニモ加ハツテ貰ヒ、東京市ノ自治團體ノ役人ニモ來テ貰ヒ、商工會議所トカ、或ハ消費者ノ代表者ヲ入レタモノデ値段ヲ決メテ、サウシテソレヲ監督官廳ノ認可ヲ得テ統制値段トシテ一定ノ値段ヨリ賣ツテハイカスト云フ風ニ扱ツテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ會社ガ出來上リマシタ後ニ於キマシテハ、サウ云フ小賣値段ニ付テ、何等カ統制ヲ執ラレルヤウナ御考ガゴザイマセウカ、其ノ點ハドウナリマセウカ

○周東政府委員 本會社ノ市場ガ出來マシタ場合ニ於キマシテ、其處デ取引サレル米ニ付キマシテハ、大體價格ガ決メラレル譯デアリマスカラ、自ラ其ノ小賣等ニ於ケル白米ノ賣買價格等ニ付キマシテハ、指導的統制的ナ行方ヲシナケレバナラヌカト思ヒマス、併シナガラハ今日ニ於キマシテモ實ハ或ル程度市場等ニ於キマスル標準米ノ價格ト小賣價格ト云フモノハ、或ル一ツノ比率ヲ以テ動イテ居ルヤウナ狀況デアリマス、ソコヲ點ヲ考慮致シマシテ、公定價格ト云フモノハ自ラ出來テ來ルノデハナイ

カ、ドウシテモ出来ヌト云フ場合ニ於テハ、更ニ本法ニ依リマシテ積極的ニ價格ヲ決メサセルト云フコトモ起ラウカト思ヒマス。

○原委員 是ハ先程一寸私聽キ方ガ惡カツタカ分リマセヌガ、先程ドナタカノ答辯デ全國的ニサウムツカシクヤラヌデモ宜イカラ、山間ナドノ認可ニ付テハドウカト考ヘテ居ルト云フヤウナ地域のノコトデノ御話デシタガ、ソレハ今言フ小賣商ノ認可ノ點ノコトヲ言フノデスカ、ドウ云フ意味デスカ。

○周東政府委員 御話ノ通りデゴザイマス、第一條ノ小賣ト卸賣商トノ許可ノ問題デアリマス。

○原委員 サウスルト全國ニ於テ、或ル場所ニ於テハ認可ヲ受ケナクテモ第一條ノ仲買賣買ヲヤツテモ宜イト云フモノガ出来テ來ル譯デスカ。

○周東政府委員 サウ云フ場所ガアリ得ルト考ヘマス。

○原委員 ソレハ何ニ依ツテ定メラレルコトニナルノデスカ、或ハ今定ツテ居ルナラバ、ドウ云フ程度ノドウ云フ方面ハ認可ガナクテモ商賣ガ出来ルト云フコトノ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス。

○周東政府委員 其ノ點ハ先程申上ゲマシ

タヤウニ、此ノ本法ノ目的ト云フモノト考ヘ合セマシテ、此ノ第一條ノ施行地域ヲ決メタイト考ヘマス、極端ニ申シマスレバ山村農村ニ於キマシテ、何等ノ競争ナク、米ノ取扱ヲ致シテ居ル者ガ一軒カ二軒ノ所ニ於キマシテハ、強ヒテ許可ノ制度ヲ布ク必要モ無イデハナイカト云フヤウナ事柄カラ致シマシテ、サウ云フ地域ニ付キマシテハ、十分實情ニ應ジマシテ決定シテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス。

○原委員 ソレカラ先程ドナタカノ御尋ト思ヒマスガ、市場ノ地域ガ決マリマシテ、其ノ地域ノ中ニアル者ヲ市場員ニスルカト云フ御話デシタガ、全國ニアル間屋トカ、或ハ何ト申シマスガ、地方デ買出シマシテ東京ニ送ツテ居ルト云フヤウナ人、米穀ニ關係シテ居ル總テノ人ハ、希望ガアルナラバ何處カ其ノ附近ノ市場員ニ全部シテシマフノデハナイノデスカ。

○周東政府委員 是ハサウ云フ風ナ希望ガゴザイマシタ場合ニ於テハ、最寄ノ市場ニ自ラ店舗ヲ設ケルコトニナルト思ヒマス、サウ云フコトニ依リマシテ、地域ノ中ニ店舗ヲ設ケタ者ヲ中心ト致シマシテ市場員ノ免許ヲ與ヘテ行ク、斯ウ云フ風ナ方針ニ致シテ行キタイト考ヘテ居リマス。

○原委員 結局サウ云フ米穀ニ關係シテ居ル事業ヲ有シテ居ル者ハ、ドンナ不便ナ所ニ居ル人デモ、今度出来ル市場トドンナニ懸ケ離レテ居ツテモ全部市場員トシテ許サレル、斯ウ云フ意味デスカ。

○周東政府委員 其ノ點ハ必ズシモ全部ヲ市場員ニ入レルト云フコトデナク、主ナル米ノ取引ヲ致シテ居ル者ニ付キマシテ、大體其ノ市場ノ地區内ニ營業所店舗ト云フモノヲ設ケテ居ル者ニ付キマシテ免許ヲ與ヘテ行ク、斯ウ云フ行キ方デゴザイマス、唯先程ノ御話ノヤウニ非常ニ遠隔ノ地ニアルガ、併シ相當ノ米ヲ取扱ツテ居リ、市場員ニナリタイト云フ希望ノ者ニ付キマシテハ、其處ニ店舗ナリ營業所ヲ持タセマシテ市場員ニスル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス。

○原委員 ソレカラ先程ハ吉植君ノ發言デ、大分東京ノ白米商ヲ刺戟シテ居ルノデスガ、政府委員トシテハ斯ウ云フコトヲ御研究ニナツタコトハナイデアリマセウカ、此ノ點ニ付テ伺ツテ置キタイト思ヒマス、詰リ東京ニ於ケル白米値段ノ表示方法ト、大阪ニ於ケル白米値段ノ表示方法トガ違フノデス、一等米ト云ツテモ東京ノ一等米ト大阪ノ一等米トハ違フ、東京ノ一等米ハ大阪

デハ鮎米ト稱シテ東京ノ二等米ヲ大阪デハ一等米ト云フ工合ニ定義シ、又朝鮮カラ相當ノ數ガ來ルカラ、此ノ點デ運賃ガ違フト云フヤウナ意味デノ値段ノ開キデアツテ、實質上サウ政府ニ於テ監督シナクテハナラヌ、問題ニシナクテハナラヌ程東京ノ米屋ガ暴利ヲ貪ツテ居ツタト云フノデハナクシテ、大シテ大阪ト變ツタコトハナイト思フノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テ御考ニナツタコトハナイデセウカ。

○周東政府委員 東京ト大阪ノ白米ノ價格ニ於キマシテ、大阪ノ方ガ比較的安イト云フ御話ガ先程吉植サンカラアリマシタガ、是ハ色々ナ事情モアリマス、特ニ一ツノ問題トシテ擧ゲラレテ居リマスノハ、朝鮮ノ白米等ニ依リ影響ト云フヤウナコトガ可ナリ影響ヲ來シテ居ル譯デアリマス、此ノ點ハ御議論ニナルト思ヒマスガ、特ニアノ白米小賣價格ハ原料玄米ノ價格ニ於テ東京ト大阪トガ相當開キガアルニモ拘ラズ小賣價格ノ方ハ大阪ガ安イト云フコトカラ、直チニ東京ノ方ガ特ニ暴利ヲ取ツテ居ルト云フヤウニモ考ヘラレナイノデアリマスガ、是ハ議論ニ互ルコトデアリマスカラ御諒解ヲ願ヒマス。

○原委員 モウ一點ダケ、是ハ消費者ノ全

般的大局カラ見テ一應伺ツテ置キタイト思フノデスガ、現在ノ大體ノ米穀配給機構ハ其ノ儘置クト云フ上ニ、茲ニ新シイ會社ガ出來ルト云フノデアリマスカラ、ドウモ中間搾取者ガ一ツ殖エルヤウデ、消費者トシテハ結局相當餘計ニ米代金ヲ拂ハナケレバナラスト云フ風ニナルノデハナイカト一應ハ考ヘラレルノデスガ、此ノ法案ガ出來、此ノ會社ニ依ツテ配給サレル場合ニ、消費者トシテ何カ犧牲ヲ拂ハナケレバナラストトガアリマセウカ、其ノ利害ニ付テ一應承ツテ置キタイト思ヒマス

○周東政府委員 此ノ點ハ御話ノヤウニ配給ノ個々ノ機關ニ付キマシテハ、特ニ整理致スノデハゴザイマセスガ、併シ最モ重大ナル此ノ價格ノ統制機關、指導機關ト云フモノニ當ル中央市場ニ、其ノ根柢ヲ爲ス米ノ需給ニ依ツテ、米ノ數量ヲ集中セシメル、ソレニ依ツテ價格ヲ統制サレルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ從來個々區々デアリマシタ經營主體ノ市場ヲ、單一ノ國策會社ノ經營ニ移シマスコトニ依ツテ、適正ナ價格ノ統制ト云フコトガ、ヨリ一層簡便ニナツテ參リマス、而モ此ノ市場ニ於キマスル取引ニ付キマシテハ、出來ルダケ手數料等ハ引下ゲルト云フコトニナツテ居リ

マスルシ、旁、配給ノ諸費ニ關シマシテモ、相當是ガ減ゼラレルモノデアリ、且ツ合理的ナ價格ニ依ツテ取引サレルト云フコトニ利益ガアルト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○添田委員長 三宅君農務局長ガ見エマシタ

○三宅委員 農務局長ノ御答辯ヲ得タイノデアリマスガ、今日マデノ増產計畫ニ於ケル刺戟トナツタ高價格政策、價格吊上政策ト云フモノガ今日ノ段階ニ於テハ執リ得ナイ狀況デアル、價格吊上ヲ伴ハズニ増產政策ヲ遂行スルト云フコトハ、非常ナ困難ナ問題デアルガ、價格引上政策ヲ伴ハズニ増產政策ヲヤル場合ニ於ケル現ニ政府ガ用意シテ居ル方策ハ何デアルカ、斯ウ云フ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

○小瀧政府委員 米穀ノ本年度ニ於ケル増產ヲ計畫致シマシタ場合ニ、米ノ價格ガ高クナリマスレバ、農家ハ米ヲ作ルト云フコトニ付キマシテ、今マデヨリモ一層ニ熱心ニナリマスト云フコトハ、是ハ一面カラ考ヘラレルコトデゴザイマス、米ノ價格ガ高クナルカナラスカト云フコトヲ別ニ致シマシテモ、本年度ノ米穀ニ付キマシテハ、天候ガ平均シマスル場合ニ於テハ、銃後ノ護リト致シマシテ、主要食糧中ノ主要食糧デ

ゴザイマス米ニ付テハ、不安ナキ狀態ニ置クコトガ、農村ニ課セラレタル責務ダト云フ意味カラ致シマシテ、過般各府縣ノ農事試験場及ビ主要食糧ノ技術者等ノ會合ヲ求メマシテ、指導網ニ依リマシテ、指導ヲ徹底サセル、ト云フコトノ覺悟ヲ決メテ參ツテ居リマスヤウナ譯デアリマシテ、現在計畫致シテ居リマスル計畫ト致シマシテハ、主トシテ農家ノ耕種方法ノ指導ヲ徹底的ニ致シマスルコトニ依ツテ、所期ノ増產ヲ舉ゲタイ、而シテ一方病害蟲ノ驅除ヲ徹底致シマスルコトニ依ツテ、失ハルベキ米ヲ失ハナイヤウニ引止メルト云フコトニ依リマシテ、更ニ増產ヲ期シタイ、又苗ノ仕立ヲ丈夫ニ致シマスルコトニ依ツテ、米ノ増產ヲ期シタイト云フ風ナコトヲ考ヘテ居リマシテ、主要ナル部分ハ、農家ニ從來ノ指導ヲ致シテ參リマシタ經驗ニ鑑ミマシテ、地域毎ニ其ノ地方ノ從來ノ慣行及ビ地味等ニ鑑ミマシテ、地域別ニ耕種方法ノ設計ヲ立テテ、サウシテ指導ヲ徹底シテ行キタイ、斯様ニ思ツテ居リマス次第デアリマス

○三宅委員 其ノ點ハ能ク諒承シテ居ルノデアリマスガ、私共ハ精神力ガ非常ナ重大ナ問題デアルト共ニ、零細農家ヲ以テ構成シテ居ル日本ノ農村ニ於テ、指導政策ガ非

常ニ重大デアルコトヲ認メマスルノデ、ソレモ一ツノ方法デアルト考ヘルノデアリマスガ、價格引上政策ヲ伴ハズニ、其ノ他ニ於ケル色々ナ逆條件ヲ克服シテ參リマスル上ニ於キマシテ、農業ノ内外ニ互ル生産費ノ切下ゲト云フコトガ重大ナ問題ダト思フノデアリマス、ソレヲ伴ハズニ現在ニ於キマスルガ、農產物ノ價格ハ百六ニ上ツテ居ル、六ダケ上ツテ居ル、然ルニ農家ガ買ヒマスル肥料其ノ他必需品ノ價格ハ百五十七ニナツテ、五十七上ツテ居リマス、五十七上ツタト云フ勘定デ以テ米ヲ作りマスレバ昭和十五年度ノ最高價格ハ五十圓ニデモシナケレバ引合ハナイ、所ガ是ハ眼ノアル者ガ見レバ分リマス通り、到底五十圓ニハ上ラナイ、大體ニ於テ現狀ヲ維持シ、出來ルナラバ一番巧ミナル政策トシテ、モツト公明ナ値段ヲ作ルコトガ、國家全體ノ見地カラ必要ナルコトデアルト云フ建前ニ於キマシテモ、ドウシテモ農業生産費ノ切下ゲヲヤラナケレバナラス、其ノ點ニ付テハ農業ノ内外トノ對策ヲ立テナケレバナラス、外ニ對シテ「シエーレ」ヲナクスルコトデアル、「シエーレ」ノ絶減ニ付テ農林省ノ執ツテ居ル方策ハ何デアルカ、先ヅソレヲ承リタイ

○小濱政府委員 農家が賣出シマス農産物

ノ價格ト、農家が是非購入致サナケレバナ  
ラヌ必需品ノ價格トノ差ガアリマスコトハ  
當局モ之ヲ認メテ居リマス、出來ルダケ之  
ヲ縮メナケレバナラス、一方ニ於キマシテ  
農家ノ消費致シマス物資ニ付キマシテノ價  
格ヲ低下スルト云フコトニ付キマシテハ、  
一般物價ノ引下ト云フ所謂低物價政策ニ俟  
タナケレバナラスト思ヒマス、其ノ中デモ  
農家ノ消費致シマス重要ナ部分デアリマス  
肥料ニ付キマシテハ、其ノ價格ノ騰貴ヲ出  
來ルダケ抑ヘテ行キタイト云フ意味ニ於キ  
マシテ、硫安ノ公定價格ヲ定メマスニ當リ  
マシテモ、從來ノ價格ヲ据置ニ致シマシタ  
ヤウナ譯デゴザイマス、過燐酸ノ公定價格  
ヲ定メマスニ當リマシテモ、過燐酸肥料ノ  
製造業者ガ耐ヘ得ル程度ニ於テ、減産ヲ來  
サナイ程度ニ於テ、之ヲ成ベク引下ゲタイ  
ト云フノデ、市場ノ價格ト比較致シマシテ、  
相當低イ價格ニ公定價格ヲ決メ得タト考ヘ  
テ居リマス次第デアリマス

○三宅委員 農産物ニ於テ一〇六ニ上リマ

シタノガ、必需品ニ於テ一五七ニ上ツテ居  
ルト云フ事實ガアリマス限リ、ソレヲ認メ  
ラレマス限リニ於キマシテハ、實際ニ於テ  
「シエーレ」ハ益、ヒドクナリツツアル状態

デアリマス、況ヤ肥料等ニ於キマシテモ魚

肥デアリマスストカ、大豆粕デアリマスストカ、  
統制ノ範圍外ニアリマスモノニ付テハ、品  
不足ト共ニ暴騰ハ實ニヒドイモノデアリマ  
ス、是等ニ付キ何等カノ綜合的ナ對策ヲ立  
テラレナケレバ、色々ヤツテ居ルトロダ言  
ハレマシテモ、「シエーレ」ハ除カレナイノ  
デアリマス、其ノ綜合的對策ニ付テ何等カ  
腹案ガアルカドウカ、ナカツタナラバ是カ  
ラヤルノカドウカ、之ヲ承リマセヌト増産  
計畫ハ駄目ダト思ヒマスガ、其ノ點ハ如何  
デゴザイマスカ

○小濱政府委員 肥料ノ中デ無機質肥料ニ

付キマシテハ、只今申上ゲマシタヤウナ  
色々ノ方法ヲ採ツテ居リマス、有機質肥料  
ニ付キマシテハ、魚肥等ニ付キマシテ最近  
騰貴ヲ示シテ居リマス、是ハ漁、殊ニ鯨ノ  
漁ガ不良デアツタト云フコトカラ致シマシ  
テ、數量ガ少クナツテ來テ居ルト云フ關係  
カラ騰貴ヲ來シテ居ルヤウニ思ヒマス、又  
大豆粕等ニ付キマシテハ、滿洲カラ參リマ  
ス大豆粕ノ數量ニ關係シテ居ルカト思ヒマ  
ス、之ヲ國內デ價格ヲ適當ニ定メ得レバ宜  
シウゴザイマスガ、其ノ定メ方如何ニ依リ  
マシテハ、滿洲カラ參リマス大豆粕ノ數量  
ガ更ニ少クナル危險ガゴザイマス、又魚肥

ニ付キマシテハ數量ガ少イ、不漁ノ爲ニ上

ツテ居リマス部分ニ付キマシテハ、是ノ價  
格ノ騰貴ノ抑制策ニ付テハ、餘程色々ノ點  
ヲ考慮シナクテハナラナイト考ヘマシテ、  
ソレ等ノ點ニ付テ色々苦慮致シテ居リマス  
ケレドモ、斯ウスレバ宜シイト云フ成案ヲ  
只今此處デ申上ゲルマデハナツテ居リマ  
スセス

○三宅委員 魚肥其ノ他ノ有機質肥料ニ付

テハ、今ノ所無方針デアル、其ノ他先刻モ  
御尋シマシテ、居ラレマセヌデシタカラ、  
ダブリマスガ、石油ガ上ツタトカ、或ハ配  
給ノ方法ガ惡イ爲ニ北支ノ方ヘ出テ行ツテ  
シマツテ居ルトカ、肥料自體ガ北支ヘ逃ゲ  
ツツアル状態デアルトカ、若クハ護謨靴ノ  
配給ガ非常ニ惡イトカ、農具ノ配給ガ惡イ  
トカ、農業藥品ノ配給ガ惡イトカ云フコト  
ニ付キマシテモ、其ノ問題々々後カラ對  
策ハ立テラレケレドモ、マダ綜合的ニ、  
豫メソレニ付テヤルト云フ處置ヲ考ヘラレ  
テ居ラヌヤウデアリマスガ、是等ハモウ手  
遅レニナツテシマヒマス、ソレガ「シエーレ」  
デアリマス、上ツテシマツテカラ其ノ次カ  
ラ抑ヘテモ仕樣ガナイノデアリマシテ、上  
ラヌ前ニ之ヲ抑ヘルコトガ必要ナノデアリ  
マス、サウ云フコトニ付テ、其ノ他ノ農業

用資材ニ付テノ生産費引下ノ觀點ニ立ツテ

ノ經綸ヲ御持チニナツテ居ルカドウカ、承  
リタイ

○小濱政府委員 農具ニ付キマシテハ必要  
ナル材料ヲ供給致シマシテ、農具ノ供給ニ  
不足ノナイヤウニ致サナケレバナラスト云  
フノデ、材料ノ點ニ付キマシテハ、商工省  
トモ常ニ交渉ヲ續ケテ居リマスルヤウナ次  
第デアリマス、農業藥品ニ付キマシテハ、  
必要ナル藥品ニ不足ヲ生ズルコトガアリハ  
シナイカト云フコトハ、常ニ注意致シテ居  
リマス點デゴザイマシテ、農業藥品ノ供給  
ニ付キマシテハ、大體不足ヲ生ズルコトノ  
ナイヤウニ、供給ガ出來ル見込ヲ持ツテ居  
リマス、石油等ニ付キマシテハ、害蟲ノ驅  
除ニ使ヒマスル石油ニ付キマシテモ、商工  
省トノ交渉ノ結果、大體供給ニ不足ヲ來サ  
ナイヤウニヤリ得ルト云フ見込ヲ付ケテ居  
リマスヤウナ次第デアリマス

○三宅委員 石油ハ實際ニ於テハ餘ツテ居  
ルノデアリマシテ、相當ナ拂下ガアル、四  
圓デ渡シテモ引合ヒマスルノヲ、儲カル方  
ニ廻シマシテ八圓位デ渡シテ居ル、ソレヲ  
北支ノ方ニモ出シテ居ルト云フ譯デアリマ  
スカラ、單ニ商工省トノ御打合ニ依ツテ、  
材料ヲ確保サセマシテモ、儲カラス方ヘハ

來ナイノデアリマス、ソレハ農具ニ付テモ其ノ通りデアリマシテ、工業組合へ農具ノ資材トシテ鐵材ヲ配付スル、サウスルト儲カル軍需品ノ方ニ廻シテシマフ、若クハ品ヲ落スト云フコトデ、其ノ間ニ配給機構ニ付テモ、マダ用意ノ足ラザル點ガアリマス爲ニ、農業用資材ニ不足ヲ致シマシタリ、偏在ヲ致シマスコトガ非常ニ多イノデアリマス、私共ハ誰ガ局ニ立チマシテモ、ソレハ相當ニ難カシイコトデアリマスカラ、唯責メタイ爲ニ責メル譯デハナイケレドモ、今ノ程度ノ方策ヲ以テシテ、技術的指導ダケデヤラウト思ツテモ無理ダト思フノデアリマシテ、其ノ點ニ付テ何等カモウ少シ思切ツタ、農業外カラ來マス所ノ生産ヲ阻碍スル條件ニ對シマシテ、其ノ生産費引下及ビ資材ノ配給ニ付テ御考慮ガアルカナイカ、ナカツタラ一ツ御決意ヲ願ハナケレバナラヌガ、モウ一點伺ツテ置キマス

○小濱政府委員 先程カラ御答致シテ居ルト思ヒマスルガ、農業用資材ニ付テ不足ヲ生ジマスルコトガアリマシテハ、増産ノ目的ヲ達成スルコトガ困難ダト考ヘマシテ、サウ云フ點ニ付テノ手配ハ出來ルダケ致シテ居ル積リデゴザイマシテ、就中肥料ノ問題ニ付キマシテハ不足ノナイヤウニ、本年

ニ於キマシテハ、一月カラ七月ノ春肥ノ部分ニ付テハ、差當リ、昨年ノ供給ヲ下ラザル數量ヲ確保シ得タト考ヘテ居リマス、農具等ニ付キマシテモ、資材ニ不足ノナイヤウニト云フコトヲ商工省ト打合セテ、資材ノ配給ニ付テソレ／＼ヤツテ居リマスト云フコトヲ申上ゲタヤウナ譯デゴザイマシテ、農家ノ使用致シマスル必需品ニ付キマシテノ價格ノ引下ハ、是ハ一般物價ノ引下ノ方策ニ俟ツベキモノデアルト考ヘテ居リマス、ソレノ中デ農具等ニ付キマシテハ、過般ノ物價委員會ニ於テ農具ノ價格ヲ決メマシタ部分モアルノデゴザイマス

○三宅委員 ソコマデノ經過ハ能ク承知シテ居ルノデアリマスガ、商工省カラ廻シタト云フ鐵ノ資材ガ軍需ノ方ニ廻ツテシマフ、ソレハ儲カラナイカラ儲カル方ヘ廻ツテシマフ、サウシテ農具ニ付テ公定價格ヲ決メタラバ、品物ヲ惡クシテシマフ、サウ云フ事例ハ若シ何ナラバ材料ハ幾ラデモアリマスカラ申上ゲテモ宜シイケレドモ、明日企業院ノ方ガ來ラレテカラ、企業院ノ方ト商工省ノ方ニ對シテ皆デ大イニヤリタイト思ツテ居リマスシ、農林省ハコチラノ味方ナンドカラサウ云フノモナンドスケレドモ、其ノ點ニ付テノ用意ガ足ラナ

イト云フコトデス、モウ一步進シテ、痒イ所ニ手ノ届ク注意ガ足ラナイノデハナイカト云フノデアリマシテ、其ノ點ハ如何デスカ

○小濱政府委員 吾々ノヤツテ居リマス事柄ニ付キマシテ、アア云フ點ガ足ラナイデヤナイカ、斯ウ云フ點ガ足ラナイデヤナイカト云フ點ニ付キマシテハ色々アラウト考ヘマス、痒イ所ニ手ノ届カナイ憾ミモ見方ニ依ツテハアルト考ヘマス、サウ云フ點ニ付テノ御鞭撻ニ付キマシテハ謹ンデ拜聴致シマスガ、吾々ハ主要食糧ニ不足ノナイヤウニ増産ヲシナケレバナラス、増産ヲ致スニ付キマシテノ出來ルダケノ考慮ハ致シテ居ル積リデゴザイマスガ、尙ホ足ラナイ點ニ付テノ御鞭撻ニ付キマシテハ謹ンデ拜聴ヲ致シマスヨリ外仕方ナイト考ヘテ居リマス

○吉植委員 一寸關聯シテ——實ハ明日各省ノ政府委員ノ方ニオ出デヲ願ヒマスノハ、私共調査シタ範圍デハ今三宅君ガ心配シテ居リマスル農産資材ノ價格騰貴又材料ノ缺乏シタ物ヤ偏在シタ物、斯ウ云フ物ノ實例ガ澤山擧ツテ居リマス、ソレニ付テ吾々ノ調べタ範圍デハ、ドウモ大本カラ流レテ來ル資材、原料ノ流レ方ガ間違ツテ居ル、間

違ツテ居ルト言フノハ語弊ガアルト考ヘマスレバ、農村デ欲スルダケノ物が完全ニ取レテ、増産ニ使フト云フニハ不十分ナヤウナ流レ方ヲシテ居ル、之ニ付テ實ハ各省ノ方ニ能ク質問ヲシテ、サウシテ吾々ノ要求モ能ク聞イテ貰ヒタイ、斯ウ思ツテ居ル譯デス、ソコマデ農林省ノ方カラソレヲ否認シテ貰ヒマス、吾々折角ヤツテモ何ニモナラスデスカラ、決シテ攻撃スルノデモ何デモナイノデアリマスカラ、ドウカ其ノ點ハ虚心坦懷ニ御話願ヒタイ、ソレデアリマセヌト、折角ヤリマシテモ、農林省デソシナコトハナイト言フデヤナイカト云フコトニナリマス、是ハ打割ツタ話デスカラ隠サナイヤウニ率直ニ御願致シマス

○三宅委員 只今吉植君カラ言ハレマシタ通り、吾々モ議員トシテ、農村ヘ肥料其ノ他ノ資材ガ出來ルダケ安ク廻リマスル爲ニハ御協力シタイト云フ建前デ御質問申上ゲテ居ルノデアリマシテ、唯如何ニモ其ノ配給ノ過程等ニ付キマシテマダ工夫ノ足ラナイ點ガアルト思ヒマスノデ、其ノ點ニ付テハ一ツ聽キ置クダケデナク、好イコトハヤツテ戴カナケレバナラスト考ヘル次第デゴザイマス  
其ノ方ハソレデ打切りマシテ、農業内部

ニ於テ生産費引下ヲヤラナケレバ、今日ノ  
勞力不足等ノ對策ニ應ジ得ナイと思フノデ  
アリマス、要スルニ日本ノ農業ニ於キマシ  
テ、今マデハ土地ガ足ラナクテ人ガ餘ツテ  
居ルト云フ狀態デアツタ、今日デハ人ガ足  
ラナイト云フ狀態ノ下ニ於ケル日本ノ農業  
デアリマスカラ、出來ルダケ機械化ト協同  
化ヲ促進スル必要ガアル、農林省ニ於カレ  
マシテモ、其ノ勞力ノ配給ノ問題及ビ機械  
化ノ問題、協同化ノ問題ニ付テ御方針ヲ立  
テテ居ラレマスルコトハ承知シテ居リマス、  
併シナガラ私共ノ考ヘル所ニ依レバ、ソレ  
ヲ完全ニヤリマス爲ニハヤハリ其ノ基礎デ  
アリマス所ノ土地制度ニ付テ改革ノ「メス」  
ヲ加ヘラレル必要ガアルと思フ、此ノ點ヲ  
見落シテ居ラレテハ増産計畫ハ駄目ダと思  
フノデアリマス、此ノ土地制度ニ付テドノ  
程度ノ改革ヲヤラウト云フ今腹案ヲ持ツテ  
居ラレルカ、ソレヲ先ヅ一ツ承ツテ置キタ  
イト思ヒマス

○小濱政府委員 農業ノ基本デゴザイマス  
ル土地制度ニ付キマシテハ、常ニ考慮ヲ拂  
ハナケレバナラナイ點デアアルコトハ申上ゲ  
ルマデモナイと思ヒマス、昨年ノ議會デ御  
協賛ヲ得マシタ農地調整法モ亦土地制度ノ  
改良ニ關シマスル一ツノ部分デアルト考ヘ

テ居リマス、ソレデ生産費ヲ引下ゲマスル  
爲ニ、土地制度ニ色々改良ヲ加ヘルベキモ  
ノガアルコトハ吾々モ認メテ居リマスルガ  
〔委員長退席、三善委員長代理著席〕

十四年度ニ於キマシテ差當リ米ニ付キマシ  
テ四百萬石ノ増産ヲ致サナケレバナラスト  
云フ時ニ、土地制度カラ變ヘテ掛ルト云フ  
ノデハ間ニ合ハナイ部分ガゴザイマス、ト

申シマシテハ多少語弊ガアルカモ知レマセ  
ヌガ地主ト小作トノ關係ニ於キマシテ、或  
ハ小作料ガ騰貴スルト云フコトニナレバ、  
ソレダケ耕作者ノ方カラ申シマスト生産費  
ガ上ルト云フコトニナル、ダカラ其ノ點ニ  
付テモ考ヘナケレバナラヌデハナイカト云  
フ風ナコトハ、三宅サンガ始終言ツテ居ラ  
レマスノデ、サウ云フ意味ヲ含シテ御尋  
デアラウト考ヘマスガ、地主ト小作ノ關  
係ニ於キマシテ、小作料ガ妥當ナル小作料  
デアアルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、  
是ハ地方々々ノ事情ニ依リマシテ色々ノ關  
係カラシテ今日ノ小作料ト云フモノハ決ツ  
テ居リマスノデ、ソレヲ適正ナル小作料ニ  
直シテ行クト云フコトハ勿論デゴザイマス、  
ソレ等ノ點ニ付キマシテハ町村ニ出來マス  
ル農地委員會ニ於キマシテ、地方ノ事情ニ  
即シテ、適正ノ小作料ニ之ヲ引直シテ行キ

タイト云フコトヲ昨年カラヤツテ居ルノ  
デアリマシテ、昨年御協賛ヲ得マシタ農地  
調整法ニ基キマシテ、各町村ニ農地委員會  
ト云フモノガ出來ツツアルノデゴザイマシ  
テ、大體本年度末マデニ七千位ノ農地委員會  
ガ出來ルト云フ見込デ今進ンデ居リマシテ、  
可ナリ多クノモノガ既ニ出來タト云フ報告  
ニ接シテ居リマス

○三宅委員 先廻リヲシテ小作料ノ問題マ  
デ御答辯ヲ得マシタカラ、其ノ點ニ付テモ  
ウ少シ承リタイト思ヒマスガ、農地調整法  
デ以テオヤリニナルト申サレマスガ、ソレ  
ハ小作調停法モ出來テ居ルノデアリマシテ、  
ソレデハ併シ物差ノナイ行キ方ナンデアリ  
マシテ、地方々々バラ／＼ニ物差ノナイ行キ  
方デアアル、米ノ値段ヲ公定スルノニ、地方地  
方デ米價公定委員會ヲ設ケテ、一村々々デ  
決メルコトガ不都合デアルト同ジ意味ニ於キ  
マシテ、サウ云フコトハ此ノ生産力擴充ノ見  
地カラハ間ニ合ハナイノデアリマス、私ハ段々  
ソレニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ、第一  
ハサウ云フ階級ノ問題ヨリハ勞力ノ關係  
ト機械化ノ關係ニ於キマシテ、土地ノ交換  
分合ニ付テモツト積極的態度ヲ執ラレテハ  
ドウカト云フコトガ第一點、土地ノ交換分  
合ニ付キマシテハ、本年ノ議會ニ於キマシ

テ、増稅案ノ中ニ於テ生産力擴充ノ見地カ  
ラ交換分合ニ關スル登録稅ヲ免除サレルト  
云フ法案ガ通ツタノデアリマス、アレニハ  
私共非常ニ贊成デアリマスガ、不動産取得  
稅ノ免除ヲ此ノ中ニ含マレテ居ルカドウカ、  
是ハ交換分合ノ指導ノ上ニ於テ非常ニ重大  
ノコトデアリマスノデソレヲ承リタイ、第  
二ハ不動産取得稅ト登録稅ヲ免除致シマシ  
タ上ニ於テ、更ニ一ツ積極的ナ交換分合ノ  
指導ヲオヤリニナツテハドウカ、是ハ摩擦  
ナシニ出來マス所ノ土地制度ノ合理化デア  
リマスカラドウカト考ヘルノアリマスガ、  
ソレニ付テ何等カノ御用意ガアルカドウカ、  
此ノ二點ヲ先ヅ承リタイト思ヒマス

○小濱政府委員 勞力ノ調整ノ見地カラ致  
シマシテ、耕地ガ飛ビ／＼ニナツテ居リマ  
スルコトガ多クノ勞力ヲ要スルト云フコト  
ハ、三宅サンノ仰シヤル通りデアリマス、  
ソレヲ交換分合致シマシテ、耕地ヲ成ベク  
集團のニ纏メテ耕作ヲ致シマスコトノ宜イ  
コトハ申上ゲルマデモナイと思ヒマス、隨  
ヒマシテ勞力調整ノ見地カラ、土地ノ交換  
分合ニ付キマシテ出來ルダケ之ヲ進メテ參  
ル積リデ居リマス、ケレドモ土地ノ交換分  
合ニ伴ヒマス登録稅ノ免除ニ關シマシテハ、  
今回提案シテ居リマスル法律デ之ヲ免除ス

ルコトニナツテ居リマス、其ノ際ニ色々大藏省トモ打合セテ致シタノデアリマスガ、不動産取得税ハ地方税ニナツテ居リマス、隨ヒマシテ登録税ノ免除ガ確立致シマシタ曉ニ於キマシテハ、内務省トモ能ク話ヲ致シマシテ、地方税ノ免除ガ出來ルヤウニ進メテ行キタイト云フコトデ、大藏省トモ内々サウ云フ風ナ心組デ話ヲ進メテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

省トノ話合ヒハハツキリ付イテ居ル譯デハアリマセヌガ、サウ云フ方向ニ向ツテ進ミタイ、斯ウ云フ話ヲ大藏省トモ、此ノ不動産登録税ノ免除ノ規定ヲ審議致シマスル際ニ致シテ居リマス

○三宅委員 不動産取得税ニ付キマシテハ、國稅トシテノ登録税ガ免除サレバ、當然免除サレルト云フ意味デハナイ、何等カ内務省ト御相談ニナツテ處置ヲ御執リニナラスト免除サレナイト云フ意味デアリマスカ、サウデアルト致シマスレバ、其ノ點ニ付テハモウ確實ニ免除シテヤルノダト云フ御話合ヒガ大體ニ於テ付イテ居ルト拜承シテ宜イノデアリマスカ、モウ少シ明白ニシテ戴キタイト思ヒマス

○三宅委員 是ハ地方税デスカラ、一縣一縣デ地方税法ヲ廢止スルト申シマスカ、サウ云フ際ニハ徵ラヌト云フコトニ致シマスレバ問題ハナイ譯デアリマスガ、勞力不足ノ對策トシテ交換分合ガ大切ナコトデアルト致シマスレバ、國ノ法律ト致シマシテ其ノ際ハ免除スベシト云フ意味ノ簡單ナ法規デモ御出シニナツテ急速ニオヤリニナツタラ如何デスカ、實際ニ於テハソレハ出來ルノデスカドウデスカ、其ノ手續ヲ取ラナクデモ内務省ガ同意ヲスレバ直グ様效力ヲ發揮スルヤウニ出來ルノデスカドウデスカ、是ハ非常ナ土地ノ合理化デアリマスカラ、是非ヤツテ貰ヒタイシ、技術關係ノ人々ノ意見ト致シマシテモ、之ヲヤツテ貰ヘバー反ニ付テ一人半位ノ勞力ハ儉約出來ル、假ニ一人トシテモ六百萬町歩以上ニ付テハ六千萬人分ノ勞力ガ一日ニシテモ節約ガ出來ルト云フコトヲ言フテ居リマスノデ、是非トモ一ツヤツテ戴キタイノデアリマスルガ、其ノ邊ノコトヲモウ少シ詳シク御知ラセテ

○三宅委員 土地ノ交換分合ト共ニ、農村内部ニ於ケル生産費ノ切下ト致シマシテハ、先刻農務局長ノ言ハレマシタ通り、地價ノ引下ハ重大問題デアリマシテ、自作農ニ付テハ農業用財産ノ七割七分六厘——是ハ昭和十一年ノ調ダト記憶致シマス、殘餘ノ二割二分四厘ト云フモノガ僅ニ家畜ダトカ、或ハ農具トカ云フモノノ割合ニナツテ居ル、隨テ土地ヲ買ヒマス爲ニハ、或ル場合ニハ自作農創設資金ノ御厄介ニナリ、或ル場合ニハ別ニ高利ノ借金ニナル、隨テ現在實例ニ、現ハレテ居リマス通り、自作農創設資金ガ拂ヘナイ爲ニ土地ヲ取ラレルト云フヤウナ事例モアツテ、農業ノ改良ノ爲ニ金ガ使ハレテ居ラナイ、小作料ニ付テハ、是ハ農業經營費ノ五割五分ト云フ比率ヲ占メテ居ル、之ヲ何トシテモ下ゲナケレバヤツテ行ケナイ、現ニ少シク勞力ガ拂底シテ參リマス、小作料ノ高イ山村地帯ニ於キマシテハ、農民ガ土地ヲ拋棄シテ他所ヘ出ツツアル事實ガ相當アルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テ私共ハ自由放任ニ委スコトガ間違ヒデハナイカ、米價ニ付キマシテハ自由主義ヲ捨テマシテ、消費者ト生産者ノ點ヲ考慮致シテ生産費、生計費ニ依ツテ公定米價ヲ決メラレタ、此ノ精神ト云フモノハ小作料ノ問題ニ付キマシ

○三宅委員 追加豫算ニ入ルノデスネ、今マデノ豫算ニアツタ譯デハナイノデスネ、是カラノ豫算ニ出ル譯デスネ

○小濱政府委員 追加豫算デサウ云フモノヲ要求ヲ致シタイト云フノデ、交渉ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○三宅委員 追加豫算ニ入ルノデスネ、今マデノ豫算ニアツタ譯デハナイノデスネ、是カラノ豫算ニ出ル譯デスネ

○小濱政府委員 追加豫算デサウ云フモノヲ要求ヲ致シタイト云フノデ、交渉ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○三宅委員 追加豫算ニ入ルノデスネ、今マデノ豫算ニアツタ譯デハナイノデスネ、是カラノ豫算ニ出ル譯デスネ

○小濱政府委員 追加豫算デサウ云フモノヲ要求ヲ致シタイト云フノデ、交渉ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○三宅委員 追加豫算ニ入ルノデスネ、今マデノ豫算ニアツタ譯デハナイノデスネ、是カラノ豫算ニ出ル譯デスネ

○小濱政府委員 追加豫算デサウ云フモノヲ要求ヲ致シタイト云フノデ、交渉ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○三宅委員 追加豫算ニ入ルノデスネ、今マデノ豫算ニアツタ譯デハナイノデスネ、是カラノ豫算ニ出ル譯デスネ

○小濱政府委員 追加豫算デサウ云フモノヲ要求ヲ致シタイト云フノデ、交渉ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○三宅委員 追加豫算ニ入ルノデスネ、今マデノ豫算ニアツタ譯デハナイノデスネ、是カラノ豫算ニ出ル譯デスネ

○小濱政府委員 追加豫算デサウ云フモノヲ要求ヲ致シタイト云フノデ、交渉ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○三宅委員 追加豫算ニ入ルノデスネ、今マデノ豫算ニアツタ譯デハナイノデスネ、是カラノ豫算ニ出ル譯デスネ

○小濱政府委員 追加豫算デサウ云フモノヲ要求ヲ致シタイト云フノデ、交渉ヲ致シテ居ル次第デアリマス

テモ、地價ノ問題ニ付キマシテモ、公益ノ見地ニ立タレマシテ、ソシテ適正ナル地價ヲ決メラレ、適正ナル小作料ヲ決メラレマスコトガ當然デアルト思フノデアリマス、此ノ部面ダケ自由主義デ以テ放任シテ置クコトガ私ハ日本ノ農業ノ發達ヲ非常ニ阻碍シテ居ルト思フノデアリマシテ、此ノ點ニ付テ地價ノ適正化ト小作料ノ適正化ノ爲ニ、公益ノ見地ニ立ツテ國家的ノ統制ヲ加ヘル、若クハ基準ヲ決メル、其ノ基準ニ依ツテ農地委員會ヲ運用サレルナラバ、爭議等ヲ起サナイデモヤツテ行ケル、斯ウ云フコトガ今日ノ場合一番大キナ問題ダト思フノデアリマス、是ガ出來ナケレバ自作農創定ハ出來セヌ、政府デハ現ニ自作農創定ヲ一生懸命ニヤツテ居リマスガ、土地ノ値段ガ上リマスレバ自作農創定ハ出來マセヌ、自作農創定ガ旨ク行クカドウカト云フコトハ、土地ノ値段ガ下ルカドウカト云フコトガ問題デアリマシテ、此ノ點ノ御用意ハ如何デアルカ

○小濱政府委員 小作料ノ基準ヲ決メマシテ一律ニ定メマスト云フコトハ、今日ノ農村ノ事情ニハ必ズシモ適シテ居ルトハ言ヒ得ナイト考ヘマス、御承知ノコトト思ヒマスガ、今日ノ小作料ナルモノハ其ノ地方

ノ狀態、或ハ小作料ノ由ツテ來ル沿革ガゴザイマシテ、地方ニ依リマシテ色々ニナツテ居リマス、ソレヲ小作料ハ此ノ基準デ定ムベシト云フコトノ一律ノ基準ハ、今日ノ事情カラハ決メ得ナイト考ヘマス、學者ノ議論ト致シマシテハ、小作料ハ斯ウ云フ算式ニ依ツテ定ムベシト云フヤウナ論文ハ幾ツモゴザイマス、併シナガラ其ノ學者ノ議論ヲ仔細ニ檢討シテ見マスト、必ズシモ農村ノ實情ニ合ハナイ點ガゴザイマシテ、一律ニ定メルト云フコトハ難シイノデゴザイマスガ故、昨年ノ農地調整法ニ於キマシテモ、ソレニ付テハ基準ガナイデハナイカ、斯ウ仰シヤイマスケレドモ、其ノ地方々々ニ於キマシテハ、大體其ノ地方ノ小作料ハ是位ガ妥當ナリト云フ社會的ニ容認セラルベキ基準ト云フモノハ、其ノ地方々々ニアルノデゴザイマシテ、必ズシモ基準ハナイト云フコトデハナイト考ヘテ居リマス

○三宅委員 私ハ其御議論ハ實ニ偏ツタ御議論ダト考ヘルノデアリマス、何モ議論ヲスル爲ノ議論デアアリマセヌガ、米ノ生産費ナドニ於キマシテモ、地方ニ依ツテウント違フ、土地ニ依リマシテ、政府ノ調ニモ

リマス、非常ニ不利ナ條件ノ土地ニ於キマ

シテハ、一反ニ付テ、現ニ今年ノ生産費ヲ決メラレタ時ノ生産費ニ付テモ、五十圓ニ近イモノガアリマスガ、一反ニ付テ十七圓ト云フモノモアリマス、然ルニ全體ト致シマシテ、大局ニ立ツテ最高最低ノ値段ヲ決メテ、サウシテ消費者ノコトモ考慮スルガ、何ヨリモ農業生産力ノ維持ヲ考慮シヨウト云フ所ニ、米穀政策ノ良イ建前ガアルノデアリマス、自由競争ニ放任シテヤラシテ宜イト云フ建前ナラバ、何モ米價ヲ公定サレル必要ハナイノデアリマス、ソレト同ジ意味デゴザイマシテ、地方々々ノ實情ニ依ツテ決ツテ居ルト言ハレマスケレドモ、今マデノ土地ガ非常ニ不足ヲシテ居ツタ、土地飢饉ノ狀態、其ノ爲ニ不當ニ、世界第一ニ小作料ガ高イ、斯ウ云フ事實ガ日本ノ農業ノ生産力進展ヲ阻碍シテ居ル、斯ウ云フトノ爲ニ、私共ハ摩擦ガアルト思ヒマス、斯ウ云フコトヲオヤリナレバ摩擦ガアルト思フ、ガカラ摩擦ノナイ方法デヤラウト云フ御考ヘ方ニ付テハ諒ト致シマスケレドモ、サウ云フ狀態デハ日本ノ農村ノ生産力ハ本當ニ上ラナイノデアリマス、私ハ勞働力ニ付テモモチヤント決メナケレバイカヌ、勞働賃銀ヲ無茶苦茶ニ上グル必要ハナイノデアリマスガ、勞働賃銀モ公定サレルガ宜

シイ、同時ニ小作料モ公定サレルガ宜シイ、地價モ公定サレルガ宜シイ、生産物デアアル米ノ値段モ公定サレルガ宜シイ、其ノ米ノ値段ト肥料ニ付テハ公定シテ居リナガラ、小作ニ料付テハ勝手ニシテ置クト云フ所ニ、無理ガアルノデアリマス、ドウシテモ其ノ點ニ付テオヤリナラナケレバ、是ハ觀面ニ結果ノ上ニ現ハレテ來ル、又生産力ノ上ニ現ハレテ來ルコトハ當然デ、現實ニ今日特別ニ小作料ノ高イ地方デハ、土地ヲ抛棄シテ出テ行キツツアルト云フ事實モアルノデアリマシテ、土地愛護ノ見地ニ立チマシテモ、私ハ御考慮ヲ願ハナケレバナラスト思フノデアリマス、議論ニナリマスカラシテ、私ノ議論ニ反對ナラ反對ト言ツテ下サレバ、サウ云フ御認識ダト考ヘテ置キマスガ、併シ刻下ノ必要ハ其處ニ必要ガアルノデアリマスカラ、御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、同時ニ山林ノ問題ダツテ其ノ通りデゴザイマス、私ハ何時モ言フノデゴザイマ

ス、木炭ノ最高價格ヲ決メテ置イテ、山ノ原木代金ダケガ倍ニナツタ、三倍ニナツタト言フノデハ、増産ナドガ出來ルモノデナイ、是亦小作料ト同ジコトデアアル、自由競争ノ原則デ放任シテ置キマスレバ、山ノ原木代ガ上ルコトハ當然デアアル、然ルニ炭ノ

最高値段ハ決メテ置イテ抑ヘテ行ケバ、間ニアル商人ト炭焼業者ガ困ルコトニナル、隨テ公益ノ見地ニ立チマシテ、炭ノ値段ヲ公定セラレタラ、勞働賃銀ハ幾ラ、配給費モ幾ラ、其ノ代リ山ノ原木ノ値段モ幾ラト云フ、大體ノ見當ヲ付ケラレルコトハ當然デアル、是ハ小作料ト同ジコトデアルガ、山林ニ付テモ自由放任ニシテ宜イト云フ御考デアルカドウカ一ツ承リタイ

〔三善委員長代理退席、委員長著席〕

○櫻内國務大臣 山林ノ炭焼ノ原料ノ資材ヲ抑ヘヌデ宜シイカト云フ御話デアリマスガ、是ハ現在ノ炭ノ値段カラ申スト、此ノ資材ヲ成ベク低廉ニ供給シ得ル途ヲ講ジナケレバナラヌノデアリマシテ、國有林ナドノ拂下材ニ付キマシテハ、此ノ點ヲ相當考慮シテ居ルノデアリマス、但シ民間ノ資材ニ付キマシテハ、未ダ是ガ統制ヲシテ、是是ノ品物ハ斯ウダト云フ風ナコトガ容易ニ決メ得ラレナイノデ、マダ今日ハ決ツテ居ナイヤウナ次第デアリマス

○三宅委員 マダ決ツテ居ラヌコトハ能ク承知シテ居リマスガ、ソレヲ適當ニ決メルコトガ、ヤハリ統制ノ觀念ニ合フノデヤナイカ、ソレガ必要デヤナイカ、ソレニ付テ必要ヲ認メラレルカ、認メラレナイカ、認

メラレタラ一ツヤラレタラドウカ、斯ウ云フ意見デアリマスカラ、サウ云フコトニ付テ一ツ誠意ノアル御答辯ヲ願ヒタイ

○櫻内國務大臣 是ハ簡單ニ決メ得ナイ問題デアアルノデアリマシテ、篤ト研究ヲサセマシテ、若シモ實行ヲ致ス方法ガアリマシタナラバ、實行ヲシタイと思ヒマス

○三宅委員 甚ダ不十分デアリマスケレドモ、水掛論ヲヤツテ時間ヲ取リマスコトハ恐縮デアリマスカラ、次ニ移リマス

更ニ農村ノ土地問題ニ關係致シマシテハ、貧農ニ牧草地ヲ部落々々デ與ヘルト云フ方針ヲ御執リニナラナケレバイケナイ、自給肥料ヲヤラセル、馬ヲ飼ハセルト申シマシテモ、草刈場ガナケレバ自給肥料モ駄目ダシ、馬モ駄目デアリマシテ、牧草地ノ開放ニ付テ何等カノ御用意ガアルカドウカ承リタイ、獎勵方法デモ宜イシ、或ハ政府ガ部落トシテ買上ゲテヤルトカ、貸シテヤルトカ、何等カ今御計畫ニナツテ居ルコトガアルカドウカヲ承リタイ

○櫻内國務大臣 牧草地ニ付キマシテハ、或ル程度ノ施設ヲ致シタイト考ヘテ居リマスガ、今詳細ナル書類ガアリマセヌノデ、御答致シ兼マス

○三宅委員 牧草地ノ開放ノ問題ニ付テ、何

等カ一ツ手段ヲ執ラウト云フ御答辯ヲ得マシタコトハ、非常ニ感激致シマス、是非一ツヤツテ載キタイト考ヘマス

次ニ土地問題ト關聯致シマシテ重大ナ問題ハ、農業ガ副業化シツツアルト云フ問題デゴザイマス、是ハ小作料ノ問題トモ關聯致シマスガ、ドウシテモヤハリ副業農家ト云フモノハ、土地ノ生産力ガ落チルノデアリマス、是ハ農務局長カラ一ツ御答辯ヲ得タイト思ヒマスガ、工場ガ出來マシテ、主人ガ工場ヘ働キニ行ク、若イ勞力ノアル者ガ工場ヘ働キニ行ク、ソレデ家ニ殘ツテ居リマスルノハ、年寄ト女子供ケデアリマス、飯米ト野菜ガ穫レバ宜イカラ、一反ニ付テ三石穫レル所カラ一石五斗シカ穫レナクテモ、ソレデ満足シテ作ツテ居ル、斯ウ云フ狀態ノ農家ガ段々殖エツツアルノデアリマス、是ガ殖エルコトハ増産政策ノ上カラ言ツテ、大變拙イコトデアルノデアリマス、隨テ私共ハ適正規模農家ヲ作ラナケレバイケナイ、農林省トシテハ日本ノ農業ニ於テ、水田耕作ヲ中心トスル適正規模農家ハ、何町何反ガ適正農家ナリト考ヘテ居ラレルカ、之ヲ承リタイノデアリマス、同時ニ少クトモ三反百姓トカ五反百姓ヲ段々減ラス方針ヲ執ツテ、一家ノ主人ガ中心ニナ

ツテ、肥料ハ何ヲ入レタラ宜イ、品種ハ何ヲ使ツタラ宜イ、農具ハドウヤツタラ宜イト云フコトヲ常ニ研究致シマシテ、其ノ土地ノ最高ノ生産力ヲ發揮スルヤウナ農業形態ニ持ツテ行カナケレバナラスト思ヒマシマスガ、是ハ土地ノ國家管理ニ關係スル問題デアリマシテ、適正規模農家ノ創設、滿洲農業移民ニ付テモ、或ハ工業ノ誘致ニ付テモ、此ノ方面ニ付テノ用意ヲ以テ、農業立地ノ見地カラ考ヘテ行カナケレバナラスト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テノ政府ノ御考ガアルカドウカ、是カラ研究ヲショウト云フコトデアリマスガ、一ツシテ戴カナケレバナラスト思ヒマスガ、大綱ニ付テ農林大臣カラ、具體的ナコトニ付テ農務局長カラ、御答辯ヲ願ヒタイ

○小濱政府委員 耕作面積ハ何町歩位ヲ安異トスルヤト云フコトニ付キマシテハ、地方ニ依リマシテ色々違ツテ居リマス、是モ學者ノ議論トシテハ色々アリマス、農家ガ自分ノ勞力ダケデ耕作ヲ致シテ參リマス爲ニハ何町歩ヲ適當トスルヤト云フコトニ付キマシテハ、色々ノ議論ガアリマス、一町五反歩位ヲ適當トスルト云フ結論ヲ出シテ居ラレル方モアリマス、或ハ二町歩位ヲ適當トスルト云フ結論ヲ出シテ居ラレル方モ

アリマス、唯地方ノ經濟事情ノ異ルニ依リマシテ、必ズシモ一町五反歩ノ耕地ノ耕作ヲ致シマセヌデモ、農家ノ經營ハ立ツテ参リマス、中國地方ノヤウニ色々ノ副業ヲ組入レテ取入レ得ル農家ニ於キマシテハ、耕作面積ハ必ズシモ一町五反歩ヲ要シナイノデアリマス、東北地方ニ於キマシテハ多クノ耕作地ヲ要スル、又都會ノ近郊等ニ於テ相當ノ耕地ヲ集約的ニ使ヒ得ル者ト、サウデナイ者トノ間ニ於テハ自ラ違ツテ参リマスノデ、農家ハ何町歩ヲ適正トスルヤト云フコトニ付テノ結論ニハ到達致シテ居リマセヌ、又副業的ニ農業ヲヤル者ハ生産力ガ落ナルカラ、サウ云フ者ハ成ベク無クス方ガ宜イノデハナイカト云フ御議論デアリマスガ、大體今マデノ統計ニ依ツテ農家ノ耕作面積ノ多少ヲ見マス、最近ハ一町乃至三町歩ノ間ノ耕作面積ヲ耕作スル農家ガ漸次殖エツアルヤウナ傾向ヲ示シテ居リマス、唯併シ主人ガ工場ニ出テ居ツテ、家族ノ者ガ農業ヲヤツテ居ル、サウ云フ農業ヲヤツテハイカスト云フ譯ニハ参リマセヌノデ、副業農家ト云フ風ナモノハ時ニ依ツテ消長ガゴザイマスケレドモ、ソレヲ全部禁止スルト云フ譯ニハ参ラナイモノデハナイガラウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○三宅委員 ドウモ御答辯ガ不満足デアリマスガ、私ハ議論シヨウト思ツテ居ルノデヤナクテ、指導ヲスル基準ヲ御持チニナツテ居ルガラウカ、今ノ儘ノ耕地ノ分散状態其ノ儘宜イノダ、自然放任ダ耕地ノ規模ニ付テノ考ハ自然放任ダト云フノデハナクシテ、出來ルダケヤハリ主人ガ中心ニナツテ農業ヲヤツテ土地生産力ヲ上ゲルヤウニ持ツテ行クト云フコトニ付テハ、私ハ農林省ト雖モ賛成ガラウト思フノデス、其ノ點ニ付テハ賛成デアリ、大體ドレ位ダト云フコトニ付テ一ツ御答辯ヲ承リタイノデアリマス、私ハ無駄ナコトヲ言ツテ居ル積リデハナイノデアリマシテ、日本ノ農業ニ取ツテ増産ニ非常ニ必要ナコトヲ至誠ヲ以テ言ウテ居ル積リナノデアリマスカラ、モウ少シ御親切ニ御答辯願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 農務局長カラ御答致シタ通りデアリマスガ、尙ホ附加ヘテ申上ゲマス、農業ヲ副業視スルト云フヤウナ状態ニナリハシナイカト云フ御話デアリマスガ、私ハヤハリ農業ハ主タルモノデアリマスガ故ニ、農業ニ對スル所ノ方針ハ、國家トシテ一番大切ナ事ダト思ヒマス、併シナガラ其ノ附帶シタル副業ト云フモノハ、農家ノ收入増加ヲ圖ル上ニ於テ當然爲サナケレバ

ナラスコトデアリマスガ故ニ、殊ニ農家ノ米作其ノ他ノ勞力ハ一定シタル時期ニ於テ非常ニ多ク要スルノデアリマシテ、閑散ナ時期モアルノデアリマスカラ此ノ閑散ナ時期ヲ利用シテ行クト云フ事柄ハ最モ必要ナコトデアツテ、即チ農ヲ主トシテ副業ハヤハリ副業デアリマスカラ、之ニ附ケテ兩々相俟ツテ農家ノ收入ヲ圖ルコトガ必要デアラウト思ヒマス、而シテ御承知ノ如ク今日工業ノ分散ニ依リマシテ農地ガ次第ニ侵サレル、斯ウ云フコトガ事實ニ於テアリマスケレドモ、此ノ工場分布ノ状態ハ、即チ其ノ工業ノ資材ノ集散ノ關係モアリ、又港灣ノ關係モアリ、色々ナ關係ガアルノデアリマシテ、必ズシモソレガ農家ノ領域ヲドン侵シテ行クモノトハ考ヘラレナイノデアリマス、併シナガラ其ノ事業ノ爲ニ農家ノ耕地ガ荒レルガ如キ事柄ニ付キマシテハ、地方々々ニ於テ許可スル時ニ十分研究シテ許可スルノデアリマシテ、決シテソレニ依ツテ農地ガ荒レルトバカリハ考ヘラレナイノデアリマス

○三宅委員 モウ時間ガ遅レマシタノデ私ハ是デ切上ゲタイト思ヒマスガ、要スルニ此ノ際米穀配給統制ニ關スル法律ヲ出サレマシタガ、私ハ此ノ法案ハ非常ニ微温的デアルト思ヒマス、併シナガラ本當ニ米ノ足ラナカツタ時ニハ、國家總動員法ノ發動モアリ、別ニ又一ツノ法律モ考ヘルコトガ出來ルノデアリマシテ、是ハ是トシテ、段階的ニ私共ハ此ノ法律ノ存在意義ガアルト思ヒマシテ、賛成シタイト思フノデアリマス、併シナガラ根本ハ何ト言ヒマシテモ増産デアリマス、増産政策ニ付テハ一ツ徹底的ニ問ヒ質サナケレバナラスト云フ感ジヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、賜リマシタ御答辯ニ付テハ皆「ピン」ガ外レテ居リマシテ、私ハ非常ニ不満足デアリマスガ、趣旨ハ御分リ下サツタラウト思フノデアリマシテ、問題ハ農業ノ内外ニ互ル生産費ノ切下ガ今日ノ農業問題ノ中心デア、今マデハ價格ノ吊上ガ増産政策ノ中心デアツタガ、價格ヲ引下ゲル限りハ生産費ノ切下ガ必要デア、其ノ爲ニハ肥料其ノ他ノ資材ニ付テモ配給ヲ圓滑ニサレルコトト、シエーレラ防グコトガ必要デアリ、農業内部ニ於テハ土地制度ノ改革ガ必要デア、土地制度ノ改革ニ付テモ、土地ノ國有ト云フヤウナコトニナルト急ノ間ニ合ハナイ、全耕地ヲ自作農化ト言ツタツテ急ノ間ニ合ハナイノデア、土地ノ公益的國家管理法ト申シマス、土地公益利用法ト申シマス、土地利用増進法ト申シマス

カ、斯ウ云フヤウナ法律ニ依リマシテ特ニ  
高イ小作料ニ付テハ之ヲ引下ゲル、牧草地  
ニ付テハ農民ニ之ヲ開放スルノ途ヲ考ヘテ  
ヤル、耕地ノ交換分合ヲ厲行スルト云フヤ  
ウナコトニ依ツテ機械化、共同化ヲ圖リマ  
シテ、一人當リノ勞力ノ生産性ヲ引上ゲル、  
斯ウ云フ所ニ増産計畫ノ眞髓ガアルト思フ  
ノデアリマシテ、此ノ點ニ付テノ政府ノ用  
意ノ非常ニ足ラナイコトニ付キマシテハ、

私ハ非常ニ不満足デアリマス、併シナガラ  
是ハ絶對必要デアリマシテ、今年オヤリニ  
ナラナカツタナラバ、モウ收穫ノ上ニ直グ  
此ノ秋ニ出テ來ルト思フ、ソレデドウシテ  
モ次ノ段階ハ土地制度ノ改革デアルト考ヘ  
ルノデアリマシテ、一ツ思ヒヲ茲ニ致サレ  
マシテ、十分ニ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマ  
ス、是ダケデ私ハ質問ヲ打切りマス

○櫻内國務大臣 御問デハナイノデアリマ  
スカラ答辯致サナイデ宜イノカ知レマセ  
ガ、熱心ナル三宅君ノ御注意デアリマス  
カ一言申上ゲマス、米價ヲ上ゲズシテ低物  
價政策デ行クナラバ、其ノ生産ニ要スル所  
ノ總テノ費用ヲ低下シナケレバナラス、是  
ハ御尤デアリマス、出來得ル限り努力致シ  
タイト思ツテ居リマス、ソレカラ増産計畫  
ニ對シマシテ、機械ノ利用、勞力ノ調整其

ノ他種々御注意ノ點ハ吾々モ左様ニ考ヘル  
ノデアリマス、既ニ豫算ニモ計上シテ居ル  
ヤウナ所デアリマシテ、精々御趣旨ニ副フ  
ヤウニ致シタイト思ヒマス、土地ノ國家管  
理ノ問題ニ付キマシテハ、御意見ノ存スル  
所略々承ルコトガ出來ルノデアリマスケレ  
ドモ、此ノ點ハ尙ホ十分研究スベキ餘地ガ  
アルト思ヒマスノデ、研究致シタイト思ヒ  
マス

○添田委員長 ソレデハ本日ハ是デ散會致  
シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス  
午後六時二十分散會